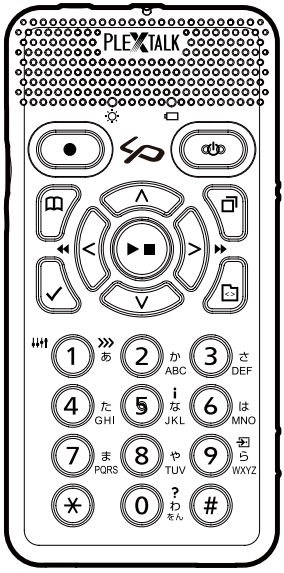
PLEXTALK®

プレクストークリンクポケット
取扱説明書



お買い上げいただきありがとうございます。この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたが記されています。この取扱説明書をお読みの上、製品を安全にお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください。

©2011 Shinano Kenshi Co.,Ltd.

目次

目次 *2*

諸注意 *12*

安全にお使いいただくために（警告、注意） 12

使用許諾 18

その他の注意事項 19

1章　はじめに *21*

１章１　入っているものを確認しましょう 21

１章２　用語 23

1.2.1. キーワード 23

1.2.2. カテゴリー 24

1.2.3. メディア 26

1.2.4. ＤＡＩＳＹ 27

１章３　本製品でできること 29

2章　各部の名称と働き *30*

２章１ 本体の形状 30

２章２ 操作面 31

２章３ 上面 38

２章４ 底面 39

２章５ 左側面 40

２章６ 右側面 **41**

２章７ 背面 **42**

３章 電源とバッテリー ***43***

３章１ バッテリーの入れ方・取り出し方 **43**

3.1.1 バッテリーの入れ方 44

3.1.2 バッテリーの取り出し方 46

３章２ バッテリーを充電する **48**

３章３ バッテリーに関する注意 **49**

3.3.1 バッテリーの寿命とリサイクル 49

3.3.2 バッテリーの充電について 49

3.3.3 バッテリーでの再生、録音時間の目安 49

3.3.4 長期間使用しない場合について 50

3.3.5 電源を切った状態でのバッテリーの残量 50

3.3.6 バッテリーを外してＵＳＢで動作 50

３章４ 電源のＯＮ／ＯＦＦ **51**

3.4.1 電源を入れる（完全電源オフの状態から電源を入れる） 51

3.4.2 完全に電源を切る 51

3.4.3 電源を切る（通常の電源オフ） 52

3.4.4 電源を入れる（通常の電源オフの状態から電源を入れる） 53

3.4.5 自動電源オフ 53

3.4.6 強制電源ＯＦＦについて 53

3.4.7 バッテリーの残量の確認方法 54

４章 ＳＤカードとＵＳＢ機器 ***55***

４章１ ＳＤカード **55**

4.1.1 ＳＤカードの形状 55

4.1.2 使用できるＳＤカードについて 55

4.1.3 ＳＤカードの取扱いについて……55
4.1.4 ＳＤカードの入れ方……56
4.1.5 ＳＤカードの取り出し方……57
4.1.6 書き込み禁止スイッチ……58

４章２ ＵＳＢ機器……59

５章 再生……60

５章１ 再生の基本操作……60
5.1.1 タイトルを選んで再生・停止する……60
5.1.2 早送り、巻き戻しをする……62
5.1.3 音量を調整する……63
5.1.4 スピード、トーン、ガイド音量、ガイドスピードの調整……64

５章２ 様々なタイトル選択……66
5.2.1 タイトル選択のレベル……66
5.2.2 カテゴリーからタイトルを選ぶ……68
5.2.3 フォルダからタイトルを選ぶ……70
5.2.4 ファイルを選ぶ……71
5.2.5 タイトルを直接選択……72
5.2.6 タイトルの並び順の切り替え……73

５章３ 音楽の再生範囲を選ぶ……74
5.3.1 すべての音楽を選ぶ……74
5.3.2 フォルダを選ぶ……75
5.3.3 アルバムを選ぶ……76
5.3.4 ファイル（曲）を選ぶ……77

５章４ ＤＡＩＳＹ図書を聴く……78
5.4.1 ＤＡＩＳＹ図書の移動単位……78
5.4.2 上下キーで移動単位を選択……80
5.4.3 見出し移動……81

5.4.4 グループ移動 82
5.4.5 ページ移動 83
5.4.6 フレーズ移動 83
5.4.7 １０分移動 84
5.4.8 ３０秒移動 84
5.4.9 ダイレクト移動：ページに移動する 85
5.4.10 ダイレクト移動：見出しに移動する 86
5.4.11 ダイレクト移動：先頭・最後に移動する 87
5.4.12 パーセント移動 88

5章5　音楽（音声ファイル）を聴く 89
5.5.1 音声ファイルについて 89
5.5.2 音声ファイルの移動単位 89
5.5.3 アルバム移動 90
5.5.4 トラック移動 90
5.5.5 １０分移動 91
5.5.6 ３０秒移動 91
5.5.7 ダイレクト移動：トラックに移動する 92
5.5.8 ダイレクト移動：アルバムに移動する 93

5章6　テキストファイルを聴く 94
5.6.1 テキストファイルについて 94
5.6.2 テキストファイルの移動単位 94
5.6.3 テキストファイル内での移動 95
5.6.4 パーセント移動 95

5章7 オーディオブックを聴く 96

5章8　移動を取り消す（アンドゥ、リドゥ） 97
5.8.1 アンドゥ 97
5.8.2 リドゥ 97

6章　インターネット接続の準備 98

6章1　接続の概略 98

6章2　接続の準備 99

インターネットを使用するには 99

無線親機をモデムと接続する 99

7章 オンラインサービス 100

8章 ポッドキャストとウェブラジオ 101

8章1 ポッドキャスト 101

8.1.1 ポッドキャストとは 101

8.1.2 ポッドキャストを登録する 102

8.1.3 ポッドキャストを聴く 103

8.1.4 エピソード、１０分、３０秒で移動する 105

8.1.5 エピソード一覧を更新する 106

8.1.6 エピソードをまとめてダウンロード 107

8.1.7 ダウンロードしたエピソードを削除する。 109

8章2 ウェブラジオ 110

8.2.1 ウェブラジオとは 110

8.2.2 ウェブラジオ番組を登録する 111

8.2.3 ウェブラジオの選択と再生 112

9章　ＤＡＩＳＹ編集モード 113

9章1　ＤＡＩＳＹ編集モード 113

9章2　ＤＡＩＳＹ編集モードの開始 114

9章3　ＤＡＩＳＹ編集モードの終了 115

１０章　録音 116

１０章１　録音の基本操作 117

10.1.1 録音、一時停止、停止する....117
10.1.2 録音準備中に新規タイトルを作成する....119

１０章２　録音音量の調整....120
10.2.1 自動音量調整の切替え....120
10.2.2 録音音量を調整して録音する....121
10.2.3 録音中に音量を確認する....122

１０章３　録音設定....123
10.3.1 録音モードの設定項目....123
10.3.2 録音モードの種類....124
10.3.3 録音音質....125
10.3.4 録音モードと録音音質の設定....126

１０章４ 録音中に音声を聴く....127
10.4.1 モニター出力の「あり／なし」....127
10.4.2 録音中の音声ガイド切替え....128

１０章５　外付けマイクやラインから録音する....129
10.5.1 外付けマイクとライン入力の選択....129
10.5.2 外付けマイクで会議や授業を録音する....130
10.5.3 ラジオやテープの音声を録音する....132
10.5.4 音楽をラインインから録音する....134

１１章　編集....136

１１章１ 録音中に見出しを付ける....137

１１章２ 録音ポーズ中に見出しを予約する....138

１１章３ 録音後に見出しを付ける....139

１１章４ 見出しを取り消す....141

１１章５ セクション削除....142

１１章６ DAISY編集モードの終了 144

１２章　メモ録....145

１２章１ メモ録を録音する 145

１２章２ メモ録を再生する 146

１２章３ ダイレクト移動....147

１２章４ 選択中のメモ録を削除する 148

１２章５ すべてのメモ録を削除する 149

１２章６ メモ録のバックアップ 149

１３章 データをバックアップする 150

１３章１　本製品とＵＳＢ機器との間でバックアップする 152

１３章２　本製品の内蔵メモリとＳＤカードの間でバックアップする 157

１３章３　メモ録をＳＤカードにバックアップする....158

１４章 パソコンとの接続....159

１４章１ 本製品とパソコンをＵＳＢケーブルで接続する 159

14.1.1 パソコンの動作環境....159

14.1.2 パソコンと接続....159

14.1.3 内蔵メモリとＳＤカードの切り替え....160

14.1.4 データの転送 160

14.1.5 パソコンからの取り外し....161

１４章２　ワイヤレスネットワーク経由で本製品とパソコンを接続する 162

14.2.1 ネットワークフォルダ設定 162

14.2.2 ネットワークフォルダを使ってパソコンと接続する 165

１５章 その他の機能 167

１５章１　お休みタイマー 167

１５章２　しおり 168

15.2.1 しおりを付ける 169

15.2.2 音声しおりを付ける 170

15.2.3 番号でしおりに移動する 172

15.2.4 前後のしおりに移動する 172

15.2.5 しおりを削除する 173

15.2.6 選択中タイトルのしおりを削除 173

15.2.7 音声しおり再生設定 174

１５章３　キー説明 175

１５章４　キーロック 175

１５章５　ヘルプを聞く 176

１５章６　情報を聞く 177

15.6.1 再生中・停止中に情報を聞く 177

15.6.2 録音時に情報を聞く 179

15.6.3 現在の日時を確認する 179

１６章 文字の入力 180

１６章１ 入力モードの選択 180

１６章２ キーの割り当て 181

１６章３ 文字の入力 185

16.3.1 文字の確定 185

16.3.2 入力した文字の確認 185

16.3.3 入力位置の移動と文字の消去 185

16.3.4 入力操作の例 186

１７章 メニュー項目 187

１７章１ メニュー階層一覧 187

１７章２　再生設定 192

17.2.1 シャッフル・リピート設定 192

17.2.2 音声ファイル名読み上げの設定 194

17.2.3 マルチメディアＤＡＩＳＹ再生設定 195

17.2.4 飛ばし読み 196

１７章３　メディア管理 198

17.3.1 メディア、タイトル情報 198

17.3.2 ＳＤカード内容全消去 199

17.3.3. 内蔵メモリ内容全消去 201

17.3.4 新規タイトル作成 202

17.3.5 タイトル削除 203

17.3.6 ファイル削除 204

17.3.7 編集準備 205

17.3.8 ビルドブック 207

１７章４　管理 209

17.4.1 プレクストークの情報 209

17.4.2 テキスト読み上げ音声の選択 210

17.4.3 待ち受け音の選択 211

17.4.4 キー受付音の選択 212

17.4.5 時計設定 213

17.4.6 ＵＳＢ動作の切替え 215

17.4.7 テキスト読み上げの設定（ピッチ設定） 216

17.4.8 ネットワーク設定 217

17.4.8.1 ネットワーク情報確認 217

17.4.8.2 ネットワーク設定の読み込み 219

17.4.8.3 ネットワーク設定の保存 221

17.4.8.4 ネットワーク電源のＯＮ／ＯＦＦ.....222
17.4.8.5 ワイヤレスネットワーク接続設定.....223
17.4.8.5.1 利用できるワイヤレスネットワーク.....223
17.4.8.5.2 設定の追加.....228
17.4.8.5.3 設定の変更／削除.....229
17.4.8.6 ネットワーク設定の初期化.....232
17.4.9 ネットワーク・バージョンアップ.....234
17.4.10 設定の初期化.....235
１７章５ メニューのショートカット.....238
17.5.1 メニュー項目に数字を割り当てる.....238
17.5.2 メニュー項目に直接移動する.....239
１８章 付録.....240
１８章１ 音声ファイルの連続再生の順序.....240
１８章２ 録音やバックアップで自動的に作られるフォルダ名について.....242
１９章 用語解説.....244
２０章 故障かなと思ったら.....250
２０章１ 症状と対応のしかた.....251
２０章２ よくある質問 Ｑ＆Ａ.....262
２１章 仕様.....265
２２章 動作確認済マイク、動作確認済ＳＤカード及びオプション品.....269
２３章 保証について.....270
２４章 お問い合わせについて.....272
索引.....273

諸注意

安全にお使いいただくために（警告、注意）

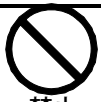
本製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はまちがった使い方をすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

警告及び注意事項について

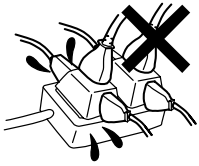
⚠警告 ＜警告＞	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う恐れがあります。
⚠注意 ＜注意＞	これらの表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う恐れ又は物的損害が発生する恐れがあります。

※以下の警告及び注意事項の中で使われる「本製品」という表現には、プレクストークリンクポケット本体のみならず、バッテリーも含まれます。
※「ＳＤメモリカード」を省略して「ＳＤカード」と表記します。

⚠警告

 厳守	歩きながら本製品を使用する際は、足元や周囲の交通には十分に注意してください。転倒や交通事故の原因になります。 イヤホンやヘッドホンを使用する際には、自動車などが接近しても気が付かない場合がありますので、特に注意してください。
 禁止	自動車・バイク・自転車等の乗り物を運転しながら本製品を使用しないでください。交通事故の原因になります。
 電源プラグを抜け	本製品から煙が出る、異臭がする等の異常がある場合、そのまま使用すると火災、感電、けが等の原因になります。ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。その際、本体またはバッテリーが高温になっている可能性がありますので、火傷しないように十分注意してください。
 電源プラグを抜け	万一、バッテリーから液がもれたら、ただちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、すぐに火気より遠ざけ、販売店にご連絡ください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂の恐れがあります。 バッテリー液が目に入った場合は、きれいな水で洗った後、ただちに医師に相談してください。液が皮膚や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。
 電源プラグを抜け	本製品の隙間から金属物などの異物を入れたり、本製品に水や洗浄液等の液体をこぼしたりしないでください。ショートして火災や感電や故障の原因になり、大変危険です。異物や液体が入ってしまった場合は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、本体からバッテリーを取り出し、販売店にご連絡ください。

⚠警告

分解禁止	分解、修理、改造をしないでください。火災・感電・故障の原因になり、大変危険です。修理は弊社「お問い合わせ窓口」にご依頼ください。
水ぬれ禁止	お風呂や雨の当たる場所、湿気の多い場所での使用はしないでください。感電・火災・故障の原因になります。
ぬれ手禁止	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
禁止	付属の電源アダプターや電源コード、弊社指定のバッテリー以外は使用しないでください。また、AC100V 50/60Hz 以外の電源では使用しないでください。火災や感電や故障の原因になります。
厳守	電源プラグについたほこりは定期的に清掃してください。その際、電源プラグをコンセントから抜いた後に清掃してください。また、たこあし配線をしないでください。ほこりがたまったり、たこあし配線をしたりすると、火災や感電の原因になります。 
厳守	電源プラグを差し込む際は、プラグ本体を持って根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと火災や感電の原因になります。また、電源プラグを抜く際は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ってプラグを抜くと、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。

⚠警告

 禁止	電源アダプター、電源コードを傷つけないでください。重いものを乗せたり、引っ張ったり、加工したり、傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねたり、挟んだり、熱器具を近づけたりするとアダプターやコードが傷つき、火災や感電の原因となります。
 禁止	ＳＤカードは、乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤飲すると健康に悪影響を及ぼします。誤飲した際は、ただちに医師に相談してください。
 禁止	本製品やＳＤカードを、ほこりの多い場所、直射日光の当たる場所や暖房器具に近い場所、炎天下の車内等に置かないでください。また、携帯電話、オーディオアンプ、電子レンジ、トースター、ヘアドライヤー、その他熱や電波を発生する電気製品の近くに置かないでください。火災や感電、故障の原因になります。
 禁止	本製品やＳＤカードをたたく、踏みつける、重いものを乗せる、落下させるなどの強い衝撃を与えないでください。また、火の中に入れたり、電子レンジやオーブンなどで加熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。
 電源プラグを抜け	長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリーを本体から取り出しておいてください。
 厳守	お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜き、電源を切ってください。感電の原因になります。 水や洗剤液を直接かけたり、霧吹きで吹き付けたりしないでください。液体が本製品にかかると、火災や感電や故障の原因になります。

⚠警告

	バッテリーを誤って落下させると故障の原因になります。取扱いには十分に注意してください。
	本体を廃棄する際は、お住まいの自治体の定める廃棄物分別方法に従って処分してください。バッテリーの廃棄は「充電式電池リサイクル協力店」にご持参して廃棄してください。
	航空機や病院など使用制限のある場所では、その場の指示に従ってください。無線ＬＡＮや音楽プレーヤー等の使用が禁止されている場所では本製品を使用しないでください。
	イヤホンやストラップが首に巻きつくと窒息の恐れがありますので、取扱には十分注意してください。
	雷が鳴っている時、または落雷がありそうな時は、電源プラグをコンセントから抜き、バッテリー駆動で使用してください。電源アダプターを接続した状態で雷が落ちると、火災や感電や故障の原因になります。
	本製品が故障した場合、電源を切って使用を中止し、プレクストークお問い合わせ窓口、または販売店に相談してください。故障したまま使用を続けると、火災や感電の原因になります。

⚠注意

	本製品は使用中または充電中に温度が上がる場合があります。長時間皮膚の同じ場所に触れていると、熱い・痛いなどの自覚症状がなくても低温やけどのおそれがありますので、長時間皮膚の同じ場所に触れないようにしてください。
	長時間ヘッドホンをご使用になると聴覚へ悪影響を及ぼす恐れがあります。長時間の連続使用は避けてください。また、大き過ぎる音量で聴くことも避けてください。
	付属のＵＳＢケーブルの金属端子には、鋭利な部分があります。金属部分に触れる際にはケガをしないよう、十分に注意してください。
	ＳＤカードは正しい向きで入れてください。また、出し入れの際、決して無理な力を加えないでください。間違った向きで入れたり、無理な力を加えて出し入れしたりすると故障の原因になります。 本製品のカードスロットはＳＤカードおよびＳＤＨＣカード専用です。それ以外のカードをカードスロットに差し込まないでください。故障の原因になります。
	お手入れの際は中性洗剤を少しだけ布にしめらせて汚れを取り、乾いた布でふいてください。 中性ではない洗剤を使用したり、シンナー・アルコールなどで拭いたりしないでください。本製品の表面を痛めてしまいます。
	電源ケーブルにつまずいて転倒しないように注意してください。けがの原因となります。また、つまずいたために、本製品が落下して故障する可能性があります。十分に注意してください。

使用許諾

１．本取扱説明書（以下「本書」）はシナノケンシ株式会社の著作物です。したがって、定められた場合を除き、本書の一部または全部を無断で複製・複写・転写・転載・改変することは法律で禁止されています。
２．本書に記載されている内容に関しては、改良のため予告なしに変更することがあります。
３．本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不明な点あるいは不備な点などがありましたら、弊社までご連絡ください。
４．本製品及び付属品の使用に起因する損害や逸失利益の請求などにつきましては、上記に関わらずいかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
５．本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物等輸出規制製品に該当する場合があります。国外に持ち出す際は、日本政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
６．本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関わる設備や機器としての使用、またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により人身事故、火災事故、社会的損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計など、安全設計に万全を期されるようご注意ください。
７．本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート及びアフターサービス等を行なっておりません。予めご了承ください。

本製品と付属品のライセンスと商標はすべて、弊社その他本製品と付属品の各々の権利者が保持します。

その他の注意事項

電波障害自主規制について

本製品はテストを受けた結果、住宅内での設置による電波障害からの保護を目的として定められたＦＣＣ規格の１５章に従う分類Ｂデジタル装置向けに設けられた規制に合ったものと認定されました。ただし、どのような装置でも電波妨害がまったく生じないという保証はありません。本製品がテレビやラジオ等の受信障害の原因となっているかは、本製品の電源の ON/OFF を切り替えることで確認できます。本製品が原因の場合は次の方法を試してください。

・受信アンテナの位置、あるいは方向を変える
・本製品と受信機の距離を離す
・本製品と受信機のコンセントを別々にする

バックアップに関する著作権について

本製品によるバックアップは、著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または刑事上の制裁を受ける場合があります。

登録商標について

・ＳＤメモリカード、ＳＤＨＣメモリカードはＳＤアソシエーション(SD Card Association) の登録商標です。
・Microsoft、Windows 2000、Windows XP、Windows Vista、 Windows 7、Microsoft Word および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の、米国及びその他の国における登録商標または商標です。
・iTunes は、Apple 社の商標です。
・Audible は、Audible 社の登録商標です。
・radiko は、株式会社 radiko の登録商標です。
・コンパクトフラッシュはサンディスク社の登録商標です。

Ogg Vorbis の著作権について

Copyright information about Ogg Vorbis.

This software is provided by the copyright holders and contributors as is and any express or implied warranties, including, but not limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall the foundation or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, including, but not limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption, however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort, including negligence or otherwise, arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

１章　はじめに

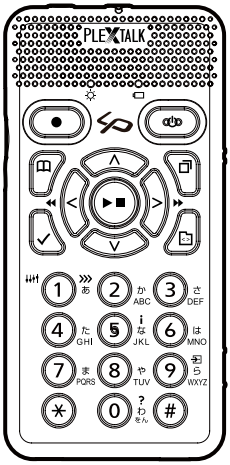
１章１　入っているものを確認しましょう

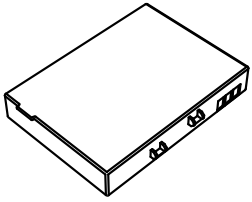
本製品をご使用になる前に、まず以下のものがそろっているか□チェックしながらお確かめください。万一不足しているものがありましたら、お手数ですが本製品を購入した販売店までご連絡ください。

お願い：梱包箱や梱包材は、修理などのために本製品を安全に輸送する際に必要となることがありますので、大切に保管しておいてください。

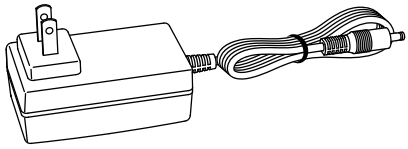
□プレクストークリンクポケット　□バッテリー　１個

（本体）　１台
（ＳＤカード挿入済）

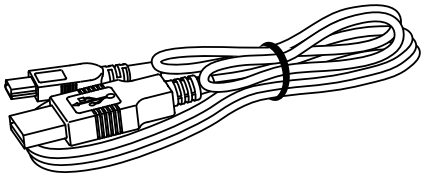




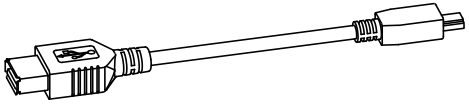
□電源アダプター　１個



☐ＵＳＢケーブル（長）　１本
（パソコンと接続します）



☐ＵＳＢケーブル（短）　１本
（PTR1/PTR2、カードリーダー等
との接続に使用します）



☐イヤホン　１個

☐キャリングバッグ　１個

☑取扱説明書墨字版(本書)　１冊

☐クイックガイド　１枚

☐取扱説明書ＣＤ：DAISY 版　１枚

☐基本操作ガイド音楽ＣＤ版　１枚

☐動作確認済品一覧　１枚

1章2　用語

1.2.1. キーワード

ここでは、本製品を操作する上で、特に重要となる用語を解説します。

●タイトル
本製品で再生可能な個々のものを「タイトル」と呼びます。例えば1冊のDAISY図書やひとつのテキストファイルなどを「タイトル」と呼びます。

●カテゴリー
本製品は、様々なタイトルを種類別に分類して取り扱うことができます。これらの分類を「カテゴリー」と呼びます。
「カテゴリー」には、「DAISY図書」「録音したDAISY」「音楽」「テキスト」「オーディオブック」「ポッドキャスト」「ウェブラジオ」の7種類があります。

●メディア
「メディア」とは、本製品で再生可能なタイトルが保存されている「入れ物」を表します。本製品では、「ＳＤカード」「ＵＳＢ機器」「内蔵メモリ」「メモ録」「ネット閲覧室」「お知らせ」の６種類を「メディア」と呼びます。

●ファイルとフォルダ
ファイルとは、パソコンなどで取り扱う、ひとかたまりのデータを表します。たとえば、音声ファイルは音声をひとつのかたまりとしてまとめたものであり、テキストファイルは文字データをまとめたものです。
フォルダとは、これらのファイルを保存する「名前付きの場所」を表します。

●オンラインサービス
本製品は、インターネットを経由して DAISY 図書などを利用することができる「DAISY オンライン」に対応しています。DAISY オンラインでは、DAISY 図書の検索や再生ならびに関連情報の配信を受けるサービスを利用することができます。本製品では、このようなサービスを「オンラインサービス」と呼びます。

1.2.2. カテゴリー

本製品は様々なタイトルを以下の 7 種類の「カテゴリー」に分類します。

●録音した DAISY
本製品で録音したものは DAISY 図書の形式で録音され、内蔵メモリまたはＳＤカードの「PlexRecording」という名前のフォルダに保存されます。本製品では、このフォルダに保存されている DAISY 図書を、「録音した DAISY」という名前のカテゴリーに分類します。タイトルを選択する際、本製品で録音した録音物と、一般の DAISY 図書とが別のグループとして音声ガイドされます。
注：本製品で録音したものをバックアップなどで別のフォルダに移動させると「録音した DAISY」には分類されず、「DAISY 図書」というカテゴリーに分類されます。

●DAISY 図書
上記の「録音した DAISY」以外の DAISY 図書は、「DAISY 図書」というカテゴリーに分類されます。

●オーディオブック
一般的には、ＭＰ３などのファイル形式の朗読図書などを「オーディオブック」と呼びますが、本製品では、ＳＤカード、ＵＳＢ機器、内蔵メモリ内の、

「Audible」または「PlexAudioBook」という名前のフォルダに保存された再生可能な音声ファイルを「オーディオブック」に分類します。

●テキスト

本製品では、文書ファイルを合成音声を用いて再生することができます。それらの文書ファイルは「テキスト」というカテゴリーに分類されます。

●ポッドキャスト

ポッドキャストとは、インターネットで音声ファイルなどをダウンロードで配信する仕組み、またはその番組を表します。本製品はポッドキャストとしてダウンロードした音声ファイルを「PlexPodcast」というフォルダに収録します。本製品は、このフォルダに保存されている音声ファイルを「ポッドキャスト」というカテゴリーに分類します。

●ウェブラジオ

ウェブラジオとは、インターネットで音声ファイルなどをストリーミングで配信する仕組み、またはその番組を表します。ＳＤカード、内蔵メモリ内の、「PlexWebRadio」という名前のフォルダに保存された番組は「ウェブラジオ」に分類されます。

●音楽

上記の「DAISY 図書」「録音した DAISY」「オーディオブック」「ポッドキャスト」以外の再生可能な音声ファイルを「音楽」と呼びます。

1.2.3. メディア

「メディア」は、タイトルを保存しておく「入れ物」を表します。本製品では以下のような６種類のメディアを扱うことができます。

●内蔵メモリ

DAISY 図書や音楽などを保存できるフラッシュメモリが本製品に内蔵されています。DAISY 図書や音声ファイルなどを収録することができます。

●ＳＤカード

本製品はＳＤカードおよびＳＤＨＣカードに対応しています。本書では、ＳＤカードとＳＤＨＣカードを一括して「ＳＤカード」と呼びます。DAISY 図書や音声ファイルなどを保存することができます。

●ＵＳＢ機器

本製品は、ＵＳＢ外付けＣＤ／ＤＶＤドライブ、ＵＳＢフラッシュメモリ、ＵＳＢカードリーダーライターに対応しています。本書では、これらの製品を一括して「ＵＳＢ機器」と呼びます。DAISY 図書や音声ファイルなどを扱うことができます。

●メモ録

本製品で録音したメモ録を収録しておく場所です。

●ネット閲覧室

本製品では、オンラインサービスを利用して再生することができる DAISY 図書などの一覧を「ネット閲覧室」と呼びます。ネット閲覧室は、オンラインサービスで利用可能なタイトルの一覧が登録されている場所です。オンラインサービスの設定がされていないと「ネット閲覧室」を選択することはできません。ネット閲覧室の操作については「取扱説明書 サピエ編」を参照してください。

●お知らせ

オンラインサービス提供団体から配信される通知を「お知らせ」と呼びます。オンラインサービスの設定がされていないと「お知らせ」を選択することはできません。お知らせの操作については「取扱説明書 サピエ編」を参照してください。

1.2.4. ＤＡＩＳＹ

●DAISY 図書

DAISY（デイジー）とは、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために開発されたデジタル録音図書の規格です。DAISY 図書とは、この規格にそって制作された図書のことを言います。DAISY 図書は、デジタル録音されたデータに、セクションやページ、フレーズなどの印が付けられており、利用者は、その印によって聴きたい箇所にすばやく移動することができます。

●セクションと見出し

DAISY では、本の章、節、項などの切れ目となる箇所に、「見出し」と呼ばれる印が付けられます。ある見出しから、次の見出しまでのひとかたまりの音声を「セクション」と呼びます。通常、各セクションの先頭のフレーズが見出しとなります。

●フレーズ

音声データは、息継ぎなどで一定時間、無音になった箇所で区切られています。その無音から次の無音までのひとかたまりの音声を「フレーズ」と呼びます。通常、１フレーズは数秒から十数秒程の長さになります。

●ページ
ページとは、文字どおり本のページごとの区切りを表します。ページ番号が切り替わる箇所のフレーズに付けられています。

●グループ
グループとは、セクション内に付けられた区切りです。図表や脚注など本文とは異なる説明箇所などに特別に付けられていることがあります。

●音声 DAISY、テキスト DAISY、マルチメディア DAISY
本製品では、音声のみで制作した DAISY 図書を「音声 DAISY」と呼び、テキストのみで制作した DAISY 図書を「テキスト DAISY」と呼びます。また、音声とテキストの両方で制作した DAISY 図書を「マルチメディア DAISY」と呼びます。

１章３　本製品でできること

本製品では次のようなことができます。

１）　ＤＡＩＳＹ図書を聴く

DAISY 形式の録音図書を再生することができます。長時間再生が可能で、読みたい場所がすぐに探せる優れた検索機能があります。

２）　音楽やオーディオブックを聴く

音楽やオーディオブックを内蔵メモリやＳＤカードに取り込んで聴くことができます。

３）　テキストファイルを聞く

テキストファイルを、合成音声で読み上げます。

４）　インターネット経由で図書などを聴く

オンラインサービスを利用して図書などを聴くことができます。

５）　ポッドキャストやウェブラジオを聴く

インターネット上のポッドキャストやウェブラジオを聴くことができます。

６）　録音する

授業や会議などを録音できます。フレーズが自動的に切れるので、録音した内容の重要な部分を繰り返し聞くことができます。

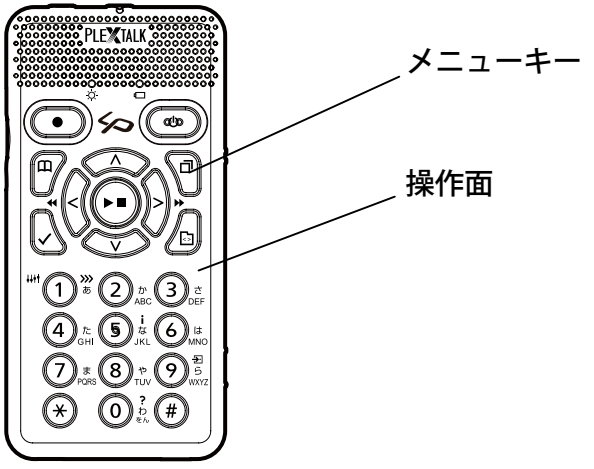
７）　便利な機能

①音声で本製品の動作を明確に知らせる音声ガイド機能があります。
②お休み前に DAISY 図書や音楽を聞きたい時など、設定した時間で自動的に電源が切れる「お休みタイマー」機能があります。
③音楽ＣＤや DAISY 図書をバックアップできます。
④その場ですぐに録音したいときに、メモ録で録音することができます。
⑤自由な場所にしるしを付けられるしおり機能があります。
⑥聞き取りやすい音程での再生速度の変更機能があります。

2章　各部の名称と働き

2章1　本体の形状

本製品を操作するための各種キーが配置されている広い面を「操作面」と呼びます。操作面の中には内蔵スピーカーなどが配置されている網目の部分があります。本製品を操作する際は、網目の部分が上になるようにして持ちます。操作面を正面にして、操作面の上側の面を「上面」、操作面の下側の面を「底面」、右側の側面を「右側面」、左側の側面を「左側面」、操作面の裏側を「背面」と呼びます。

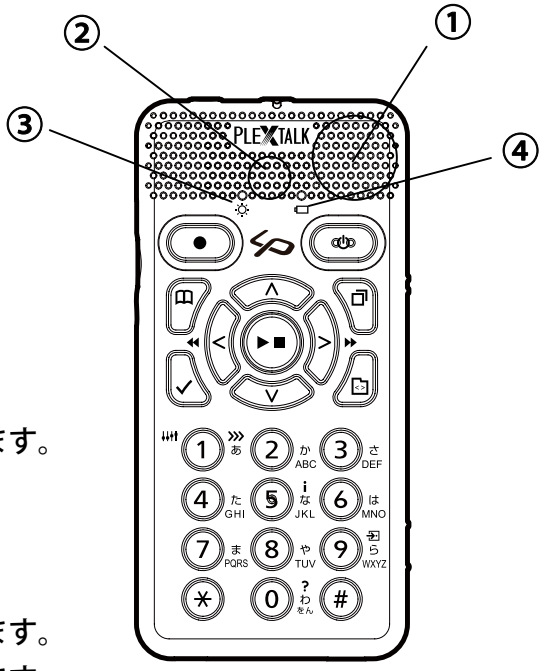


＜ポイント＞

●操作面右上の、二つの突起がある電源キーを長く押して電源を入れ、電源キーのすぐ下の［メニューキー］を約５秒押してから、説明を聞きたいキーを押すと、そのキーの名称が音声でガイドされます。もう一度［メニューキー］を約５秒押すとキー説明が終了します。

２章２ 操作面

以下で、各キーの
操作方法を簡単に
説明します。
詳しくは次章以降を
参照してください。



①内蔵スピーカー

操作面最上部右側にあります。
再生音や音声ガイドが
流れます。

②内蔵マイク

操作面最上部中央にあります。
音声などの録音に使用します。

③電源ＬＥＤ

電源が入ると緑色に点灯します。録音中は橙色に点灯し、録音準備中または録音ポーズ中は橙色に点滅します。

④バッテリーＬＥＤ

バッテリーの充電中は赤色に点灯、または赤色と緑色が交互に点滅し、充電が完了すると緑色に点灯します。バッテリーや電源アダプターが異常なときには、赤色で点滅します。

⑤電源キー

操作面で一番右上にあるキー⑤です。網目の部分のすぐ下にあります。長く押すと電源がＯＮ／ＯＦＦされます。電源が入った状態で短く押すと「お休みタイマー」がはたらきます。

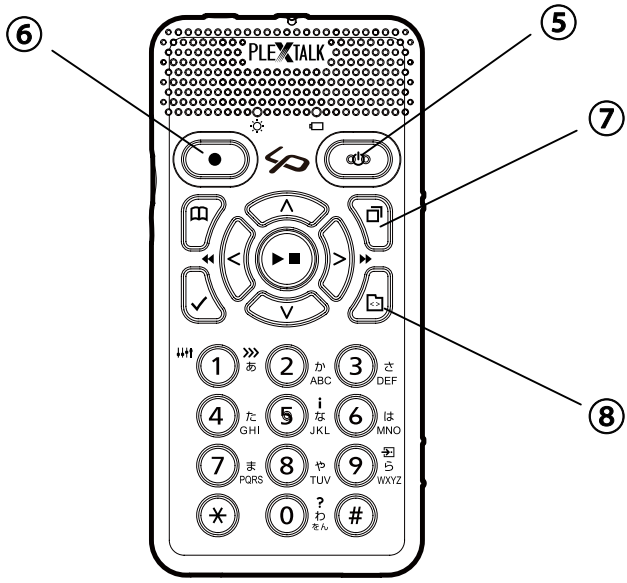
⑥録音キー

操作面で一番左上にあるキー⑥です。網目の部分のすぐ下にあります。１回押すと DAISY 編集モードに入った後、録音準備状態になり、もう１回押すと録音が始まります。録音中に録音キーを押すと、録音がポーズ（一時停止）となり、もう１回押すと、録音が再開されます。再生・停止キーを押すと録音が終了します。

メモ録をする際は、録音キーを押し続けます。音声ガイドの後に開始音が鳴り、録音が始まります。録音キーから指を離すとメモ録が終了します。

⑦メニューキー

電源キーのすぐ下にあるキー⑦です。１回押すとメニューに入り、もう１回押すとメニューから抜けます。メニューキーを１回押したら、左右キーで大きな項目を選びます。大きな項目には、「オンラインサービス」「編集」「録音設定」「再生設定」「しおり」「メモ録」「ポッドキャスト」「メディア管理」「管理」「ネット閲覧室・お知らせ」があります。その中から目的の項目を選び、再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定します。すると、小さな項目が現れますので、左右キーで小さな項目を選び、再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定します。後は音声ガイドの指示に従って操作します。操作の途中で、ひとつ前の操作に戻りたい時は、上キーまたは＊キーを押すと現在の操作がキャンセルされ、ひとつ前の操作に戻ります。操作の途中で全てをキャンセルしたい時は、メニューキーを押すと全てキャンセルされます。



⑧タイトルキー

メニューキーのすぐ下にあるキー⑧です。メディアやタイトルの変更に使います。タイトルキーを押すごとに、ＳＤカード→ＵＳＢ→内蔵メモリ→メモ録→ネット閲覧室→お知らせ→ＳＤカード、というような順番でメディアが音声ガイドされますので、目的のメディアが音声ガイドされたら左キーまたは右キーを押して聴きたいタイトルを選択します。再生・停止キーを押すと、そのタイトルが再生されます。ＳＤカードやＵＳＢの場合は、DAISY 図書→録音した DAISY→音楽→テキスト→オーディオブック→ポッドキャスト→ウェブラジオ→DAISY 図書というような順番でタイトルが音声ガイドされます。以上のように、まずタイトルキーを何回か押してＳＤカード、ＵＳＢ、内蔵メモリなどに移動し、次に左右キーを何回か押してタイトルを選び、そして再生・停止キーを押して再生する、という手順になります。

⑨移動キー

録音キーのすぐ下にあるキー⑨です。目的のページや見出しなどに、ダイレクトに移動する際に使います。ページにダイレクトに移動するには、まず移動キーを１回押し、次にページ番号をテンキーで入力し、最後に再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーを押して決定します。すると、そのページに移動します。見出しに移動するには、移動キーを２回押し、見出し番号をテンキーで入力してから、再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定します。音楽の場合も同様です。曲を選んで聴くには、移動キーを１回押して、何番目の曲かをテンキーで入力し、再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定します。アルバムに移動するには、移動キーを２回押し、番号を入力してから決定します。

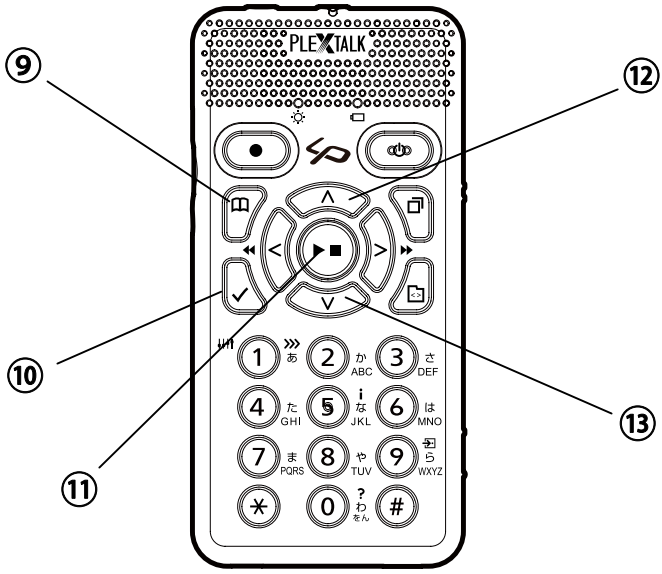
⑩しおりキー

移動キーのすぐ下にあるキー⑩です。しおりを付けたり、しおりへ移動する際に使います。

しおりに移動するには、しおりキーを１回押し、しおり番号をテンキーで入力して、再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定します。しおりを付けるには、しおりキーを２回押し、しおり番号を入力して、再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定します。しおりを削除するには、しおりキーを３回押し、しおり番号を入力して、再生・停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定します。

⑪再生・停止キー

メニューキー・タイトルキー・移動キー・しおりキーに囲まれたキー⑪です。再生・停止キーを押すと再生が始まります。もう一度押すと再生が停止します。録音を停止するとき、および録音準備状態や録音ポーズ状態を解除する際にも使います。また、様々な操作を決定する際にも使います。



⑫上キー

再生・停止キーの上にあるキー⑫です。レベル選択や録音音量調整などに使います。また、操作をキャンセルしたり、ひとつ前の操作に戻る際にも使います。DAISY 図書でレベル移動をする際、上キーを押していくと、レベル３→レベル２→レベル１→３０秒→１０分→フレーズ→ページ→グループのように移動します。録音音量調整に使う際には、自動音量調整を「なし」にした後、録音準備中などの時に上キーを押すと録音音量が上がります。

⑬下キー

再生・停止キーの下にあるキー⑬です。レベル選択や録音音量調整などに使います。また、操作を決定する際にも使います。DAISY 図書でレベル移動をする際、下キーを押していくと、レベル３→グループ→ページ→フレーズ→１０分→３０秒→レベル１→レベル２のように移動します。録音音量調整に使う際には、自動音量調整を「なし」にした後、録音準備中などの時に下キーを押すと録音音量が下がります。

⑭右キー

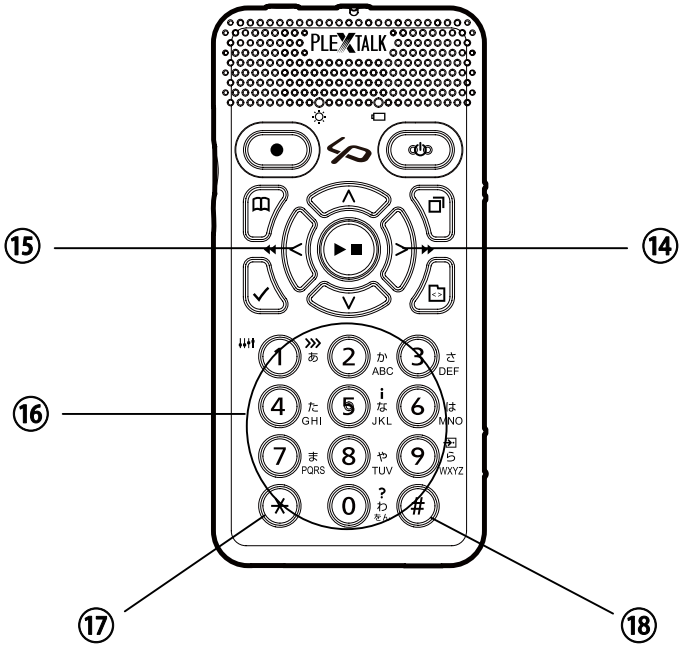
再生・停止キーの右にあるキー⑭です。再生位置を進める際に使います。また、メニューの選択などにも使います。DAISY 図書を再生する際、たとえば、上下キーでレベル１（章）を選択して、第１章→第２章→第３章のように先に進みたいときに、右キーを押していくと、ひとつずつ先の章に進みます。上下キーでフレーズを選択している場合は、ひとつずつ先のフレーズに進みます。また、右キーを長く押すと５秒、１０秒・・・と、早送りされます。

⑮左キー

再生・停止キーの左にあるキー⑮です。再生位置を戻す際に使います。また、メニューの選択などにも使います。DAISY 図書を再生する際、たとえば、上下キーでレベル１を選択して、第３章→第２章→第１章のように前に戻りたいときに、左キーを押していくと、ひとつずつ前の章に戻ります。上下キーでフレーズを選択している場合は、ひとつずつ前のフレーズに戻ります。また、左キーを長く押すと５秒、１０秒・・・と、早く巻き戻されます。

⑯テンキー

テンキーは下キーの下にあるキー⑯です。電話のプッシュボタンと同じ並びに配列されています。番号や文字の入力に使います。次のような別の用途もあります。１キーはスピード・トーンなどの変更に、５キーは情報キーとして、９キーはバックアップやダウンロードに、０キーはヘルプキーとして使います。１キーを１回押した後に、上キーを押すと再生スピードが上がり、下キーを押すと再生スピードが下がります。１キーを２回押した後に、上キーを押すとトーンが上がり、下キーを押すとトーンが下がります。３回押すと音声ガイドの音量を、４回押すと音声ガイドのスピードを調整することができます。５キーを押すと現在のタイトルに関する情報を聞くことができます。さらに５キーを押すと、今聞いている情報の次の情報にスキップします。９キーは、選択したタイトルを別のメディアにバックアップする際に使います。また、ダウンロードにも使います。０キーを押すと、ヘルプを聞くことができます。ヘルプの内容はこの取扱説明書とほぼ同様の内容になっています。ヘルプを終了するには、もう一度０キーを押します。



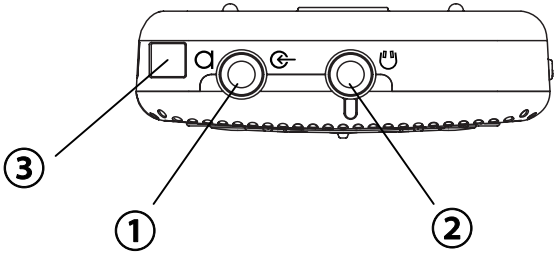
⑰＊キー（アスタリスクキー）

テンキーの一番左下のキー⑰です。アンドゥ、または操作をキャンセルする際に使います。

⑱＃キー（シャープキー）

テンキーの一番右下のキー⑱です。リドゥ、または操作を決定する際に使います。

2章3 上面



①外部音声入力端子

操作面を下にして、上面の左側の丸い穴が外部音声入力端子です。外付けマイクおよびラインインの端子を接続します。ステレオ入力です。

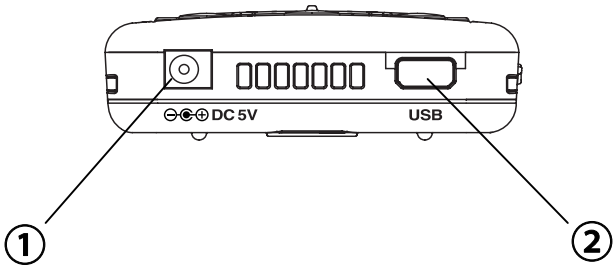
②ヘッドホン出力端子

操作面を下にして、上面の中央の丸い穴がヘッドホン端子です。ヘッドホンを接続します。ステレオ出力です。

③ストラップ穴

操作面を下にして、上面の一番左側の四角い穴がストラップ穴です。市販のストラップを通すための穴です。

２章４ 底面



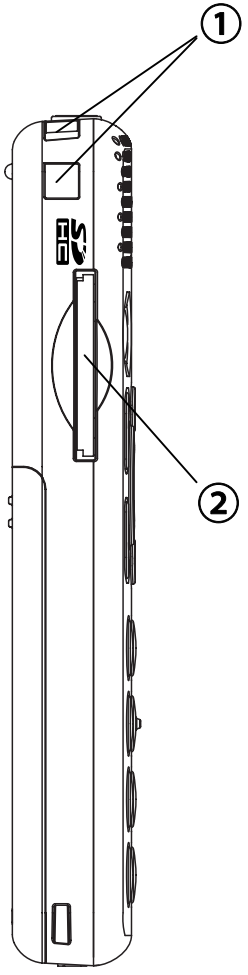
①ＤＣ入力端子

操作面を上にして、底面の左端の穴がＤＣ入力端子です。付属の電源アダプターを接続します。

②ＵＳＢ端子

操作面を上にして、底面の右端の横長の穴がＵＳＢ端子です。付属のＵＳＢコードを接続します。データ転送に使用します。

2章5　左側面



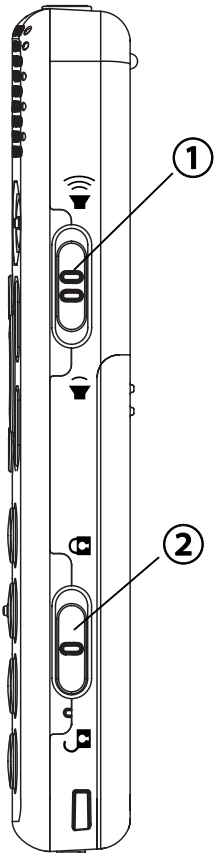
①ストラップ穴

左側面最上部の角にある２つの穴がストラップ穴です。市販のストラップを通すための穴です。

②ＳＤカードスロット

左側面中央やや上にある、細長い穴がＳＤカードスロットです。ＳＤカードを入れます。

２章６ 右側面



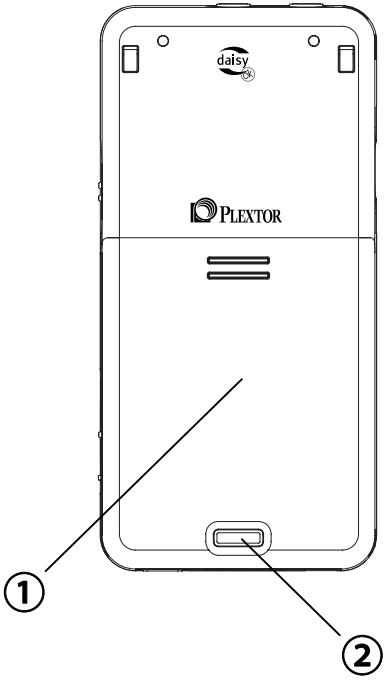
①音量スイッチ

右側面には二つのスイッチがあり、上にあるのが音量スイッチです。１回上げるごとに音量が上がり、１回下げるごとに音量が下がります。音量は０～２５まで１段階ずつ調整ができます。音声ガイドの音量も合わせて調整されます。

②キーロックスイッチ

下にあるのがキーロックスイッチです。本製品を持ち運ぶ際にキーが誤って押されても誤動作しないようにロックするときに使います。上方向にスライドさせると全てのキーがロックされ（キーロックが有効になり）、下方向にスライドさせるとキーロックが無効になります。
電源をＯＮ／ＯＦＦする際にはキーロックを無効にしてください。

2章7 背面



①バッテリー蓋

背面中央から下がバッテリー蓋です。この蓋を開けて付属のバッテリーを入れます。

②解除ボタン

背面一番下の中央にあります。バッテリーの蓋を開けるためのボタンです。このボタンを押しながら、蓋を下方にスライドさせると蓋が開きます。

3章　電源とバッテリー

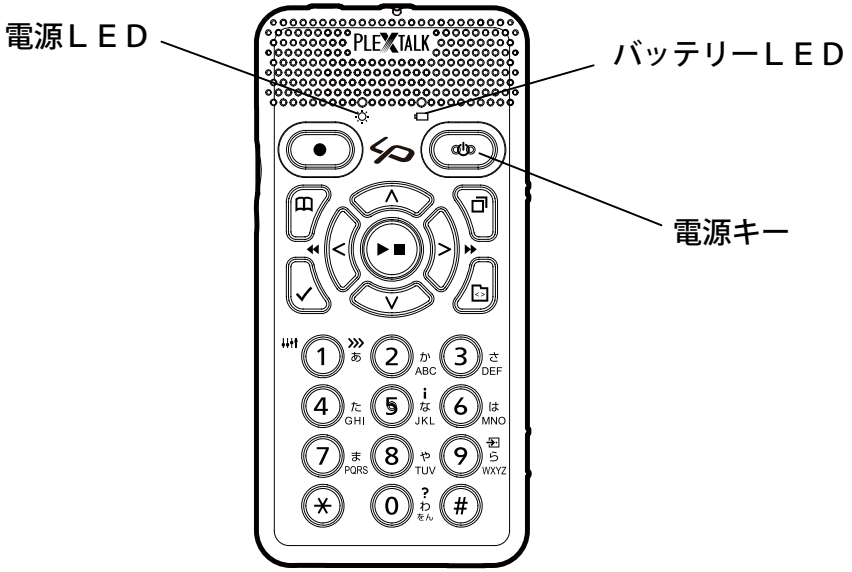
3章1 バッテリーの入れ方・取り出し方

＜警告＞

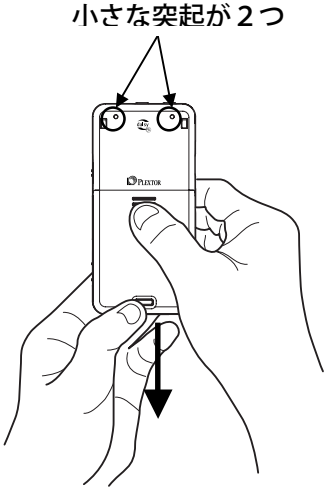
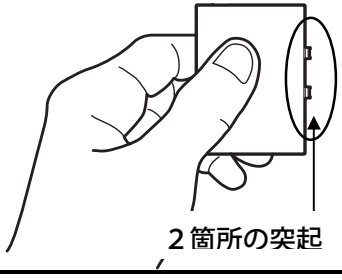
●バッテリーを交換する際は、必ず電源を完全にＯＦＦにし、電源アダプターを外してください。

●バッテリーを入れる際は、バッテリーの端子の向きを正しく入れてください。

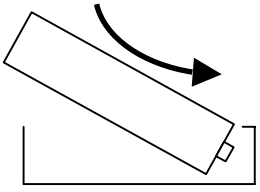
●「安全にお使いいただくために（警告、注意）」12ページ以降をご覧のうえ、バッテリーを使用してください。

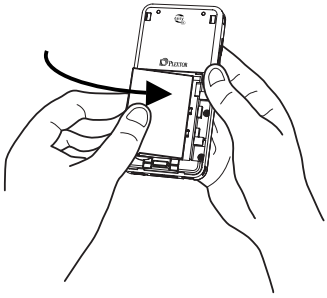


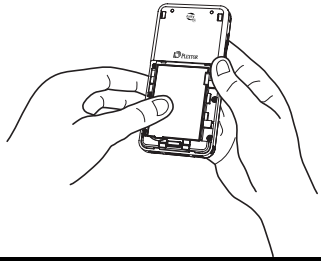
3.1.1 バッテリーの入れ方

手順	
1) 電源を切り、電源アダプターを外します。	
2) 本体で複数のキーがある面が操作面です。バッテリーは裏側の背面から装着をします。まず背面を向くように本体を裏返し、丸く小さな突起が２つある方を上側にして持ちます。	
3) 本体の下側にバッテリー蓋を取り外す四角い小さな解除ボタンがありますので、片方の手の指先でそのボタンを深く押し込んだ状態のまま、もう一方の手で本体中央付近にある２本の線に指を掛け、両手でボタンと線を押さえながら下方向へ５mmほどスライドさせると、蓋が開きます。蓋を取り外します。(蓋を上側に持ち上げないようにしてください。) バッテリーを収納する四角い部分を確認しておきましょう。本体を一旦置きます。	
4) バッテリーを持ちます。四角い形状をしたバッテリーの面の中で、２箇所の突起がある面を確認します。 ２箇所の突起が右側面、左側面の下側に別の小さな突起がある方向でバッテリーを持ちます。左手で持つとバッテリーが入れやすくなります。	

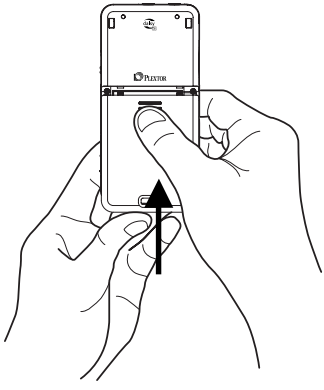
5） 再び本体を裏返した状態で丸く小さな突起が２つある方を上側にして持ち、バッテリーを本体の収納部分に左から右方向にずらしながら入れます。収納部分の右側面にバッテリーが突き当たったら、浮き上がっているバッテリーの左端の部分を優しく上から押し込むとスムーズにバッテリーを収納することができます。右方向から装着しようとすると収納部分の右側面にある突起が邪魔をして正しく装着することができません。



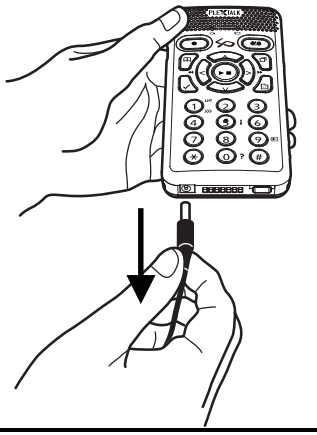
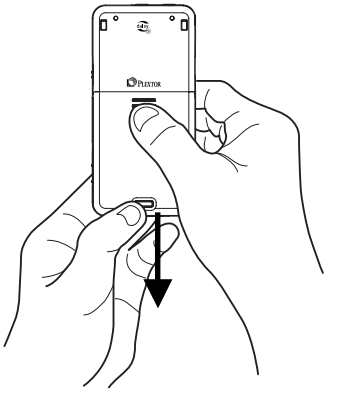


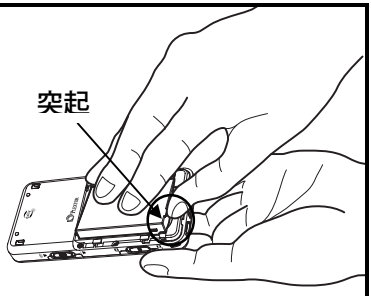
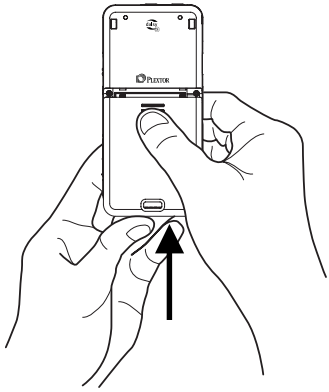


6） バッテリー蓋の取り外しの際に押さえた２本の線が上側となる向きで蓋を持ち、本体に蓋が完全に閉まる位置から約５mm下側にずらした状態で蓋を置きます。片側の手で蓋の２本の線を押さえ、もう一方の手で蓋の下側を押さえながら上方向にスライドさせると「カチッ」と音がして蓋が閉まります。蓋の回りをさわって、隙間なく閉まっていることを確認しましょう。

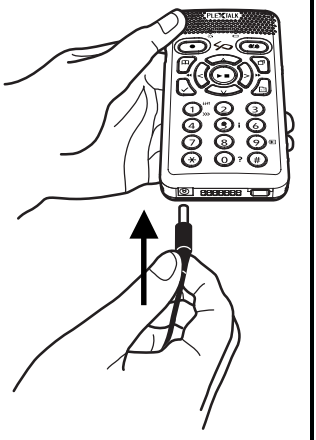


3.1.2 バッテリーの取り出し方

手順	
1) 電源を切り、電源アダプターを外します。	
2) 本体で複数のキーがある面が操作面です。バッテリーは裏側の背面から装着をします。まず背面を向くように本体を裏返し、丸く小さな突起が２つある方を上側にして持ちます。	
3) 本体の下側にバッテリー蓋を取り外す四角い小さな解除ボタンがありますので、片方の手の指先でそのボタンを深く押し込んだ状態のまま、もう一方の手で本体中央付近にある２本の線に指を掛け、両手でボタンと線を押さえながら下方向へ５mmほどスライドさせると、蓋が開きます。蓋を取り外します。バッテリーを収納する四角い部分を確認しておきましょう。	

4) 蓋を外した際に押したボタンの位置から１ｃｍほど左側に小さなくぼみがあります。そのくぼみの中にバッテリーの突起がありますので、その突起に爪をかけて上に持ち上げるとバッテリーが外れます。上に持ち上げる際、あまり力を入れずに持ち上げると簡単に外れます。	
5) バッテリー蓋の取り外しの際に押さえた２本の線が上側となる向きで蓋を持ち、本体に蓋が完全に閉まる位置から約５ｍｍ下側にずらした状態で蓋を置きます。片側の手で蓋の２本の線を押さえ、もう一方の手で蓋の下側を押さえながら上方向にスライドさせると「カチッ」と音がして蓋が閉まります。蓋の回りをさわって、隙間なく閉まっていることを確認しましょう。	

3章2　バッテリーを充電する

手順	
1）操作面を手前にして、網目の部分が上になるように持ちます。底面左側のＤＣ入力端子に、電源アダプターを接続します。	
2）電源プラグをコンセントに差し込みます。充電を開始するとバッテリーＬＥＤが赤色に点灯し、途中から赤色と緑色が交互に点滅します。（赤色と緑色の点滅で開始する場合もあります。）最終的に緑色に点灯すると充電完了の状態です。	

＜警告＞

●本体と電源アダプター、電源プラグとコンセントは、確実に接続してください。

●付属品以外の電源アダプターを使用すると故障・火災の原因になります。必ず付属の電源アダプターを使用してください。

●電源アダプターのジャックは本体上面のヘッドホン端子や外部音声入力端子とほぼ同寸です。電源アダプターのジャックを間違ってヘッドホン端子や外部音声入力端子に差し込まないように注意してください。

＜ポイント＞

●上記の方法とは別に、パソコンとＵＳＢケーブルで接続して充電する方法もあります。その際は、電源を切ってキーロックを有効にするか、または電源を完全にＯＦＦにしてください。

3章3 バッテリーに関する注意

3.3.1 バッテリーの寿命とリサイクル

使用回数を重ね、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は寿命です。新しいものと交換してください。当バッテリーは本製品独自のものですので、家電量販店などでは販売していません。本製品を購入したお店でご購入ください。

廃棄の際は、使用済みのバッテリーの端子（金属部分）にテープを貼るなどの処理をして、充電式電池リサイクル協力店にご持参して廃棄してください。

3.3.2 バッテリーの充電について

本製品を初めてご使用になる前には、必ずバッテリーを充電してください。フル充電には約４時間かかります。充電時間は、使用条件によって異なります。充電しながら、使用することができます。充電を開始するとバッテリーＬＥＤが赤色に点灯し、途中から赤色と緑色が交互に点滅します。（赤色と緑色の点滅で開始する場合もあります。）最終的に緑色に点灯すると充電完了の状態です。はじめて電源を接続する時や、１ヶ月以上使用しなかったときは、内部の時計ＩＣ用バッテリー充電のため、電源アダプターを接続して電源を入れた状態で２４時間以上通電してください。通電中も使用することができます。

3.3.3 バッテリーでの再生、録音時間の目安

新品のバッテリーでの動作時間は、DAISY 図書の再生で約１０時間、録音で約８時間、テキストの再生で約７時間です。ワイヤレスネットワークのストリーミング再生で約４時間です。動作時間は使用条件によって異なります。

3.3.4 長期間使用しない場合について

長期間使用しない場合、バッテリー性能を維持するためには３ヶ月に１回程度、満充電にして本製品でほぼ使いきり、約３０分～１時間充電し、本製品からバッテリーを取り外して、湿度の低い涼しい場所で保管してください。バッテリーは時間の経過とともに必ず劣化しますが、保管状態によって劣化の度合いが異なってきます。放電し切った状態で保管したり、逆に満充電に近く、なおかつ温度が高い状態で保管したりすると劣化が早くなります。

3.3.5 電源を切った状態でのバッテリーの残量

電源アダプターを接続せずに、電源オフのままにすると、２～３週間でバッテリー残量がなくなります。長期間放置した後に電源を入れても起動しない場合は、電源アダプターを接続してから電源を入れてください。
完全電源オフにしておくと、バッテリー残量の減少を、より抑えることができます。

3.3.6 バッテリーを外してＵＳＢで動作

バッテリーを外し、ＵＳＢ接続で電力を供給する機器を接続して本製品を使用すると、電力不足になる場合があります。この場合、本製品の動作は保証できません。

3章4 電源のＯＮ／ＯＦＦ

本製品の「電源ＯＮ／ＯＦＦ」には、「通常の電源ＯＮ／ＯＦＦ」と「完全電源ＯＮ／ＯＦＦ」の２種類があります。
「完全電源ＯＦＦ」を行うと、再度電源を入れた際、電源ＯＮに時間がかかります。「通常の電源ＯＦＦ」を行うと、素早く電源ＯＮにすることができます。

3.4.1 電源を入れる（完全電源オフの状態から電源を入れる）

手順	主な音声ガイド
1) ［電源キー］を長く押します。（起動音が鳴るまで押し続けます。）	
2) 電源ＬＥＤが点灯し、電源が入ります。起動するまでに４０秒ほど時間がかかります。	

3.4.2 完全に電源を切る

手順	主な音声ガイド
1) ［電源キー］を押し続けてください。 最初に「電源オフ。このまま押し続けると完全に電源オフ」というガイドがあり、次に「完全に電源オフ」と音声ガイドがありますので、その後で指を離してください。完全に電源が切れます。	「電源オフ。このまま押し続けると完全に電源オフ」 ・・・ 「完全に電源オフ」

3.4.3 電源を切る（通常の電源オフ）

手順	主な音声ガイド
1) ［電源キー］を長く押します。	
2) 最初に「電源オフ」と音声ガイドが始まった時点で、［電源キー］から指を離します。電源が切れたら「電源オフ」という音声ガイドがあります。	「電源オフ」 ・・・ 「電源オフ」

＜ポイント＞

●電源を切る際、短く押すとお休みタイマーがはたらいてしまいます。お休みタイマーについては「１５章１　お休みタイマー」167ページを参照してください。

●通常の電源オフの状態で本製品を持ち運ぶ場合は、キーロックを有効にしてください。「キーロック」については「１５章４　キーロック」175ページを参照してください。

3.4.4 電源を入れる（通常の電源オフの状態から電源を入れる）

手順	主な音声ガイド
1） 操作面上のいずれかのキーを押すと、電源が入ります。その際、時刻がガイドされます。	「午前/午後○時○分」

＜ポイント＞
- ●ＳＤカードの出し入れ、キーロックの解除、ヘッドホンの接続、パソコンとＵＳＢ接続、ＡＣアダプターの接続によっても電源が入ります。
- ●キーロックされている場合、キー操作、ヘッドホンの接続、パソコンとＵＳＢ接続、ＡＣアダプターの接続によって電源が入ることはありません。

3.4.5 自動電源オフ

バッテリーのみで駆動させ、録音や再生を停止したまま２分間操作しないと、自動的に電源が切れます。ＡＣアダプターを接続しているときや、ＵＳＢ機器を接続しているときは、録音や再生を停止したまま１５分間操作しないと自動的に電源が切れます。
また、バッテリーレベルが低下したときには、「バッテリー不足です。残り１分で電源ＯＦＦ」と音声ガイドがあり、１分後に自動的に完全に電源が切れます。

3.4.6 強制電源ＯＦＦについて

電源が入っている状態で、どのキーを押しても全く反応が無くなったときは、キーロックを有効にした後、電源キーを１０秒以上押し続けてから指を離すと、強制的に電源が切れます。

3.4.7 バッテリーの残量の確認方法

手順	主な音声ガイド
1) 電源アダプターが接続されていないことを確認します。	
2) [情報キー]（数字の［5キー]）を短く押します。バッテリーの残量が音声でガイドされます。	「バッテリーレベル○○パーセント」
3) ［再生・停止キー］を押すとガイドが終了します。	

＜ポイント＞

●バッテリーの残量を確認する場合は、[情報キー］を短く押してください。長く（1秒以上）押すと日時をガイドします。

●電源アダプターが接続されていると、バッテリー残量の情報はガイドされず、バッテリー充電中またはバッテリー充電完了とのガイドがあります。

４章　ＳＤカードとＵＳＢ機器

４章１　ＳＤカード

4.1.1 ＳＤカードの形状

ＳＤカードは切手ほどの大きさで四角い板のような形状をしています。滑らかな面が表面で、ギザギザした部分がある面が裏面です。ＳＤカードはサイズが小さいので、紛失しないように注意してください。

4.1.2 使用できるＳＤカードについて

本製品はＳＤカードとＳＤＨＣカードに対応していますが、カードによっては、本製品で使用できないものがあります。使用できるカードの一覧が、同梱の「動作確認済品一覧」や弊社ホームページに掲載されていますので、新規に購入する際は、それらを参照してください。

4.1.3 ＳＤカードの取扱いについて

ＳＤカードの取扱に関しては、以下の点に注意してください。

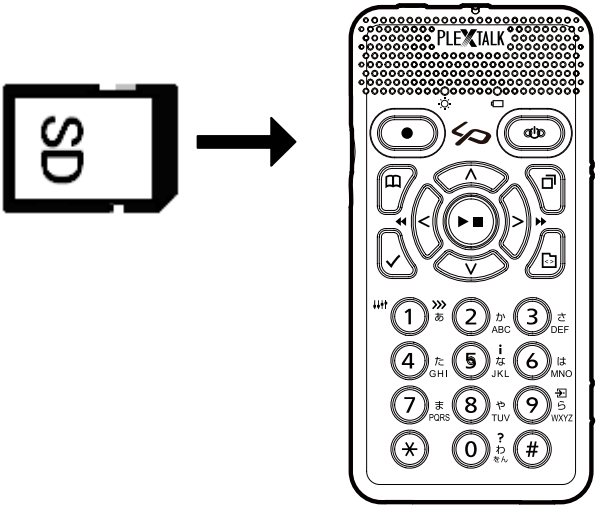
●ＳＤカードを出し入れする際は、本製品の電源をＯＦＦにしてください。

●ＳＤカードの金属端子部に触らないでください。静電気が発生し、故障の原因となります。

4.1.4 ＳＤカードの入れ方

注：本製品を購入された際には、すでにＳＤカードがカードスロットに装着されています。初回時には以下の操作は必要ありません。

1）本製品の電源を切ります。
2）ＳＤカードの滑らかな面を手前に向け、まわりの側面で角が斜めにカットされている部分を右下にして、本製品左側面のＳＤカードスロットにゆっくりと入れます。奥までしっかりと入れてください。
3）「カチッ」と音がして、ＳＤカードが本製品の内部で固定されます。

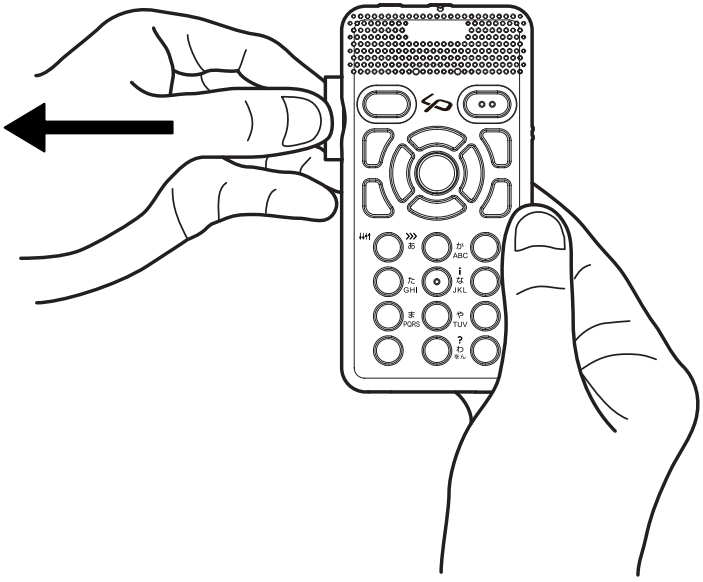


＜ポイント＞

●ＳＤカードは正しい向きで入れてください。また、出し入れの際、決して無理な力を加えないでください。間違った向きで入れたり、無理な力を加えて出し入れしたりすると故障の原因になります。

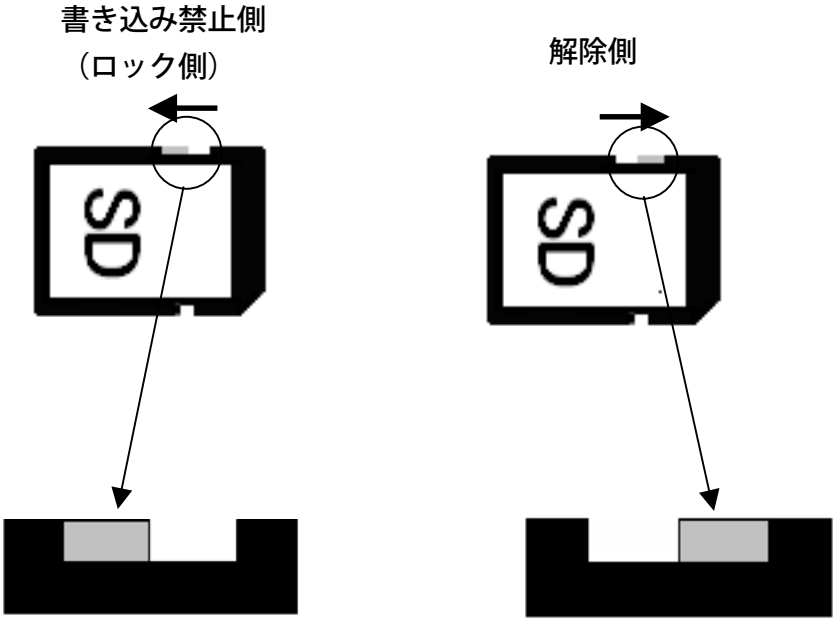
4.1.5 ＳＤカードの取り出し方

1）本製品の電源を切ります。
2）ＳＤカードを指先で１mm ほど押し込みます。
3）カードの固定が解除され、中にあるバネによって本体から５mm ほどカードの先端が自然に出てきます。
4）カードの先端をつまんで取り出します。



4.1.6 書き込み禁止スイッチ

ＳＤカードの４つの角には１箇所だけ角が斜めにカットされている部分があります。ＳＤカードの滑らかな面を手前に向け、斜めにカットされている角を右下にして手に持ったとき、ＳＤカードの上側面にくぼみがあります。そのくぼみの右側か左側のどちらかにあるのが「書き込み禁止スイッチ」です。指の腹では動かしにくいので、爪に引っ掛けて動かします。このスイッチを左側にすると書き込み禁止（ロック側）になり、録音、編集、フォーマット、バックアップなどができません。それらを行う場合は、書き込み禁止スイッチを右側つまり解除側にしてください。なお、本製品に付属しているＳＤカードは工場出荷時には右側の解除側になっています。



4章2 ＵＳＢ機器

ＵＳＢ接続の外付けＣＤ／ＤＶＤドライブ、ＵＳＢフラッシュメモリ、ＵＳＢカードリーダーライターを本製品に接続して使用することができます。

＜接続ケーブルについて＞
ＵＳＢ機器を接続するには、まず本製品に付属しているＵＳＢケーブル(短)の小さいほうの端子を本製品に接続します。

- 外付けドライブを接続する場合は、ＵＳＢケーブル(短)の大きいほうの端子に、外付けドライブに付属のＵＳＢケーブルを接続します。この場合、ケーブルを２本つなぐことになります。
- フラッシュメモリを接続する場合は、ＵＳＢケーブル(短)の大きいほうの端子をフラッシュメモリに接続します。
- カードリーダーライターを接続する場合は、ＵＳＢケーブル(短)の大きいほうの端子に、カードリーダーライターに付属のＵＳＢケーブルを接続します。この場合、ケーブルを２本つなぐことになります。

＜ポイント＞
●ＵＳＢ機器によっては、本製品で使用できないものがあります。
●本製品はＣＤにデータを書き込んだり、ＣＤのファイルを削除したりすることはできません。
●ＣＤに収録された Word ファイルとＷＭＡファイルは再生できません。
●著作権保護技術付き音楽ＣＤは再生できない場合があります。
●ＣＤに DAISY 図書、音声ファイル、テキストファイルなど、複数の種類が保存されている場合、どれか一種類しか再生できません。

5章　再生

本章では DAISY 図書などのタイトルの再生方法を説明します。

5章1　再生の基本操作

タイトルを選択して再生する基本的な方法を説明します。

5.1.1 タイトルを選んで再生・停止する

「メディアを選ぶ」→「タイトルを選ぶ」→「再生・停止する」の順番に操作すると、タイトルを選択して再生するすることができます。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーを押すことでメディアを選択することができます。 タイトルキーを押すたびに、ＳＤカード→ＵＳＢ機器→内蔵メモリ→メモ録→ネット閲覧室→お知らせ→ＳＤカードのような順番でメディアが切り替わります。	「(メディア名)」
2) [右キー] または [左キー] を押して、聴きたいタイトルを選択します。キーを押すたびにタイトルが切り替わり、タイトル名などが音声でガイドされます。	「(タイトル名)」
3) [再生・停止キー] を押します。再生が始まります。	
4) 再生中に [再生・停止キー] を押すと再生が停止します。	

＜ポイント＞

●手順２で、[右キー] を何回も押すと、DAISY 図書→録音した DAISY→音楽→テキスト→オーディオブック→ポッドキャスト→ウェブラジオ→DAISY 図書、のような順番でカテゴリーごとにタイトルがガイドされます。[左キー] を押すと逆の順番になります。

●メディアに収録されていないカテゴリーは音声でガイドされません。

●本製品は、過去に聞いたタイトルの最後に停止した場所を自動的に覚えていますので、電源をＯＮ／ＯＦＦしても前回停止した場所から再生します。１０００タイトルまで記憶します。

●タイトル選択中に、[＊キー] を押すことでタイトル選択をキャンセルすることができます。タイトル選択をキャンセルすると、タイトルキーを押したときのメディアおよびタイトルに戻ります。

5.1.2 早送り、巻き戻しをする

[右キー] を押し続けると早送りされ、[左キー] を押し続けると巻き戻されます。

手順	主な音声ガイド
1) [右キー] または [左キー] を押し続けます。[右キー] を押し続けると早送りされ、[左キー]を押し続けると巻き戻されます。押し続けると、５秒、１０秒、２０秒、３０秒、１分、２分、３分・・・と次第に速くなり、１分を超えると指を離してもそのままの速度で送り、または戻し続けます。	「５秒、１０秒、２０秒、３０秒、１分、２分、３分、・・・」
2) １分未満の場合は、再生したいところで指を離すと、自動的に再生が始まります。１分を超える場合は、再生したい場所で [再生・停止キー] を押すことで再生が始まります。	

＜ポイント＞

●テキストの場合は「５秒、１０秒、・・・」の代わりに「５文、１０文、・・・」と早送りされます。止めたいところで指を離すと自動的に再生が始まります。

●テキスト DAISY の場合は「５秒、１０秒、・・・」の代わりに「５フレーズ、１０フレーズ、・・・」と早送りされます。止めたいところで指を離すと自動的に再生が始まります。

5.1.3 音量を調整する

手順	主な音声ガイド
本体右側面の［音量スイッチ］を上方向に１回押すと１段階ずつ音量が大きくなり、下方向に１回押すと１段階ずつ音量が小さくなります。音量は、０から２５まで１段階ずつ調整できます。	「音量・・」

＜注意＞

●ヘッドホンで音声を聴く場合は適度な音量で聴いてください。大きな音量で聴き続けると聴覚を害する恐れがあります。

●ヘッドホン出力端子に外付けスピーカーなどの外部機器を接続して大きな音量で聴いた後、ヘッドホンへ接続を切り替えると、ヘッドホンから大きな音量で聴こえる場合があります。聴覚を害する恐れがありますので、ヘッドホンへ接続を切り替える際には音量を下げてください。

＜ポイント＞

●音量スイッチを押し続けると、素早く音量が変化します。

●再生中に［音量スイッチ］を操作した場合には、音声ガイドはありません。

●再生音とともに音声ガイドの音量も調整されます。なお、音声ガイドの音量のみを調整したい場合は次の節を参照してください。

●再生音量をゼロにしても、わずかに音声ガイドが流れます。

●再生音量は、スピーカーで聴く場合の音量とヘッドホンで聴く場合の音量とを別々に設定することができます。例えば、音量１８でスピーカーで聴き、次にヘッドホンで音量１５にして聴きます。その後ヘッドホンを外してスピーカーで聴くと、音量は自動的に１８に戻り、再度ヘッドホンを接続すると音量は自動的に１５になります。

5.1.4 スピード、トーン、ガイド音量、ガイドスピードの調整

手順	主な音声ガイド
1) ［1キー］を1回押すと、[上キー］または［下キー］で再生スピードを変更することができます。-2から+8までの段階で調整します。	「スピード」 「スピード ＋1」 ・・・
2) ［1キー］をもう1回押すと、[上キー］または[下キー］でトーン（音質）を変更することができます。-6から+6までの段階で調整します。数字が大きくなると高音域が強調され、数字が小さくなると低音域が強調されます。	「トーン」 「トーン ＋1」 ・・・
3) ［1キー］をさらにもう1回押すと、[上キー］または［下キー］でガイド音量を変更することができます。-5から+5までの段階で調整します。	「ガイド音量」 「ガイド音量＋1」 ・・・
4) ［1キー］をさらにもう1回押すと、[上キー］または［下キー］でガイドスピードを変更することができます。-2から+8までの段階で調整します。	「ガイドスピード」 「ガイドスピード＋1」 ・・・
5) ［1キー］をさらにもう1回押すとスピードおよびトーンなどの調整モードから抜けます。	

＜ポイント＞

●調整の途中で再生・停止などの操作を行うと、スピードやトーンなどの調整から抜けることができます。

●再生スピードは、－２から＋８までの１１段階で調整できます。１段階でスピードが０.２５倍増減します。－２が０.５倍速、０が標準速、＋４が２倍速、＋８が３倍速です。

●再生スピードは、音楽、テキスト（テキストとテキスト DAISY）、音声図書（音声 DAISY とオーディオブック）で別々の設定をすることができます。

●再生スピードとガイドスピードは別々に設定することができます。

●再生中にスピードやトーンなどの調整を行った場合には、プラスやマイナスの音声ガイドはありません。

5章2　様々なタイトル選択

5.2.1 タイトル選択のレベル

タイトルキーを押した後、上キーまたは下キーを押すことでタイトル選択のレベルを選ぶことができます。以下のようなレベルがあります。

カテゴリー選択
　↓　↑
フォルダ選択
　↓　↑
タイトル選択（基本となるレベル）
　↓　↑
ファイル選択

これらのレベルを使うと、以下のような方法でタイトルに移動することができます。

例１．DAISY 図書というカテゴリーを選んでから、個々の DAISY 図書を選んで再生する。

例２．「小説」というフォルダをあらかじめ作成しておき、その中に入れた DAISY 図書を選んで再生する。

例３．アーティスト名を付けたフォルダをあらかじめ作成しておき、その中に入れた複数のアルバムから聴きたいアルバムを選んで再生する。

＜ポイント＞

● ［＊キー］を押すことでタイトル選択をキャンセルすることができます。タイトル選択をキャンセルすると、タイトルキーを押したときのメディアおよびタイトルに戻ります。

＜カテゴリー選択＞
本製品は再生するタイトルを以下のカテゴリー（種類）に分類し、これらのカテゴリーから聴きたいタイトルが含まれるカテゴリーを選択することができます。

カテゴリー	内容
DAISY 図書	DAISY 形式の録音図書
録音した DAISY	「PlexRecording」フォルダに収録された DAISY 図書
音楽	MP3, WMA, WAV などの音声ファイル
テキスト	拡張子が txt, html, doc などの文書ファイル
オーディオブック	拡張子が aa であるオーディオブックや MP3 形式のオーディオブック
ポッドキャスト	ダウンロードで配信される MP3 などの音声ファイル
ウェブラジオ	ストリーミングで配信される音声

※メディアに収録されていないカテゴリーは選択できません。

＜フォルダ選択＞
DAISY 図書やアルバムなどが収録されているフォルダを選択することができます。

＜タイトル選択＞
個々の DAISY 図書、録音した DAISY、アルバム、テキスト、オーディオブック、ポッドキャスト、ウェブラジオを選択することができます。カテゴリー順に音声ガイドされます。

＜ファイル選択＞
音楽のトラック（曲）、オーディオブック、ポッドキャストの音声ファイルを選択することができます。

5.2.2 カテゴリーからタイトルを選ぶ

カテゴリーごとに移動してからタイトルを選択することができます。
例）「DAISY 図書」のカテゴリーに移動してから、聴きたい DAISY 図書を選択する方法は以下のようになります。

手順	主な音声ガイド
1） タイトルキーを何回か押して、内蔵メモリやＳＤカードなどを選択します。	「内蔵メモリ」 「ＳＤカード」
2） [上キー] を何回か押します。「カテゴリー選択」というガイドが流れます。	「カテゴリー選択」
3） [右キー] または [左キー] を押すと、カテゴリー名が音声でガイドされます。「DAISY 図書」とガイドするまでキーを何回か押します。	「DAISY 図書」
4） [下キー] を何回か押すと、「タイトル選択」とガイドされるので、[右キー] または [左キー] で聴きたい DAISY 図書を選び、[再生・停止キー]で再生を開始します。	「タイトル選択」

＜ポイント＞
●手順４の代わりに、テンキーで番号を入力し、[再生・停止キー]を押すと、番号を指定したタイトルを選択することができます。もう一度 [再生・停止キー]を押すと再生が始まります。

次の方法でも同様の操作が可能です。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーを何回か押して、内蔵メモリやＳＤカードなどを選択します。	「内蔵メモリ」 「ＳＤカード」
2) [右キー] を長く押すと、次のカテゴリーの最初のタイトルに移動します。	
3) [左キー] を長く押すと、現在のカテゴリーの最初のタイトルに移動し、もう一度長く押すと、前のカテゴリーの最初のタイトルに移動します。	
4) 「DAISY 図書」のカテゴリーに移動し、[右キー] または [左キー] で聴きたいタイトルを選択して[再生・停止キー]を押すと、再生が始まります。	

5.2.3 フォルダからタイトルを選ぶ

フォルダに移動してからタイトルを選択することができます。
例）内蔵メモリやＳＤカードなどに、「小説」「雑誌」「落語」などのフォルダをパソコンで作り、それらのフォルダにタイトルを収録したとします。「小説」というフォルダを選択して、その中の DAISY 図書を選択するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1） タイトルキーを何回か押して、内蔵メモリやＳＤカードなどを選択します。	「内蔵メモリ」 「ＳＤカード」
2） [上キー] を何回か押します。「カテゴリー選択」というガイドが流れます。	「カテゴリー選択」
3） [右キー] または [左キー] を押して DAISY 図書を選択します。	「DAISY 図書」
4） [下キー] を１回押します。「フォルダ選択」というガイドが流れます。	「フォルダ選択」
5） [右キー] または [左キー] を押すと、フォルダ名が音声でガイドされます。「小説」とガイドするまでキーを何回か押します。	「小説」
6） [下キー] を１回押すと、「タイトル選択」とガイドされるので、[右キー] または [左キー] で聴きたい DAISY 図書を選び、[再生・停止キー]で再生を開始します。	「タイトル選択」

＜ポイント＞
●[移動キー] を押して、「履歴タイトル」や「最近追加したタイトル」を選択していると、「フォルダ選択」は表示されません。[移動キー] を押して、「全タイトル一覧」にしてから上記の操作を行ってください。

5.2.4 ファイルを選ぶ

ファイル選択のレベルに移動してからファイルを選択することができます。オーディオブックの音声ファイル、ポッドキャストのエピソード、音楽のトラック（曲）を選択することができます。以下の方法で、ひとつのファイルを選択して再生すると、再生範囲はそのファイル内に限定されます。

例）MP3 形式のオーディオブックのファイルを選択するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1） タイトルキーを何回か押して、内蔵メモリやＳＤカードなどを選択します。	「内蔵メモリ」「ＳＤカード」
2） [上キー] を何回か押します。「カテゴリー選択」というガイドが流れます。	「カテゴリー選択」
3） [右キー] または [左キー] を押して「オーディオブック」を選択します。	「オーディオブック」
4） [下キー] を何回か押します。「ファイル選択」というガイドが流れます。	「ファイル選択」
5） [右キー] または [左キー] を押すと、オーディオブックの音声ファイル名が音声でガイドされますので、聴きたい音声ファイルを選び、[再生・停止キー]で再生を開始します。	

＜ポイント＞

●ポッドキャストの場合、エピソードを選択しても、再生範囲は選択されているエピソードに限定されません。

5.2.5 タイトルを直接選択

テンキーでタイトルの番号を入力し、直接タイトルを選択することができます。

例）内蔵メモリ内の７番目の DAISY 図書を選択するには、以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1） タイトルキーを何回か押して「内蔵メモリ」を選択します。	「内蔵メモリ」
2） ［上キー］を何回か押します。「カテゴリー選択」というガイドが流れます。	「カテゴリー選択」
3） ［右キー］または［左キー］を押して「DAISY 図書」を選択します。	「DAISY 図書」
4） 数字の［７キー］を押します。	「７」
5） ［再生・停止キー］または［＃キー］を押します。７番目の DAISY 図書が選択されます。	「決定」 「７　(DAISY 図書名)」
6） ［再生・停止キー］を押すと再生が始まります。	

＜ポイント＞

●テキストなども操作方法は同じです。カテゴリー選択で「テキスト」などを選んでください。

●数字を間違って入力した場合、［＊キー］を押すと数字の誤入力をクリアできます。

5.2.6 タイトルの並び順の切り替え

左右キーでタイトルを選択する際、移動キーでタイトルが並ぶ順番を切り替えることができます。並び順には以下の３種類があります。

並び順	内容
全タイトル一覧	すべてのファイルやフォルダが名前順に並ぶ
履歴タイトル	最近聴いたタイトル順に並ぶ
最近追加したタイトル	最近メディアに追加した(記録した)タイトル順に並ぶ （日付が新しい順番に並ぶ）

例）「履歴タイトル」を選択するには以下のように操作します。

手順
1) タイトルキーを１回押します。
2) [移動キー] を何回か押して「履歴タイトル」を選択します。
3) 上下キーおよび左右キーでタイトルを選択します。または、テンキーで番号を入力し、[再生・停止キー]を押すと、番号を指定したタイトルを選択することができます。もう一度[再生・停止キー]を押すと再生が始まります。

＜ポイント＞

- 「履歴タイトル」および「最近追加したタイトル」を、カテゴリーごとに最新の５０個まで記憶します。
- 最近追加したタイトルは「フォルダ選択」を選択することはできません。履歴タイトルは「フォルダ選択」と「ファイル選択」を選択することはできません。
- 最近追加したタイトルとは､「オンラインサービスからダウンロードして追加したタイトル」「パソコンでコピーして追加したタイトル」「バックアップ機能で追加したタイトル」「新規タイトル作成で追加したタイトル」などを表します。

5章3　音楽の再生範囲を選ぶ

5.3.1 すべての音楽を選ぶ

内蔵メモリ内のすべての音楽を聴きたい場合には、以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーを何回か押して「内蔵メモリ」を選択します。	「内蔵メモリ」
2) [上キー] を何回か押します。「カテゴリー選択」というガイドが流れます。	「カテゴリー選択」
3) [右キー] または [左キー] を押して「音楽」を選択します。	「音楽」
4) [再生・停止キー] を押すと再生が始まります。	

＜ポイント＞

●手順2で「カテゴリー選択」を選ぶ代わりに「フォルダ選択」や「タイトル選択」を選び、左右キーで「すべての音楽」を選ぶこともできます。

5.3.2 フォルダを選ぶ

たとえば、ＳＤカードに「アーティスト１」というフォルダをあらかじめ作成しておき、その中に「ファースト」というアルバムと「セカンド」というアルバムを収録したとします。「アーティスト１」というフォルダを選択すると、再生範囲は「ファースト」と「セカンド」に限定されます。
「アーティスト１」というフォルダを選択するには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーを何回か押して「ＳＤカード」を選択します。	「SD カード」
2) [上キー] または [下キー] を何回か押します。「フォルダ選択」というガイドが流れます。	「フォルダ選択」
3) [右キー] または [左キー] を押すと、フォルダ名が音声でガイドされます。「アーティスト１」とガイドするまでキーを何回か押します。[再生・停止キー]で再生を開始します。	「アーティスト１」

＜ポイント＞
- 「アーティスト１」を選択すると、そのフォルダ内に収録されている音楽しか再生されません。それ以外の音楽を聴く場合は、「アーティスト１」とは別のフォルダを選択してください。

5.3.3 アルバムを選ぶ

たとえば、ＳＤカードの中にふたつのアルバムを収録したとします。アルバムを選択すると、再生範囲はそのアルバムの中の曲に限定されます。２番目のアルバムを選択するには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーを何回か押して「ＳＤカード」を選択します。	「ＳＤカード」
2) [上キー] または [下キー] を何回か押します。「タイトル選択」というガイドが流れます。	「タイトル選択」
3) [右キー] または [左キー] を押すとアルバム名が音声でガイドされます。2番目のアルバムの名前がガイドされるまでキーを何回か押します。[再生・停止キー]で再生を開始します。	・・・ 「音楽」 「すべての音楽」 「１　(最初のアルバム名)」 「２　(２番目のアルバム名)」 ・・・

5.3.4 ファイル（曲）を選ぶ

以下の方法で、ひとつの曲を選択して再生すると、再生範囲はその曲に限定されます。

例）聴きたいアルバムの中の、２番目の曲を選択して聴くには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1） タイトルキーを何回か押して「ＳＤカード」を選択します。	「ＳＤカード」
2） [上キー] または [下キー] を何回か押します。「タイトル選択」というガイドが流れます。	「タイトル選択」
3） [右キー] または [左キー] を押すと、アルバム名が音声でガイドされます。聴きたいアルバムの名前がガイドされるまで、キーを何回か押します。	「（聴きたいアルバムの名前）」
4） 聴きたいアルバムの名前がガイドされたら、[下キー] を１回押します。「ファイル選択」とガイドされます。	「ファイル選択」
5） [右キー] または [左キー] を押すと、曲名が音声でガイドされます。２番目の曲名がガイドされたら、[再生・停止キー]で再生を開始します。	・・・ 「２（２曲目の名前）」

5章4　ＤＡＩＳＹ図書を聴く

5.4.1 ＤＡＩＳＹ図書の移動単位

DAISY 図書は、章、節、項、ページなどの単位によって区切られており、ある場所から次の場所へと素早く移動できるようになっています。以下に本製品で移動可能な単位をまとめました。

＜音声 DAISY の場合＞

単位	説明
レベル１～６（セクション、見出し）	DAISY 図書の章、節、項などを意味します。 たとえば、「レベル１」が章、「レベル２」が節、「レベル３」が項に相当します。また、セクションの冒頭部分を「見出し」と呼びます。
グループ	セクション内の任意の一部分です。
ページ	本のページに相当します。
フレーズ	文章を音読すると、文と文の区切り目のところに息つぎの間ができます。 この間から次の間までのひと区切りの音声を「フレーズ」と呼びます。
１０分	１０分単位で移動します。
３０秒	３０秒単位で移動します。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞
- DAISY 図書によっては、「グループ」や「ページ」が設定されていない場合があります。
- 「録音した DAISY」の再生方法は DAISY 図書と同じです。

＜テキスト DAISY の場合＞

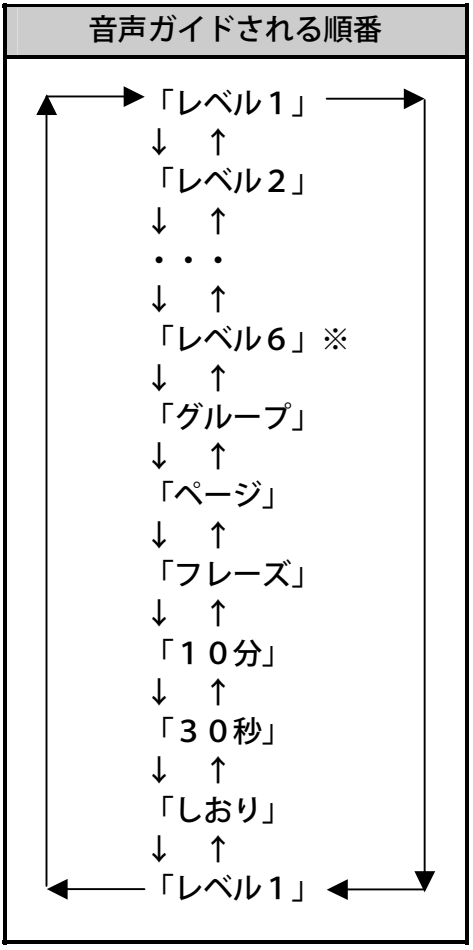
単位	説明
レベル１～６（セクション）	DAISY 図書の章、節、項などを意味します。 たとえば、「レベル１」が章、「レベル２」が節、「レベル３」が項に相当します。また、セクションの冒頭部分を「見出し」と呼びます。
グループ	セクション内の任意の一部分です。
ページ	本のページに相当します。
フレーズ	文章を音読すると、文と文の区切り目のところに息つぎの間ができます。 この間から次の間までのひと区切りの音声を「フレーズ」と呼びます。
４０行	４０行をひとかたまりと見なして移動します。
段落	空白の行で区切られた文です。
行	１行ずつ移動します。
文	句点「。」、疑問符「？」、感嘆符「！」で区切られた一文です。
文字	１文字ずつ移動します。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞

●DAISY 図書によっては、「グループ」や「ページ」が設定されていない場合があります。

5.4.2 上下キーで移動単位を選択

移動単位を選択するには［上キー］または［下キー］を押して選択します。
押すたびに移動単位が音声でガイドされます。



※初めてレベルで移動する際は、最も低いレベルから始まります。（この図ではレベル６から始まります）

＜ポイント＞
●DAISY 図書によっては移動単位の中に存在しないものがあります。
●上下キーを最初に押した際は、現在の移動単位が音声ガイドされます。

5.4.3 見出し移動

[上キー] または [下キー] で「レベル」を選択し、[左キー] または [右キー] で前後の見出しに移動できます。たとえば、「３章２節」に移動するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「レベル１」を選択します。	「レベル１」
2) [右キー] を何回か押して、「３章」まで移動します。行き過ぎてしまった場合は[左キー]を押して戻ります。	
3) [下キー] を２回押して、「レベル２」を選択します。	「レベル２」
4) [右キー] を何回か押して、「３章２節」まで移動します。	

＜ポイント＞

●「レベル２」に設定して移動すると、「レベル１」にも止まります。また、「レベル３」に設定して移動すると、「レベル１」と「レベル２」にも止まります。

5.4.4 グループ移動

[上キー] または [下キー] で「グループ」を選択し、[左キー] または [右キー]でグループごとに移動できます。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「グループ」を選択します。	「グループ」
2) [右キー] を押すたびに、1 グループずつ先に移動します。[左キー] を押すと戻ります。	

＜ポイント＞

●グループとグループの間に見出しがあった場合には、見出しにも移動します。

●グループが設定されていない場合、上下キーでグループを選択することはできません。

5.4.5 ページ移動

[上キー] または [下キー] で「ページ」を選択し、[左キー] または [右キー] でページごとに移動できます。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「ページ」を選択します。	「ページ」
2) [右キー] を押すたびに、1ページずつ先に移動します。[左キー] を押すと戻ります。	

＜ポイント＞
●ページが設定されていない場合、上下キーでページを選択することはできません。

5.4.6 フレーズ移動

[上キー] または [下キー] で「フレーズ」を選択し、[左キー] または [右キー] でフレーズごとに移動できます。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「フレーズ」を選択します。	「フレーズ」
2) [右キー] を押すたびに、1フレーズずつ先に移動します。[左キー] を押すと戻ります。	

5.4.7 １０分移動

[上キー] または [下キー] で「１０分」を選択し、[左キー] または [右キー] で１０分ごとに移動できます。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「１０分」を選択します。	「１０分」
2) [右キー] を押すたびに、１０分ずつ先に移動します。[左キー] を押すと１０分ずつ戻ります。	

＜ポイント＞
●テキスト DAISY では、１０分移動はできません。

5.4.8 ３０秒移動

[上キー] または [下キー] で「３０秒」を選択し、[左キー] または [右キー] で３０秒ごとに移動できます。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「３０秒」を選択します。	「３０秒」
2) [右キー] を押すたびに、３０秒ずつ先に移動します。[左キー] を押すと３０秒ずつ戻ります。	

＜ポイント＞
●テキスト DAISY では、３０秒移動はできません。

5.4.9 ダイレクト移動：ページに移動する

番号を直接指定して移動することを「ダイレクト移動」と呼びます。
例）２０ページに移動するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1）［移動キー］を押します。	「移動先のページ番号を入力」「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
2）数字の［２キー］［０キー］を押します。	「２」「０」
3）［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。２０ページから再生が始まります。	「決定」「ページ２０」（本文）

＜ポイント＞
- ●数字を間違って入力した場合、［上キー］または［＊キー］を押すと数字の誤入力をクリアできます。また、［上キー］を長く押すと、ダイレクト移動の操作をキャンセルできます。
- ●ページ数は６桁までしか入力できません。７桁以上の数字を入力するとクリアされてしまいます。

5.4.10 ダイレクト移動：見出しに移動する

例） 5番目の見出しに移動するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1） ［移動キー］を2回押します。	「移動先の見出し番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでタイトル先頭に移動」 「番号0でタイトル最後に移動」
2） 数字の［5キー］を押します。	「5」
3） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。 5番目の見出しの位置から再生が始まります。	「決定」「見出し5」 （本文）

＜ポイント＞

●見出し番号とは、各タイトルの見出しに対して先頭から順番に振った番号です。

5.4.11 ダイレクト移動：先頭・最後に移動する

選択中のタイトルの先頭および最後に移動するには次のように操作します。

＜先頭に移動する＞

手順	主な音声ガイド
1) ［移動キー］を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」・・・ 「番号なしでタイトル先頭に移動」
2) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。先頭から再生が始まります。	「決定」 「先頭です」 （本文）

＜最後に移動する＞

手順	主な音声ガイド
1) ［移動キー］を２回押します。	「移動先の見出し番号を入力」・・・ 「番号０でタイトル最後に移動」
2) ［０キー］を押します。	「０」
3) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「最後です」

＜ポイント＞

●図書の最後付近を再生するには、最後に移動してから少し戻ってください。戻らずに[再生・停止キー]を押すと先頭に移動してしまいます。

●最後に移動したはずなのに先頭に移動してしまった場合は、シャッフル・リピート設定が「タイトルリピート」になっている可能性があります。シャッフル・リピート設定の変更方法は「17.2.1 シャッフル・リピート設定」192ページを参照してください。

5.4.12 パーセント移動

DAISY 図書内の位置をパーセントで指定して移動できます。

例）５０％と指定して移動してみましょう。以下の操作により、DAISY 図書の５０％の位置に移動することができます。

手順	主な音声ガイド
1） ［移動キー］を３回押します。	「移動先の位置をパーセントで入力」
2） 数字の［５キー］［０キー］を押します。	「５」「０」
3） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。 ５０％の位置から再生が始まります。	「決定」 「５０パーセント」 （本文）

5章5　音楽（音声ファイル）を聴く

5.5.1 音声ファイルについて

パソコンやＩＣレコーダーなどを使用して音声を情報化して記録したファイルを音声ファイルと呼びます。再生・停止、早送り・巻戻しの操作方法はDAISY 図書と同様です。本製品で再生できる音声ファイルは以下のものです。

- ＭＰ３ファイル
- ＷＭＡファイル
- ＰＣＭファイル
- ＯｇｇＶｏｒｂｉｓファイル
- ＡＭＲファイル

＜ポイント＞
●ＣＤに収録されたＷＭＡファイルは再生できません。
●ＤＲＭ（著作権保護）のＷＭＡファイルは再生できません。

5.5.2 音声ファイルの移動単位

移動可能な単位を以下にまとめました。

単位	説明
アルバム	音楽ＣＤ１枚に相当するものです。
トラック	音楽１曲に相当するものです。
１０分	１０分単位で移動します。
３０秒	３０秒単位で移動します。
しおり	好きな場所につけられる印です。

5.5.3 アルバム移動

例）アルバム１、２、３のように３つのアルバムがあるとします。
アルバム２に移動するには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1） タイトルキーを押した後、[上キー] を押して「カテゴリー選択」を選びます。	「カテゴリー選択」
2） [右キー] または [左キー] を何回か押して「音楽」を選択し、[再生・停止キー] を押します。	「音楽」
3） [上キー] または [下キー] を何回か押して、「アルバム」を選択します。	「アルバム」
4） [右キー] または [左キー] を何回か押して、「アルバム２」まで移動します。	・・・ 「アルバム２」

＜ポイント＞
●手順１で「カテゴリー選択」の代わりに「フォルダ選択」や「タイトル選択」を選ぶと、再生される範囲が限定されます。詳しくは「５章　３　音楽の再生範囲を選ぶ」74ページ以降を参照してください。

5.5.4 トラック移動

例）アルバム２のトラック３（３曲目）に移動するには以下のように行います。上記の操作によって、すでにアルバム２に移動しているものとします。

手順	主な音声ガイド
1） [下キー] を押して、「トラック」を選択します。	「トラック」
2） [右キー] または [左キー] を何回か押して、「トラック３」まで移動します。	・・・「トラック３」

＜ポイント＞

●「再生設定」メニューの中の「音声ファイル名読み上げの設定」で、アルバムやトラックの名前をガイドするか、または番号をガイドするかを変更することができます。

5.5.5 １０分移動

[上キー] または [下キー] で「１０分」を選択し、[左キー] または [右キー] で１０分ごとに移動できます。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「１０分」を選択します。	「１０分」
2) [右キー] を押すたびに、１０分ずつ先に移動します。[左キー] を押すと１０分ずつ戻ります。	

5.5.6 ３０秒移動

[上キー] または [下キー] で「３０秒」を選択し、[左キー] または [右キー] で３０秒ごとに移動できます。

手順	主な音声ガイド
1) [上キー] または [下キー] を何回か押して、「３０秒」を選択します。	「３０秒」
2) [右キー] を押すたびに、３０秒ずつ先に移動します。[左キー] を押すと３０秒ずつ戻ります。	

5.5.7 ダイレクト移動：トラックに移動する

例）現在選択中のアルバム内のトラック５に移動するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1）［移動キー］を１回押します。	「移動先のトラック番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」 「番号なしでアルバムの先頭に移動」
2）数字の［５キー］を押します。	「５」
3）［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。トラック５から再生が始まります。	「決定」 「トラック５」

＜ポイント＞

●ダイレクトトラック移動は同一アルバム内でしかできません。別のアルバムのトラックに移動するには、先にアルバムを選択してください。

●数字を間違って入力した場合、［上キー］または［＊キー］を押すと数字の誤入力をクリアできます。また、［上キー］を長く押すと、ダイレクト移動の操作をキャンセルできます。

5.5.8 ダイレクト移動：アルバムに移動する

例）アルバム３に移動するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1）［移動キー］を２回押します。	「移動先のアルバム番号を入力」 「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
2） 数字の［３キー］を押します。	「３」
3） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。アルバム３から再生が始まります。	「決定」 「アルバム３」

5章6　テキストファイルを聴く

5.6.1 テキストファイルについて

テキストファイルとは文字データから作られたファイルを表します。
本製品ではテキストリーダーによってテキスト形式ファイルと HTML 形式ファイルおよびマイクロソフト社の Word ファイル（.doc, .docx）を読み上げることが可能です。再生・停止の操作方法は DAISY 図書と同様です。

5.6.2 テキストファイルの移動単位

テキストファイル内を以下のような単位で移動することができます。

種類	説明
レベル (HTML 形式と Word ファイルのみ)	HTML ファイル内のレベル１からレベル６までの見出し、および Word ファイル内の見出し１から見出し６までの見出しです。
４０行	４０行をひとかたまりと見なして移動します。
段落	空白の行で区切られた文です。
行	１行ずつ移動します。
文	句点「。」、疑問符「？」、感嘆符「！」で区切られた一文です。
文字	一文字ずつ移動します。
しおり	好きな場所につけられる印です。

＜ポイント＞
●読み上げ可能なファイルサイズは最大６ＭＢまでです。

5.6.3 テキストファイル内での移動

ひとつのテキストファイル内で移動する方法を説明します。
例）３段落目の２つ目の文を読ませるには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1） テキストファイルを選択して再生します。	
2） ［上キー］または［下キー］を何回か押して、「段落」を選択します。	「段落」
3） ［右キー］を何回か押して、３つ目の段落まで移動します。	
4） ［上キー］または［下キー］を何回か押して、「文」を選択します。	「文」
5） ［右キー］を何回か押して、２つ目の文まで移動します。	

5.6.4 パーセント移動

テキストファイル内の位置をパーセントで指定して移動できます。
例）５０％の位置に移動するには以下のように操作します。テキストファイル全文字数の５０％の位置にある文の、次の文の冒頭に移動します。

手順	主な音声ガイド
1） ［移動キー］を１回押します。	「移動先の位置をパーセントで入力」
2） 数字の［5キー］[０キー］を押します。	「５」「０」
3） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。５０％の位置の、次の文の冒頭から再生が始まります。	「決定」 「５０パーセント」

5章7 オーディオブックを聴く

本製品でオーディオブックを聴くことができます。オーディオブックとは、書籍などを音声化したものです。DAISY 図書とは異なる形式で収録されています。再生・停止、早送り・巻戻しの操作方法は音楽と同様です。ただし移動単位が異なります。オーディオブックの移動単位は以下のものです。

単位	説明
見出し	Audible.com のオーディオブックの場合、オーディオブックの章を意味します。 Audible.com 以外のオーディオブックの場合、個々の音声ファイルを意味します。
１０分	１０分単位で移動します。
３０秒	３０秒単位で移動します。
しおり	好きな場所につけられる印です。

本製品は以下の２種類のオーディオブックに対応しています。

＜Audible.com のオーディオブック＞

●ファイルの拡張子は「aa」です。Audible ﾌｫｰﾏｯﾄ４に対応しています。

●詳しくは Audible.com のホームページ（英語）をご参照ください。

●ひとつのファイルが「オーディオブック」のタイトルとして認識されます。

＜Audible.com 以外のオーディオブック＞

●MP3 などの音声ファイルに収録されたオーディオブックです。

●パソコンで「PlexAudioBook」というフォルダを作り、さらにタイトルごとのフォルダを作って、そこに保存してください。ひとつひとつのフォルダが「オーディオブック」のタイトルとして認識されます。

●「PlexAudioBook」以外の場所に保存すると「音楽」に分類されます。

●英会話や落語などの音声ファイルを「音楽」として再生させたくない場合は、「PlexAudioBook」フォルダの中に保存してください。

５章８　移動を取り消す（アンドゥ、リドゥ）

5.8.1 アンドゥ

移動する前の再生場所に戻ることを意味します。移動した後に［＊キー］（アスタリスクキー）を押すと、移動する前の場所に戻ることができます。
１回分のみ有効です。２回押して２つ前の場所に戻ることはできません。

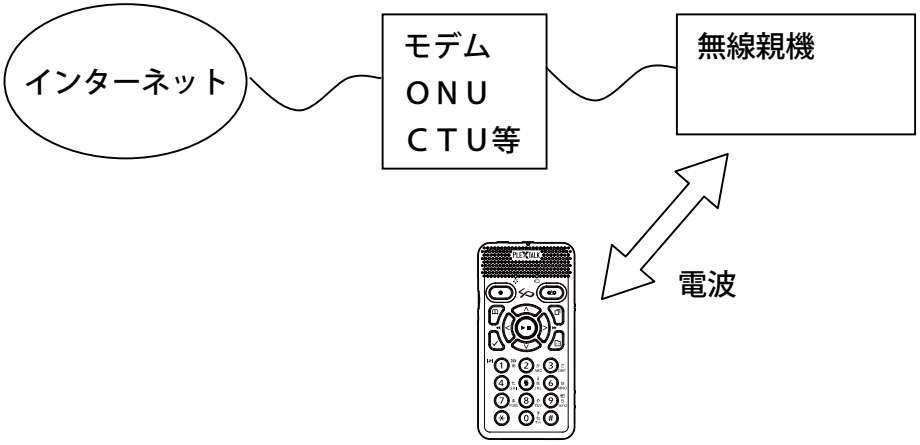
5.8.2 リドゥ

リドゥとは、アンドゥで元に戻した操作を取り消すことを意味します。アンドゥを行って移動する前の場所に戻った後、そのアンドゥを取り消したい場合に［＃キー］（シャープキー）を押すと、アンドゥは取り消され、移動先に復帰します。
１回分のみ有効です。２回押して２回分の操作を取り消すことはできません。

6章　インターネット接続の準備

6章1　接続の概略

本製品でインターネットに接続する仕組みは、一般的に図のような形になります。



図のように接続するには、以下のステップが必要となります。

1．インターネット回線業者（プロバイダー）と契約し、インターネット回線をモデム(またはＯＮＵ(光回線終端装置)、ＣＴＵ(加入者網終端装置))に接続します。

2．無線親機とモデム(またはＯＮＵ(光回線終端装置) 、ＣＴＵ(加入者網終端装置))を接続します。

3．本製品に無線親機の設定を行います。同梱の無線親機を使用する場合は、既に設定がされています。

6章2　接続の準備

インターネットを使用するには

ご自宅で本製品をインターネットに接続して使用する場合、インターネット回線業者（プロバイダー）と契約し、インターネット回線を設置する必要があります。すでにプロバイダーと契約し、インターネット回線がご自宅まで来ている場合は、その必要はありません。

契約後、インターネット回線を「モデム」または「ＯＮＵ」(光回線終端装置）または「ＣＴＵ」(加入者網終端装置）と呼ばれる機器に接続します。モデムはプロバイダーからレンタルするか、または購入します。（家電量販店などで購入することができます。）

無線親機をモデムと接続する

本製品に同梱されている無線親機を、モデムまたはＯＮＵ(光回線終端装置)またはＣＴＵ(加入者網終端装置)と接続します。接続方法は、付属の「スタートアップガイド」または無線親機の取扱説明書を参照してください。

＜ポイント＞
本製品に同梱されていない無線親機をご使用する場合や、本製品のネットワーク設定を変更したい場合は、「17.4.8.5 ワイヤレスネットワーク接続設定」223ページ以降を参照してください。

7章 オンラインサービス

本製品は、インターネットを経由して DAISY 図書などを利用することができる「DAISY オンライン」に対応しています。DAISY オンラインでは、DAISY 図書の検索や再生ならびに関連情報の配信を受けるサービスを利用することができます。本製品では、このようなサービスを「オンラインサービス」と呼びます。
オンラインサービスの詳しい利用方法は、「取扱説明書　サピエ編」を参照してください。

8章 ポッドキャストとウェブラジオ

8章1 ポッドキャスト

8.1.1 ポッドキャストとは

ポッドキャストとは、インターネットで音声ファイルなどを「ダウンロード」で配信する仕組みです。たとえば、インターネットで「ポッドキャスト（Podcast）」を検索すると、ニュース番組が新しい情報を毎週音声ファイルで配信したり、語学学習番組では授業ごとに音声ファイルを分けて配信するなどのサービスを見つけることができます。このように、インターネットで定期的に音声ファイルを配信するサービスを「ポッドキャスト」と呼びます。本製品では、このようなニュース番組や語学番組を「チャンネル」と呼び、チャンネルで配信される個々の音声ファイルを「エピソード」と呼びます。つまり、チャンネル内の「今日の放送」または「第１話」「第２話」などが「エピソード」に相当します。本製品にポッドキャストチャンネルを登録すると、「エピソード」を内蔵メモリやＳＤカードにダウンロードして聴くことができます。なお、本製品でポッドキャストのチャンネルを登録するには、パソコンを使って登録する必要があります。

＜ポイント＞

●エピソードをダウンロードするには、インターネットに接続する必要があります。インターネット接続については「６章　インターネット接続の準備」98ページを参照してください。

●本製品は音声ファイル形式のエピソードしかダウンロードできません。動画形式などのエピソードには対応していません。

●ポッドキャストを録音、編集、バックアップすることはできません。

8.1.2 ポッドキャストを登録する

本製品でポッドキャストを聴くには、まずＳＤカードまたは内蔵メモリにポッドキャストチャンネルを登録する必要があります。

弊社のアプリケーション「Plextalk Transfer」を使用すると、ポッドキャストチャンネルを登録することができます。「Plextalk Transfer」は弊社のホームページからダウンロードすることができます。「Plextalk Transfer」の「ヘルプ」メニューから取扱説明書を表示することができますので、詳しい操作方法はそちらを参照してください。
ホームページ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／

＜ポイント＞
●本製品は「ＯＰＭＬ形式」のポッドキャスト一覧に対応しています。iTunes などのポッドキャストに対応したソフトウエアを操作して、ＯＰＭＬファイルの形式でポッドキャストチャンネルの一覧を出力し、ＳＤカードまたは内蔵メモリの「PlexPodcast」フォルダに保存すると、ポッドキャストチャンネルが登録されます。

8.1.3 ポッドキャストを聴く

ポッドキャストを聴くには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ポッドキャストを登録したＳＤカードまたは内蔵メモリをタイトルキーで選択します。	
2) [右キー] または [左キー] で、聴きたいポッドキャストチャンネルを選択し、[再生・停止キー]を押します。	「ポッドキャスト１」
3) 選択したポッドキャストチャンネルを初めて聴く場合は、「エピソードの一覧がありません。エピソードの一覧を更新しますか」という音声ガイドがありますので、[再生・停止キー]を押して、エピソードの一覧を更新します。	「エピソードの一覧がありません。エピソードの一覧を更新しますか」
4) [右キー] または [左キー] で、聴きたいエピソードを選択し、[再生・停止キー]を押します。そのエピソードが既にダウンロードされている場合、再生が始まります。	
5) エピソードが、まだダウンロードされていない場合は、「ダウンロードしますか」という確認の音声ガイドがありますので、[再生・停止キー]を押すとダウンロードが始まります。ダウンロードには時間がかかります。ダウンロードが終了したら、[再生・停止キー]を押すことで再生が始まります。	「ダウンロードされていないエピソードです」 「ダウンロードしますか」

＜ポイント＞

●エピソードのダウンロード中に［再生・停止キー］を押すと、ダウンロード中であることを通知する音声ガイドがあります。

●［５キー］を押すと、ダウンロード中のエピソード名とダウンロードの残り件数を確認することができます。

●ダウンロード中に、他のタイトルを聴くことができます。

●ＳＤカードにダウンロードしている途中に、ＳＤカードを抜かないでください。

●エピソードのダウンロード中に電源を切ると、ダウンロードは取り消されます。

8.1.4 エピソード、１０分、３０秒で移動する

「エピソード」ごと、または「１０分」および「３０秒」ごとに、ポッドキャスト番組内を移動することができます。これらの単位で番組内を移動するには、以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーでＳＤカードまたは内蔵メモリを選択した後、[右キー] または [左キー] で、聴きたいポッドキャスト番組を選択し、[再生・停止キー]を押します。	
2) [上キー] または [下キー] で、「エピソード」「１０分」「３０秒」のいずれかを選びます。	「エピソード」 「１０分」 「３０秒」
3) 「エピソード」を選んだ場合、[右キー] で次のエピソードに移動することができます。[左キー] を押すと前のエピソードに戻ります。	
4) 「１０分」を選んだ場合、[右キー] を１回押すと１０分先に移動することができます。[左キー] を１回押すと１０分前に戻ります。	
5) 「３０秒」を選んだ場合、[右キー] を１回押すと３０秒先に移動することができます。[左キー] を１回押すと３０秒前に戻ります。	

＜ポイント＞

●「１０分」または「３０秒」を選んだ場合、エピソードをまたいで移動することはできません。

8.1.5 エピソード一覧を更新する

エピソード一覧を更新すると、最新のエピソード一覧を取得することができます。以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーでＳＤカードまたは内蔵メモリを選択した後、[右キー] または [左キー] で、更新したいポッドキャスト番組を選択します。	
2) [メニューキー] を押します。	「メニュー」
3) [右キー] または [左キー] で、「ポッドキャスト」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ポッドキャスト」
4) [右キー] または [左キー] で、「エピソード一覧の更新」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「エピソード一覧の更新」
5) 「エピソードの一覧を更新しますか」という音声ガイドがありますので、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押すと、エピソード一覧の更新が始まります。しばらくすると更新が終了し、最新のエピソードを選択できるようになります。	「エピソードの一覧を更新しますか」

8.1.6 エピソードをまとめてダウンロード

聴きたいポッドキャスト番組のエピソードをまとめてダウンロードすることができます。以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーでＳＤカードまたは内蔵メモリを選択した後、[右キー] または [左キー] で、ダウンロードしたいポッドキャスト番組を選択します。	
2) [メニューキー] を押します。	「メニュー」
3) [右キー] または [左キー] で、「ポッドキャスト」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ポッドキャスト」
4) [右キー] または [左キー] で、「エピソードをまとめてダウンロード」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「エピソードをまとめてダウンロード」
5) 確認の音声ガイドがありますので、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押すと、エピソードのダウンロードが始まります。 エピソードのダウンロードには時間がかかります。ダウンロード中に、他のタイトルを聴くことができます。	「エピソードの一覧を更新して、エピソードをまとめてダウンロードしますか」

＜ポイント＞

●[５キー] を押すと、ダウンロードの進捗を確認することができます。

●ＳＤカードにダウンロードしている途中に、ＳＤカードを抜かないでください。

●エピソードのダウンロード中に電源を切ると、ダウンロードは取り消されます。

●エピソードのダウンロード中に録音キーを押してDAISY編集モードを開始すると、ダウンロードは中断されます。DAISY編集モードを終了すると、ダウンロードが再開されます。DAISY編集モードについては「９章　ＤＡＩＳＹ編集モード」113ページを参照してください。

●ダウンロードエラーが発生するとダウンロードが自動的にキャンセルされます。その際は、もう一度ダウンロードを行ってください。

8.1.7 ダウンロードしたエピソードを削除する。

＜ひとつのエピソードを削除する方法＞
削除したいエピソードを選択し、[メニュー]→[メディア管理]→[ファイル削除] で削除することができます。
詳しくは「17.3.6 ファイル削除」204ページを参照してください。

＜ひとつのポッドキャスト番組内の全てのエピソードを削除する方法＞
削除したいポッドキャスト番組を選択し、[メニュー]→[メディア管理]→[タイトル削除] で削除することができます。
詳しくは「17.3.5 タイトル削除」203ページを参照してください。

注：全てのエピソードを削除してもポッドキャスト番組の登録は削除されません。本製品で削除できるのは、ポッドキャスト番組の音声ファイルだけです。ポッドキャスト番組の登録を削除するには、「Plextalk Transfer」を使用して削除してください。「Plextalk Transfer」の使用方法は、「Plextalk Transfer」の「ヘルプ」を参照してください。

8章2 ウェブラジオ

8.2.1 ウェブラジオとは

ウェブラジオとは、インターネットで音声ファイルなどをストリーミングで配信する仕組みです。インターネット上には、ウェブラジオやインターネットラジオという名称でニュース番組や音楽番組をストリーミングで配信するサービスがあります。本製品では、このようなニュース番組や音楽番組を「ウェブラジオ番組」と呼びます。

本製品にウェブラジオ番組を登録すると、ストリーミングでウェブラジオ番組を聴くことができます。

なお、本製品でウェブラジオ番組を登録するには、パソコンを使って登録する必要があります。

＜ポイント＞

- ウェブラジオはインターネットラジオやネットラジオとも呼ばれています。
- 本製品のウェブラジオは「radiko」には対応していません。
- ウェブラジオの再生にはインターネット接続が必要です。インターネット接続については「6章　インターネット接続の準備」98ページを参照してください。
- ウェブラジオはダウンロードできません。
- ウェブラジオを録音、編集、バックアップすることはできません。

8.2.2 ウェブラジオ番組を登録する

本製品でウェブラジオを聴くには、聴きたいウェブラジオ番組を登録する必要があります。ウェブラジオを配信しているホームページ上で、ウェブラジオのＵＲＬが記入されているプレイリストファイルを探し、それをＳＤカードまたは内蔵メモリの「PlexWebRadio」フォルダに保存することで、ウェブラジオが登録されます。

弊社のアプリケーション「Plextalk Transfer」を使用すると、ウェブラジオを登録することができます。「Plextalk Transfer」は弊社のホームページからダウンロードすることができます。「Plextalk Transfer」の「ヘルプ」メニューから取扱説明書を表示することができますので、詳しい操作方法はそちらを参照してください。
ホームページ　ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／

登録可能なプレイリストファイルの種類は、拡張子が「pls」「m3u」「asx」のいずれかに限ります。それ以外のものは登録することができません。

＜ポイント＞
- 「PlexWebRadio」フォルダには複数のファイルを保存することができます。
- 登録されたウェブラジオは、本製品から削除することはできません。削除するには「Plextalk Transfer」を使用してください。

8.2.3 ウェブラジオの選択と再生

ウェブラジオを聴くには、以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ウェブラジオを登録したＳＤカードまたは内蔵メモリを［タイトルキー］で選択します。	
2) ［右キー］または［左キー］で、聴きたいウェブラジオ番組を選択します。	「ウェブラジオ」
3) ［再生・停止キー］を押すと、ストリーミングで再生が始まります。	
4) 別の番組を聴くには、［タイトルキー］を押して、［右キー］または［左キー］で番組を選択してください。	

＜ポイント＞

●早送りや巻き戻しはできません。

●上キーや下キーで移動単位を選ぶことはできません。

●別のタイトルを聴いた後に、再び同じ番組を聴いても、前回停止した箇所から再生することはできません。

●ウェブラジオ番組をダウンロードしたり、バックアップしたりすることはできません。

●ウェブラジオを再生中または選択中に録音キーを押しても、録音や編集を行うことはできません。

●ウェブラジオの再生スピードを変更することはできません。

●ウェブラジオにはしおりを付けることはできません。

９章　ＤＡＩＳＹ編集モード

９章１　ＤＡＩＳＹ編集モード

DAISY 編集モードとは、DAISY タイトルの録音および編集を行うモードです。DAISY 編集モードを開始すると、現在選択しているタイトルに対して、録音・編集を行うことができます。

＜ポイント＞

●録音に関しては「１０章　録音」116ページを、編集に関しては「１１章　編集」136ページを参照してください。

●編集可能なタイトルは、本製品で録音したタイトル、または編集準備したタイトルになります。それ以外のタイトルに対して編集をすることはできません。

●DAISY 編集モードを開始すると、ネットワーク機能は使用することができません。

●DAISY 編集モードの開始時に、ダウンロード中のタイトルがあると、ダウンロードが中断されます。DAISY 編集モードを終了するとダウンロードは再開されます。

9章2　ＤＡＩＳＹ編集モードの開始

以下の操作を行うと、DAISY 編集モードが始まります。

●録音キーを押す
録音キーを押すと、DAISY編集モード開始の音声ガイドがあり、DAISY編集モードが始まります。詳しくは「10.1.1 録音、一時停止、停止する」117ページを参照してください。

●メニューの「編集」を選択する
「メニュー」→「編集」を選択すると、DAISY編集モードが始まります。詳しくは「１１章　編集」136ページを参照してください。

●メニューの「新規タイトル作成」を実行する
「メニュー」→「メディア管理」→「新規タイトル作成」を選択し、新規タイトル作成を実行するとDAISY編集モードが自動的に始まります。詳しくは「17.3.4 新規タイトル作成」202ページを参照してください。

●メニューの「編集準備」を実行する
「メニュー」→「メディア管理」→「編集準備」を選択し、編集準備を実行するとDAISY編集モードが自動的に始まります。詳しくは「17.3.7 編集準備」205ページを参照してください。

＜ポイント＞
●[タイトルキー] を押してタイトルを選択している状態では、録音はできません。ＳＤカードまたは内蔵メモリのタイトルを選択し、[再生停止キー] または［＃キー］で決定してから、[録音キー] を押すと録音が可能になります。
●録音キーで DAISY 編集モードを開始した場合、その録音準備中に［再生・停止キー］を押すと、録音準備がキャンセルされ、DAISY 編集モードが終了します。

9章3　ＤＡＩＳＹ編集モードの終了

以下の操作を行うと、DAISY 編集モードが終了します。

●メニューの「DAISY 編集の終了」を実行する
「メニュー」→「編集」→「DAISY編集の終了」を選択し、DAISY編集の終了を実行します。詳しくは「１１章６ DAISY編集モードの終了」144ページを参照してください。

●[タイトルキー] を押す
再生中、または停止中に［タイトルキー］を押すと、「DAISY 編集モードを終了しますか？」という音声ガイドがあります。[再生・停止キー]または[下キー］または［＃キー］を押すと、DAISY 編集モードを終了することができます。DAISY 編集モード終了後にメディア切り替えやタイトル選択が可能になります。

●メニューの「ビルドブック」を実行する
「メニュー」→「メディア管理」→「ビルドブック」を選択し、ビルドブックを実行するとDAISY編集モードが自動的に終了します。詳しくは「17.3.8 ビルドブック」207ページを参照してください。

＜ポイント＞
●録音中に DAISY 編集モードを終了させることはできません。終了するには、録音を停止してから上記の操作を行ってください。
●DAISY 編集モードに入った状態で電源キーを押して電源を切った場合、DAISY 編集モードが終了して電源が切れます。２分間操作が無く、自動的に電源が切れた場合は、次回に電源を入れた際に DAISY 編集モードは継続されます。

１０章　録音

本製品は内蔵マイクなどを使って録音を行うことができます。録音した図書は編集可能な DAISY 図書として、ＳＤカードまたは内蔵メモリの「PlexRecording」フォルダに保存されます。

＜ポイント＞

●本製品で録音した図書を、他社製の DAISY 再生ソフトで取り扱う場合には、ビルドブックが必要になります。ビルドブックを行うことで、Daisy2.02 形式のファイルが作られます。

●「PlexRecording」フォルダの中にある DAISY 図書は「録音した DAISY」というカテゴリーに分類されます。それ以外の場所にある DAISY 図書は「DAISY 図書」というカテゴリーに分類されます。

●録音した DAISY をバックアップすると「PlexBackup」というフォルダに保存されます。そのため、バックアップ先の図書は「録音した DAISY」ではなく、「DAISY 図書」のカテゴリーになります。

●録音した DAISY の再生方法は DAISY 図書と同じです。

１０章１　録音の基本操作

10.1.1 録音、一時停止、停止する

基本的な録音方法を説明します。内蔵マイクに入る音を録音してみましょう。ＳＤカードを選択している場合はＳＤカードに録音され、内蔵メモリを選択している場合は内蔵メモリに録音されます。

手順	主な音声ガイド
1) [録音キー] を押します。 自動的に DAISY 編集モードに入ります。既に DAISY 編集モード中の場合は、DAISY 編集モードを開始する音声ガイドはありません。	「DAISY 編集モードを開始します。しばらくお待ちください。」・・・
2) DAISY編集モードに入った後、本製品は「録音準備中」になります。 録音準備中に[右キー] または [左キー] で録音するタイトルを選択したり、新しいタイトルを作成して録音することができます。詳しくは「10.1.2 録音準備中に新規タイトルを作成する」119ページを参照してください。	「DAISY 編集モード」 「（タイトル名）」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
3) 「録音準備中」には、録音音量を調整することができます。詳しくは「１０章２　録音音量の調整」120ページを参照してください。	
4) [録音キー] を押すと、選択したタイトルへ録音が始まります。この状態を「録音中」と呼びます。 既存のタイトルを選んだ場合は、そのタイ	

トルの最後の部分に録音が追加されます。	
5) 録音中に［録音キー］を押すと、録音が一時停止します。一時停止の状態を「録音ポーズ中」と呼びます。	「ポーズ」
6) 録音ポーズ中に［録音キー］を押すと、録音が再開されます。	
7) 録音中に［再生・停止キー］を押すと、録音が停止します。	

＜ポイント＞

●本製品で新規タイトルに録音したものは、「録音した DAISY」の一つのタイトルとして記録されます。

●[タイトルキー］を押してタイトルを選択している状態では、録音はできません。ＳＤカードまたは内蔵メモリのタイトルを選択し、[再生停止キー］または［＃キー］で決定してから、[録音キー］を押すと録音が可能になります。

●ＵＳＢ接続の記録装置には録音できません。

●録音中は電源ＬＥＤが橙色に点灯し、録音準備中または録音ポーズ中は橙色で点滅します。

●録音を開始すると、開始した場所に自動的に見出しが設定されます。

●録音中に無音が 0.4 秒以上続くと、そこで「フレーズ」が自動的に切れます。フレーズが切れることによって、録音した音声を繰り返し聞くなど、便利な使い方ができるようになります。

●工場出荷時の録音音質は「MP3 128kステレオ」に設定されています。録音音質の変更方法は、「10.3.4 録音モードと録音音質の設定」126ページを参照してください。

●本製品では、弊社製品ＰＴＲ１／ＰＴＲ２のように、挿入録音やパンチイン録音をすることはできません。

10.1.2 録音準備中に新規タイトルを作成する

録音準備中に新規タイトルを作成し、その新規タイトルに録音することができます。

手順	主な音声ガイド
1) ［録音キー］を押します。「録音準備中」になります。	「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」「音量確認」
2) ［右キー］を何回か押すことで新規タイトルを選択します。	「新規タイトル」
3) ［録音キー］を押します。録音が開始されます。	
4) ［再生・停止キー］を押すと、録音が停止します。	

＜ポイント＞

●新規タイトルは右キーを押すことで最後に選択できます。

タイトル１ ⇄ タイトル２ ⇄ 新規タイトル

●新規タイトル以外に、［右キー］または［左キー］で録音するタイトルを変更することもできます。録音できないタイトルは音声ガイドされません。

●録音キーを押す前に新しいタイトルを作成することもできます。詳しくは「17.3.4 新規タイトル作成」202ページを参照してください。

１０章２　録音音量の調整

10.2.1 自動音量調整の切替え

本製品には、自動的に録音音量を調整する機能があり、工場出荷時の設定は「自動音量調整あり」です。自動音量調整を「なし」にすることもできます。その場合には以下のように設定します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「録音設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」
2) ［右キー］または［左キー］で「自動音量調整の切替え」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「自動音量調整の切替え」
3) ［右キー］または［左キー］で「自動音量調整なし」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「自動音量調整なし」 「決定」 「設定しました」

10.2.2 録音音量を調整して録音する

自動音量調整を「なし」にすると録音音量を手動で調整することができます。
調整の手順は以下のようになります。

手順	主な音声ガイド
1) 自動音量調整が「あり」になっている場合は、前ページの方法で自動音量調整を「なし」に設定します。	
2) [録音キー] を押します。「録音準備中」になります。	「録音した DAISY○」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
3) [上キー] または [下キー] で音量を調整します。適切な音量より小さかったり、大きかったりすると、「小さい」あるいは「大きい」というガイドが流れます。適した音量になると「良い」というガイドが流れます。	「小さい」 「大きい」 「良い」
4) [録音キー] を押します。 録音が開始されます。	
5) [再生・停止キー] を押すと、録音が停止します。	

＜ポイント＞
●内蔵マイクの録音音量も調整することができます。
●録音音量は、０から２０まで１段階ずつ調整できます。

10.2.3 録音中に音量を確認する

適切な音量よりも録音音量が小さければ、本製品は「小さい」と音声でガイドします。このような音声ガイドによる音量確認のことを「録音中音量確認」と言います。音量確認の音声ガイドの種類は以下のとおりです。

状態	主な音声ガイド
自動音量調整が「あり」	「自動」
自動音量調整が「なし」で、録音音量が適量	「良い」
自動音量調整が「なし」で、録音音量が小さい	「小さい」
自動音量調整が「なし」で、録音音量が大きい	「大きい」

[タイトルキー] を押すことによって録音中音量確認の「あり／なし」を切り替えることができます。「あり」にすると音量確認のガイドが流れるようになり、「なし」にすると音量確認のガイドが流れなくなります。工場出荷時の設定は「あり」です。

手順	主な音声ガイド
1) 録音準備中、録音ポーズ中、または録音中に［タイトルキー］を押します。録音中音量確認が「なし」になります。	「録音中音量確認 なし」
2) もう一度［タイトルキー］を押します。録音中音量確認が「あり」になります。	「録音中音量確認 あり」

＜ポイント＞

●録音中の音声ガイドが「ガイドなし」に設定されている場合は、録音中の音量確認はできません。音声ガイドの有無については、「10.4.2 録音中の音声ガイド切替え」128ページを参照してください。

１０章３　録音設定

録音設定では録音モードと録音音質を選ぶことができます。

10.3.1 録音モードの設定項目

録音モードの設定においては、以下の４つの項目があります。

自動見出し設定	設定した秒数以上の無音が続いたときに自動的にセクションを分割します。設定値は、「しない」「１秒」「２秒」「３秒」「４秒」「５秒」の６種類です。
録音の自動停止時間	設定した時間以上の無音が続いた場合、録音を自動的に停止します。設定値は、「しない」「３０秒」「１分」「２分」「３分」「４分」「５分」の７種類です。
録音開始タイミング	録音キーを押した時点で録音を開始する設定と、録音キーを押した後、音声を検知した時点で録音を開始する設定の２種類の設定があります。前者を「録音キー操作時」と呼び、後者を「音声検知時」と呼びます。
入力音のノイズ量	入力音のノイズとは、テープから音を入力する際の「ヒスノイズ」などを意味します。標準(-28dB)、多い(-20dB)、少ない(-40dB)の３種類の設定があります。静かな場所で録音する場合は「少ない」を、周囲の雑音がやや多い時には「多い」に設定します。

※弊社製品ＰＴＲ２の図書制作モードにある「倍速録音設定」や「フレーズの自動分割」の設定は本製品にはありません。本製品の録音速度は等速、フレーズの自動分割は 0.4 秒です。

10.3.2 録音モードの種類

録音モードには、「標準」「会議」「音楽」「テープ」「ラジオ」「カスタム」の６種類があります。工場出荷時は「標準」に設定されています。
「カスタム」モードは、前節で説明した４種類の項目を自由に調整することができます。細かく設定する際に適しています。
「カスタム」モード以外のモードは、あらかじめ設定値が決まっています。簡単に設定する際に便利です。設定値は以下の表のとおりです。

詳細 / 録音モード	自動見出し設定	録音の自動停止時間	録音開始タイミング	入力音のノイズ量
標準	しない	しない	録音キー操作時	標準(−28dB)
会議	しない	しない	録音キー操作時	多い(−20dB)
音楽	２秒	１分	録音キー操作時	少ない(−40dB)
テープ	４秒	１分	音声検知時	標準(−28dB)
ラジオ	しない	１分	音声検知時	標準(−28dB)

以下に各モードの特徴をまとめました。

標準	周囲の雑音がやや少ない時に用います。
会議	会議/講義などのように周囲の雑音がやや多い時に用います。
音楽	ＣＤプレーヤーなどからライン録音する時に用います。
テープ	テープレコーダーからライン録音する時に用います。
ラジオ	ラジオからライン録音する時に用います。
カスタム	細かい設定が可能です。

10.3.3 録音音質

録音音質は、PCM 44.1kHz ステレオ、PCM 22.05kHz モノラル、MP3 256k ステレオ、MP3 128k ステレオ、MP3 64k モノラル、MP3 32k モノラルの６種類から選ぶことができます。工場出荷時の録音音質は「MP3 128k ステレオ」に設定されています。

また、選択した録音音質とともに録音可能時間も変わります。良い音質ほど録音に必要なデータ量が多くなるため録音可能時間は短くなります。以下にＳＤカードの容量と録音可能時間をまとめました。

ﾒﾃﾞｨｱの容量 / 音質	1GB	2GB	4GB	8GB
PCM 44.1kHz ｽﾃﾚｵ	約９０分	約３時間	約６時間	約１２時間
PCM 22.05kHz ﾓﾉﾗﾙ	約６時間	約１２時間	約２４時間	約４８時間
MP3 256k ｽﾃﾚｵ	約７．５時間	約１５時間	約３０時間	約６０時間
MP3 128k ｽﾃﾚｵ	約１５時間	約３０時間	約６０時間	約１２０時間
MP3 64k ﾓﾉﾗﾙ	約３０時間	約６０時間	約１２０時間	約２４０時間
MP3 32k ﾓﾉﾗﾙ	約６０時間	約１２０時間	約２４０時間	約４８０時間

＜ポイント＞

●ＳＤカードに実際に記録できるデータ容量は、カードに表示されているデータ容量よりも少ない場合があります。

●ＳＤカード購入の際には、別紙の「動作確認済品一覧」をご覧ください。

10.3.4 録音モードと録音音質の設定

録音モードと録音音質を変更するには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「録音設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「録音モードの選択」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「録音モードの選択」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で、録音モードを選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「（録音モード）」 「決定」 「音質を選択」
4) ［右キー］または［左キー］で、録音音質を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。録音モードで「カスタム」以外を選んだ場合は、ここで設定が完了します。	「（録音音質）」 「決定」 「設定しました」
5) 「カスタム」を選んだ場合は、「自動見出し設定」などの４項目の設定を行います。［右キー］または［左キー］で設定値を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。４項目すべてを設定すると、設定が完了します。	「自動見出し設定」 ・・・ 「入力音のノイズ量」

＜ポイント＞

●録音準備中に［メニューキー］を押すと、直接「録音設定」に入ることができます。

１０章４ 録音中に音声を聴く

10.4.1 モニター出力の「あり／なし」

録音準備中や録音中に、しおりキーでモニター出力を「あり」または「なし」にすることができます。工場出荷時の設定は「モニター出力あり」です。
マイクで録音する場合、内蔵スピーカーでのモニターはハウリングの原因になりますので、モニター出力は自動的に「なし」になります。しかし、この場合でもヘッドホンでは音声を聞くことができます。
録音準備中にモニター出力を「あり」または「なし」にするには以下のように設定します。

手順	主な音声ガイド
1) 外部音声入力端子に録音用接続ケーブルを接続します。	「入力　ラインイン」
2) ［録音キー］を押し、録音準備状態に入ります。	・・・ 「音量確認」
3) ［しおりキー］を押すたびに、モニター出力の「あり／なし」が切り替わります。	「モニター出力なし」 「モニター出力あり」
4) ［録音キー］を押して、録音を開始します。	

＜ポイント＞
●録音モニターは録音準備状態に入る毎に「あり」になりますので、「録音モニターなし」に設定する際は、その都度、設定を行ってください。
●マイクで録音する際に録音モニターを「あり」にすると、ハウリングが発生する場合があります。その際はヘッドホンを使用してください。

10.4.2 録音中の音声ガイド切替え

マイクから録音する際、音声ガイドが録音されないようにするために設定します。工場出荷時の設定は、「ガイドあり」です。録音中の音声ガイドを「ガイドなし」にするには以下のように設定します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「録音設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「録音中の音声ガイド切替え」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「録音中の音声ガイド切替え」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ガイドなし」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ガイドなし」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●音声ガイドが録音されないようにするためには、この方法の他に、ヘッドホンを接続するという方法もあります。ヘッドホンを接続すると、音声ガイドがヘッドホンに流れるので、音声ガイドが録音されることはありません。

１０章５　外付けマイクやラインから録音する

10.5.1 外付けマイクとライン入力の選択

外部音声入力端子に外付けマイクやラインインのジャックを差し込むと、「入力、外付けマイク」あるいは「入力、ラインイン」と音声ガイドされます。工場出荷時の設定は「入力、外付けマイク」（マイク使用モード）です。ラインインのジャックを差し込んだ時に「入力、外付けマイク」とガイドされた場合は、以下の手順で「ラインイン使用モード」に変更します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「録音設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「録音設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「外部音声入力端子の切り替え」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「外部音声入力端子の切り替え」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ラインイン使用モード」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ラインイン使用モード」 「決定」 「設定しました」

10.5.2 外付けマイクで会議や授業を録音する

授業や会議を録音する場合は録音モードを「会議」に設定して録音すると、「標準」に比べてフレーズの自動分割が上手くできます。また、自動音量調整は「あり」にした方が、授業や会議を録音する場合には適しています。

手順	主な音声ガイド
1) ＳＤカードが入っているか確認します。外付けマイク（別売）を用意し、本製品の外部音声入力端子に接続します。	「マイク使用モード」
2) メニューから、録音モードを「会議」に設定します。	
3) メニューから、自動音量調整を「あり」に設定します。	
4) ［録音キー］を押します。録音準備状態に入ります。	「録音した DAISY○」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
5) 会議が始まるタイミングで［録音キー］を押します。	
6) 録音を終了するときは、［再生・停止キー］を押します。	

＜ポイント＞

●手順１で、外付けマイクを接続した際に「ラインイン使用モード」とガイドされた場合は、「マイク使用モード」に変更してください。詳しくは「10.5.1 外付けマイクとライン入力の選択」129ページを参照してください。

●手順２で、録音モードを設定する方法は「10.3.4 録音モードと録音音質の設定」126ページを参照してください。

●手順３で、自動音量調整を設定する方法は「10.2.1 自動音量調整の切替え」120ページを参照してください。

●録音中に［移動キー］を押すと、新たに見出しが付きます。詳しくは「１１章１ 録音中に見出しを付ける」137ページを参照してください。

●録音準備中などに録音に関する情報を聞くことができます。詳しくは「15.6.2 録音時に情報を聞く」179ページを参照してください。

10.5.3 ラジオやテープの音声を録音する

ラジオ（テレビ）を録音する場合は録音モードを「ラジオ」に設定して録音すると便利です。「ラジオ」の設定で録音すると、録音は音声を検知してから始まりますので、録音の先頭に無音が入りにくくなります。また、音声が１分以上途切れると自動的に録音を停止しますので、ラジオ側でＯＮ、ＯＦＦの予約をしておけば、ラジオがＯＦＦになった際に録音も停止します。
テープの内容を録音する場合は、録音モードを「テープ」に設定して録音すると便利です。「テープ」の設定で録音すると、テープからの音声を検知してから録音が始まります。また、音声が４秒以上途切れると、自動的に見出しを設定し、１分以上途切れると自動的に録音を停止します。

手順	主な音声ガイド
1) ＳＤカードが入っているか確認します。ラジオまたはテープレコーダーのヘッドホンジャックに、録音用ケーブル（別売）を接続します。ケーブルの反対側の端子を本製品の外部音声入力端子に接続します。	「ラインイン使用モード」
2) メニューから、録音モードを「ラジオ」または「テープ」に設定します。	
3) メニューから、自動音量調整を「あり」に設定します。	
4) [録音キー] を押します。	「録音した DAISY○」 「録音キーで録音開始。右キーまたは左キーで録音するタイトルを選択」 「音量確認」
5) ラジオまたはテープが始まるタイミングで	

［録音キー］を押します。	
6) 録音を終了するときは、[再生・停止キー]を押します。なお、[再生・停止キー]を押さなくても１分以上音声が入力されないと、自動的に録音を停止します。	

＜ポイント＞

●手順１で、録音用ケーブルを接続した際に「マイク使用モード」とガイドされたら、「ラインイン使用モード」に変更してください。詳しくは「10.5.1 外付けマイクとライン入力の選択」129ページを参照してください。

●手順２で、録音モードを設定する方法は「10.3.4 録音モードと録音音質の設定」126ページを参照してください。

●手順３で、自動音量調整を設定する方法は「10.2.1 自動音量調整の切替え」120ページを参照してください。

●ラジオ・テレビ・テープレコーダーのラインアウトと本製品の外部音声入力端子を接続した場合、音が歪むことがあります。その際には、ラインアウトではなく、ラジオ等のヘッドホン出力端子をお使いください。

10.5.4 音楽をラインインから録音する

音楽を録音する場合は、録音モードを「音楽」に設定して録音すると便利です。曲と曲との間など無音が２秒続くと自動的に見出しを設定しますので、録音後にレベル１で曲間を移動できます。また、音が１分以上途切れると自動的に録音を停止します。

ラインインに接続してカセットプレーヤ、ＣＤプレーヤなどの音楽プレーヤーで再生する音楽を録音する場合の一連の操作方法について説明します。自動音量調整はＯＦＦにして音量を調整します。

手順	主な音声ガイド
1) ＳＤカードが入っているか確認します。ラジオまたはテープレコーダーのヘッドホンジャックに、録音用ケーブル（別売）を接続します。ケーブルの反対側の端子を本製品の外部音声入力端子に接続します。	「ラインイン使用モード」
2) メニューから、録音モードを「音楽」に設定します。	
3) メニューから、自動音量調整を「なし」に設定します。	
4) [録音キー] を押します。	「録音した DAISY○」 「録音キーで・・・」 「音量確認」
5) 録音音量を調整するため、音楽プレーヤーを再生します。[上キー] または [下キー] で音量を調整します。音量が適量でないと「小さい」または「大きい」と音声ガイドされます。大きめの音が流れている時に「良い」と音声ガイドされるように調整し	「良い」

てください。	
6) 音楽プレーヤーを録音開始したい場所まで戻して再生し、同時に［録音キー］を押します。録音が開始されます。	
7) 録音を終了するときは、[再生・停止キー]を押します。なお、[再生・停止キー］を押さなくても１分以上音楽が途切れた場合は自動的に録音を停止します。	

＜ポイント＞

●手順１で、録音用ケーブルを接続した際に「マイク使用モード」とガイドされたら、「ラインイン使用モード」に変更してください。詳しくは「10.5.1 外付けマイクとライン入力の選択」129ページを参照してください。

●手順２で、録音モードを設定する方法は「10.3.4 録音モードと録音音質の設定」126ページを参照してください。

●手順３で、自動音量調整を設定する方法は「10.2.1 自動音量調整の切替え」120ページを参照してください。

●音楽プレーヤーのラインアウトと本製品の外部音声入力端子を接続した場合、音が歪むことがあります。その際には、ラインアウトではなく、音楽プレーヤーのヘッドホン出力端子をお使いください。

１１章　編集

本製品では、DAISY 図書に関する以下の３つの操作を「編集」と呼びます。
１．見出しを付ける
２．見出しを取り消す
３．セクションを削除する
以下で、これらの操作方法について説明します。
また、DAISY 編集モードを終了させる方法についても説明します。

編集を行うためには、DAISY 編集モードに入る必要があります。以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1)　編集するタイトルを選択します。	
2)　[メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「編集」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」「編集」「決定」「この DAISY タイトルを編集しますか」
3)　[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」「DAISY 編集モードを開始します。」

＜ポイント＞
●見出し、セクションについては「1.2.4. ＤＡＩＳＹ」27ページを参照してください。
●編集可能なタイトルは、本製品で録音したタイトル、または編集準備したタイトルになります。それ以外のタイトルに対して編集をすることはできません。

１１章１ 録音中に見出しを付ける

録音中に［移動キー］を押すことで、録音中に見出しを付けることができます。

例）「あいうえお」「かきくけこ」と読んで録音し、「か行」の先頭に見出しを付けてみましょう。

手順	主な音声ガイド
1) ［録音キー］を押し、録音準備状態に入ります。	・・・
2) ［録音キー］を押し、録音を開始します。 「あ行」を読んだ後、［移動キー］を押して見出しを付けます。続いて「か行」を読みます。 ［再生・停止キー］を押し、録音を停止します。	（あいうえお） 「見出し○○」 （かきくけこ）

＜ポイント＞

●見出しは録音後にも付けることができます。詳しくは「１１章３ 録音後に見出しを付ける」139ページを参照してください。

●録音開始部分には自動的に見出しが付きます。

●内蔵マイクを使用して録音すると、録音中の音声ガイド「見出し○○」なども録音されてしまいます。音声ガイドを出ないようにするには、以下の方法を行ってください。

・ヘッドホンを接続する。

・メニューの「録音設定」から「録音中の音声ガイド切替え」を「なし」に設定する。詳しくは、「10.4.2 録音中の音声ガイド切替え」128ページを参照してください。

１１章２ 録音ポーズ中に見出しを予約する

録音ポーズ中に［移動キー］を押すことで、録音再開時に見出しを付ける予約をすることができます。

手順	音声
1） 録音中に［録音キー］を押して、録音ポーズ状態に入ります。	「ポーズ」
2） ［移動キー］を押して見出しを付ける予約をします。	「見出し○」
3） ［録音キー］を押して、録音を再開します。再開した箇所に見出しが付きます。	

＜ポイント＞
●手順２の後で、もう一度［移動キー］を押すと、予約を取り消すことができます。

１１章３ 録音後に見出しを付ける

録音中は、キーを押したタイミングで見出しが付きますので、意図したところと若干違った場所に見出しが付いてしまう場合があります。録音後に編集すると、より正確な位置に見出しを付けることができます。
例）「さしすせそ」と「たちつてと」を続けて読んで録音し、「た行」の冒頭の正確な位置に見出しを付けるには、以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ［再生・停止キー]を押し、「た」が再生された瞬間に［再生・停止キー］を押して停止します。	「さしすせそ」 「た・・」
2) 再び［メニューキー］を押し、[右キー]または［左キー］で「編集」を選択し、[再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「編集」 「決定」 「編集項目を選択」
3) ［右キー］または［左キー］で「見出し設定」を選択し、[再生・停止キー］または[下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「見出し設定」「決定」 「見出し○を設定しますか」「右キーまたは左キーで設定する位置を微調整」
4) 設定位置を調整する場合は、［左キー］または[右キー]を押すことで前後に０．１秒ずつ移動します。［左キー］を数回押して「た」が再生される場所まで移動します。	「・ちつてと」 「たちつてと」
5) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」「見出し○設定しました」

＜ポイント＞

●録音後に見出し取り消しを実行するためには、DAISY 編集モードに入る必要があります。[メニューキー] を押した後、「編集」を選択してください。DAISY 編集モードを開始することができます。DAISY 編集モードに入ったら、上記の手順１から行ってください。

●新たに見出しを設定すると、見出し番号は自動的にタイトルの先頭から振り直されます。

●DAISY 編集モードに入っていない場合、「見出し設定」メニューは表示されません。

１１章４ 見出しを取り消す

見出しを取り消すには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) 取り消したい見出しの位置まで移動します。	
2) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「編集」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「編集」 「決定」 「編集項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「見出し取り消し」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「見出し取り消し」 「決定」 「見出し○を取り消しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「見出し○取り消しました」

＜ポイント＞

●見出し取り消しを実行するためには、DAISY 編集モードに入る必要があります。[メニューキー] を押した後、「編集」を選択してください。DAISY 編集モードを開始することができます。DAISY 編集モードに入ったら、上記の手順１から行ってください。

●新たに見出しを取り消すと、見出し番号は自動的にタイトルの先頭から振り直されます。

●DAISY 編集モードに入っていない場合、「見出し取り消し」メニューは表示されません。

１１章５ セクション削除

不要なセクションを削除することができます。
例）第２章の先頭から第４章の最後までを削除するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1） 第２章に移動します。	
2） [メニューキー]を押します。	「メニュー」
3） [右キー] または [左キー] で「編集」を選択し、[再生・停止キー]または[下キー]または［＃キー］を押して決定します。	「編集」 「決定」 「編集項目を選択」
4） [右キー] または [左キー] で「セクション削除」を選択し、[再生・停止キー] または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「セクション削除」 「決定」 「削除したい範囲の先頭のセクションを選択」
5） [右キー] または [左キー] で削除する先頭のセクション（第２章）を選択し、[再生・停止キー] または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	（先頭のセクション） 「決定」 「削除したい範囲の最後のセクションを選択」
6） [右キー]で削除する最後のセクション（第４章)まで進み、[再生・停止キー] または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	（最後のセクション） 「決定」 「セクション削除を実行しますか？」
7） [再生・停止キー] または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「削除しました」

＜ポイント＞

●セクションを削除するためには、DAISY 編集モードに入る必要があります。[メニューキー] を押した後、「編集」を選択してください。DAISY 編集モードを開始することができます。DAISY 編集モードに入ったら、上記の手順 1 から行ってください。

●第 2 章のみを削除する場合は、先頭のセクションで第 2 章を選び、最後のセクションでも第 2 章を選んでください。

●DAISY 編集モードに入っていない場合、「セクション削除」メニューは表示されません。

１１章６ DAISY 編集モードの終了

メニューから DAISY 編集モードを終了させるには、以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) DAISY 編集モード中に［メニューキー］を押します。	「メニュー」
2) ［右キー］または［左キー］で「編集」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「編集」 「決定」 「編集項目を選択」
3) ［右キー］または［左キー］で「DAISY 編集の終了」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「DAISY 編集の終了」 「決定」 「DAISY 編集モードを終了しますか？」
4) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「DAISY 編集モードを終了します。しばらくお待ちください。」・・・ 「DAISY 編集モードを終了しました。」

＜ポイント＞

●DAISY 編集モードを終了すると、ネットワーク機能を使用することができます。

●DAISY 編集モードの開始時に、ダウンロード中のタイトルがあると、ダウンロードが中断されます。DAISY 編集モードを終了するとダウンロードが再開されます。

●DAISY 編集モードに入っていない場合、「DAISY 編集の終了」メニューは表示されません。

１２章　メモ録

メモなどの短い文を簡単に録音できます。メモ録は、本製品の内蔵メモリに録音されます。メモ録は選択されているメディアにかかわらず、録音キーを長く押し続けることで録音できます。

１２章１　メモ録を録音する

メモ録に録音するには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ［録音キー］を押したまま、メモを録音します。音声ガイドが「メモ録」と言ってから録音を開始してください。 例：「○○さんの電話番号は・・・」	「メモ録」
2) ［録音キー］から指を離すと、メモ録が終了します。	
3) 今、録音した内容が再生されます。	

＜ポイント＞
- ●メモ録１回の録音時間は最大１分です。
- ●メモ録で録音できるのは最大２００個、総時間は３０分までです。
- ●メモ録には、録音した日付情報が付きます。
- ●メモ録の録音音量は自動調整されます。手動で録音音量を設定することはできません。
- ●メモ録は、メディアとして選択できる「内蔵メモリ」とは別の内蔵メモリに保存されます。

次のページに続きます。

＜ポイント（続き）＞

●メモ録の音質は MP3 32k モノラルです。音質を変更することはできません。

●メモ録が最大数または総時間を超えると、その旨を伝える音声ガイドがありますので、不要なメモ録を削除してください。削除方法は「12章4 選択中のメモ録を削除する」148ページを参照してください。

●すべてのメモ録をＳＤカードにバックアップすることができます。詳しくは「１３章３　メモ録をＳＤカードにバックアップする」158ページを参照してください。

●弊社製品ＰＴＲ２のようにメモリ配分を設定する必要はありません。

１２章２ メモ録を再生する

メモ録を再生するには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ［タイトルキー］を何回か押すことで「メモ録」に移動します。	「メモ録」
2) ［再生・停止キー］を押すと、メモ録が再生され、その後に日付情報がガイドされます。	「（メモ録の番号）」「明日は・・・をする」
3) ［右キー］または［左キー］を押すと、次のメモ録または前のメモ録が再生されます。	「（メモ録の番号）」

＜ポイント＞

●メモ録にはしおりを付けることができません。

１２章３ ダイレクト移動

例） ５番目のメモ録に移動するには以下のように操作します。

＜方法１＞

手順	主な音声ガイド
1） ［タイトルキー］を何回か押して「メモ録」に移動します。	「メモ録」
2） 数字の［５キー］を押します。	「５」
3） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「５」
4） ［再生・停止キー］を押すと、５番目のメモ録の再生が始まります。	「５」

＜方法２＞

手順	主な音声ガイド
1） ［タイトルキー］を何回か押して「メモ録」に移動します。	「メモ録」
2） ［再生・停止キー］を押してメモ録を再生します。	
3） ［移動キー］を押します。	「移動先のメモ録番号を入力」 ・・・
4） 数字の［５キー］を押します。	「５」
5） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。５番目のメモ録の再生が始まります。	「決定」 「５」

１２章４ 選択中のメモ録を削除する

選択中のメモ録を削除するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) タイトルキーで「メモ録」を選択し、[右キー] または [左キー] で削除したいメモ録を選択して再生します。	
2) [メニューキー] を押し、[右キー] または [左キー] で「メモ録」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メモ録」 「決定」「項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「選択中のメモ録を削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「選択中のメモ録を削除」 「決定」 「（メモ録の内容）」 「選択中のメモ録を削除しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

＜ポイント＞
●メモ録を削除すると、その番号以降の番号がひとつずつ繰り上がります。

１２章５ すべてのメモ録を削除する

すべてのメモ録を一度に削除するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「メモ録」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「メモ録」 「決定」「項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「すべてのメモ録を削除」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「すべてのメモ録を削除」 「決定」 「すべてのメモ録を削除しますか？」
3) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

１２章６ メモ録のバックアップ

すべてのメモ録をＳＤカードにバックアップすることができます。バックアップの方法は「１３章３　メモ録をＳＤカードにバックアップする」158ページを参照してください。

＜ポイント＞
●メモ録はＳＤカードにのみバックアップすることができます。ＵＳＢ機器や内蔵メモリにバックアップすることはできません。

１３章 データをバックアップする

本製品では、ＳＤカードとＵＳＢ機器の間、ＵＳＢ機器と内蔵メモリの間、内蔵メモリとＳＤカードの間で、DAISY 図書や音楽ＣＤなどをバックアップすることが可能です。

DAISY 図書ＣＤから本製品のＳＤカードにバックアップする場合、前者を「バックアップ元」、後者を「バックアップ先」と呼びます。

＜注意＞
●本製品は著作権法で許された範囲のコピー（私的使用のための複製、あるいは、著作権法３７条３項に定められた視覚障害者のための用途）のみを目的として使用するものです。違法コピーは民事上または、刑事上の制裁を受ける場合があります。
●音楽ＣＤ等のコピーは個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
●付属のＵＳＢケーブルの金属端子には、鋭利な部分があります。金属部分に触れる際にはケガをしないよう、十分に注意してください。

＜ポイント＞

●メディアの種類やカードリーダーライター、ＣＤドライブの機種等によってはバックアップができない場合があります。

●本製品同士を接続してバックアップを行うことはできません。ＳＤカードからＳＤカードへデータを転送する際は、カードリーダーライターやパソコンを用いて転送してください。

●バックアップ元に複数のタイトルがある場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。

●バックアップ先の容量が足りない場合は、バックアップを開始する際に、その旨を音声ガイドします。現在のメディアの使用容量・空き容量は、[メニューキー]→[メディア管理]→[メディア・タイトル情報]で確認することができます。詳しい操作方法は「17.3.1 メディア、タイトル情報」198ページを参照してください。

●バックアップの進捗状況を知るには、バックアップ中に［５キー］を押してください。進捗状況をパーセントで音声ガイドします。

●バックアップをキャンセルするには、[上キー］または［＊キー］を押してください。(確認の音声ガイドが流れます。）

●バックアップ中にＵＳＢケーブルやメディアを抜いたり、本製品の電源や接続中のＵＳＢ機器の電源を切ったりしないでください。データが失われる可能性があります。

●バックアップの際は電源アダプターの使用をお薦めします。バッテリー駆動でバックアップを行うと、バックアップ中にバッテリーがなくなり、バックアップが強制的に中断される場合があります。

●バックアップが終了し、ＳＤカードやＵＳＢ機器を取り外す際は、電源を切ってから取り外してください。

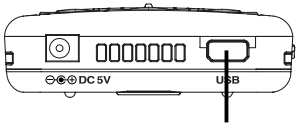
１３章１　本製品とＵＳＢ機器との間でバックアップする

＜ＵＳＢ機器から本製品へバックアップ＞

ＵＳＢ機器としてＣＤドライブを使う場合を例にあげて説明します。

手順	主な音声ガイド
1)　本製品側の準備をします。 ・電源を切ります。 ・ＳＤカードを入れます。 ・ＡＣアダプターを接続します。 ・電源を入れます。 ・ＵＳＢケーブル(短)を本製品に接続します。	
2)　ＣＤドライブ側の準備をします。 ・ＡＣアダプターを接続します。 ・電源を入れます。 ・ＣＤを入れます。 ・ＵＳＢケーブルを準備します。	
3)　本製品側の短いＵＳＢケーブルとＣＤドライブ側のＵＳＢケーブルをつなぎます。本製品は自動的にＣＤドライブを認識します。	「ディスク」
4)　本製品がＣＤ内のタイトルを音声ガイドします。音声ガイドされたタイトルをバックアップしたい場合は次の手順に進みます。 違うタイトルがガイドされたら、[タイトルキー] を押し、[右キー] または [左キー] でバックアップしたいタイトルを選択し、[再生・停止キー] を押します。	「（タイトル名）」 または 「音楽ＣＤ」

5) 数字の［9キー］を押します。	「バックアップ」
6) ［右キー］または［左キー］でバックアップ先メディアを選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］で決定します。 音楽ＣＤ以外の場合は手順９に進みます。	「バックアップ先メディアを選択」
7) ［右キー］または［左キー］で音質を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「音楽ＣＤのバックアップ音質を選択、MP3 128k・・・」
8) ［右キー］または［左キー］で「音楽」または「オーディオブック」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「バックアップ先のカテゴリを選択してください」 「音楽」または「オーディオブック」
9) 確認の音声ガイドがありますので、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押すとバックアップが始まります。 バックアップが終了すると音声ガイドがあります。	「選択中のタイトルを○○へバックアップしますか？」 「決定」・・・ 「バックアップ100%完了しました」



本製品　USB 端子

USB ケーブル(短)

ＣＤドライブ

＜ポイント＞

●手順７の「音質選択」と手順８の「カテゴリー選択」が可能なのは、音楽ＣＤのみです。

●本製品とＵＳＢ機器とを接続するには、「本製品付属のＵＳＢケーブル㈱」と「ＵＳＢ機器に付属しているＵＳＢケーブル」の２本をつなげて接続します。

●外付けＵＳＢ機器やメディアの種類によってはバックアップができない場合があります。

●落語や英会話などのＣＤを「音楽」のカテゴリーに入れたくない場合は、手順８で「オーディオブック」を選択してください。

●音楽をトラック（曲）単位でバックアップすることはできません。アルバム全体がバックアップされます。

●バックアップ元にタイトルが２つ以上ある場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。ＭＰ３などの音楽ファイルを収録したフォルダが複数ある場合、ＵＳＢ接続時に「すべての音楽」と音声ガイドがありますが、すべての音楽がバックアップされるわけではありません。

●選択可能な音質はＰＣＭステレオ、MP3 256 キロ ステレオ高品質、MP3 256 キロ ステレオ、MP3 128 キロ ステレオ高品質、MP3 128 キロ ステレオの５種類です。

●演奏時間約５０分の音楽ＣＤをＳＤカードにバックアップするには、
ＰＣＭステレオの場合、約３５分、
MP3 256 キロ ステレオ 高品質 の場合、約５０分、
MP3 256 キロ ステレオの場合、約４０分、
MP3 128 キロ ステレオ 高品質 の場合、約５５分、
MP3 128 キロ ステレオの場合、約４０分の時間が必要となります。
ただし、音楽ＣＤのトラック数、使用するドライブの種類によってはバックアップに時間がかかる場合があります。

＜弊社製品ＰＴＲ２／ＰＴＲ１使用時のポイント＞

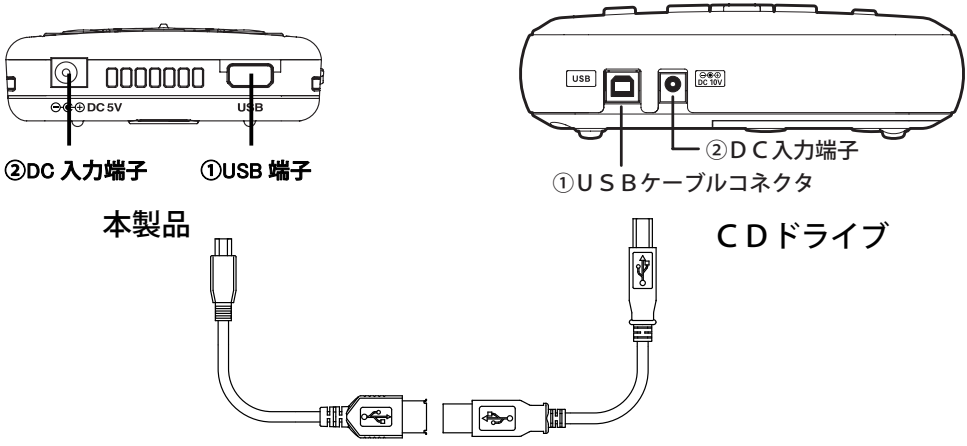
●本製品と弊社製品ＰＴＲ２／ＰＴＲ１とを接続するには、下の図のように「本製品付属のＵＳＢケーブル(短)」と「ＰＴＲ２／ＰＴＲ１に付属しているＵＳＢケーブル」の２本をつなげて接続します。

●ＰＴＲ２のＣＤをバックアップする場合は「ＵＳＢ動作の切り替え」を「ＣＤドライブ」にしてください。ＣＦカードをバックアップする場合は、「カードドライブ」にしてください。詳しくはＰＴＲ２取扱説明書９章７「ＵＳＢ動作の切り替え」を参照してください。

●ＰＴＲ２で録音した DAISY 図書をバックアップする場合、ＣＤファイナライズを行ってからバックアップしてください。

●手順１～４で、先にケーブルを接続し、後から電源を入れることも可能ですが、その場合は本製品の電源を入れてからＣＤドライブの電源を入れるようにしてください。

●ＰＴＲ２に約２００ＭＢの DAISY 図書ＣＤを入れ、本製品のＳＤカードにバックアップするには、約１５分ほどの時間が必要です。



＜本製品からＵＳＢ機器へバックアップ＞

本製品のＳＤカードや内蔵メモリからＵＳＢ機器へバックアップする方法は、前述のＵＳＢ機器から本製品へのバックアップと基本的に同じです。バックアップ元として本製品のＳＤカードや内蔵メモリを選択し、バックアップ先としてＵＳＢ機器を選択してください。

＜ポイント＞

●DAISY 図書をバックアップする場合、「ＰＴＲ１やＰＴＲ２で再生できるように、編集準備を実行しますか？」というガイドが流れます。編集準備をする場合は「編集準備を実行する」を選び、しない場合は「編集準備を実行しない」を選んでください。

●ＣＤ／ＤＶＤドライブへバックアップすることはできません。

●ＰＴＲ２を使用する場合、ＣＦカードへのみバックアップすることが可能です。

●本製品からＰＴＲ１にバックアップすることはできません。

●ＵＳＢ機器によっては、バックアップができない場合があります。

●カードリーダーライターを使用する場合、差し込むメディアは１枚だけにしてください。同時に何枚も差し込まないでください。

●バックアップ元にタイトルが２つ以上ある場合、１度に複数のタイトルをバックアップすることはできません。１タイトルずつバックアップしてください。音楽の場合はアルバム単位でバックアップされます。

●本製品のＳＤカードに収録された約２００MB の DAISY 図書を、ＰＴＲ２のＣＦカードにバックアップするには、約２５分ほどの時間が必要です。

１３章２　本製品の内蔵メモリとＳＤカードの間でバックアップする

本製品の内蔵メモリからＳＤカードにバックアップする方法を説明します。

手順	主な音声ガイド
1)　ＳＤカードを本製品に入れてから電源を入れます。	
2)［タイトルキー］を何回か押して、「内蔵メモリ」を選択し、［右キー］または［左キー］でバックアップするタイトルを選択します。［再生・停止キー］で再生します。	「内蔵メモリ」
3)　数字の［９キー］を押します。	「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」
4)［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押すとバックアップが始まります。終了すると音声ガイドがあります。	「決定」・・・「バックアップ100%完了しました」

＜ポイント＞

●ＳＤカードから内蔵メモリにバックアップする場合も、方法は同じです。ただし、手順２は「内蔵メモリ」ではなく、「ＳＤカード」を選択してください。

１３章３　メモ録をＳＤカードにバックアップする

録音したメモ録はＳＤカードにバックアップすることができます。以下の操作ですべてのメモ録がバックアップされます。

手順	主な音声ガイド
1)　ＳＤカードを本製品に入れてから電源を入れます。	
2)　[タイトルキー] を何回か押して「メモ録」を選択します。[再生・停止キー] で再生します。	「メモ録」
3)　数字の［９キー］を押します。	「選択中のタイトルをＳＤカードへバックアップしますか？」
4)　[再生停止キー] または［下キー］または［＃キー］を押すとバックアップが始まります。終了すると音声ガイドがあります。	「決定」・・・「バックアップ100%完了しました」

＜ポイント＞

●ひとつひとつのメモ録を個別にバックアップすることはできません。メモ録全体がバックアップされます。

●メモ録からＳＤカードにバックアップしても、メモ録側の内容は削除されません。

●ＳＤカードにバックアップされたメモ録は編集することができます。

●ＳＤカードにバックアップされたメモ録には、レベル１の見出しがつきます。

●メモ録はＳＤカードにのみバックアップすることができます。ＵＳＢ機器や内蔵メモリにバックアップすることはできません。

１４章 パソコンとの接続

１４章１ 本製品とパソコンをＵＳＢケーブルで接続する

本製品をパソコンと接続すると、本製品は外付けカードドライブとして認識されます。パソコンから本製品のＳＤカードまたは内蔵メモリのファイルを読み書きすることができます。

14.1.1 パソコンの動作環境

対応ＯＳは、Windows 2000、XP、Vista、７ です。これらのＯＳ以外での動作は保証いたしません。

14.1.2 パソコンと接続

手順
1) 本製品にＡＣアダプターを接続します。本製品にＳＤカードが入っていることを確認し、本製品とパソコンの電源を入れます。
2) 本製品とパソコンが起動してから､付属のＵＳＢケーブル(長)で直接接続します。
3) パソコンのマイコンピュータ（エクスプローラ）で、本製品のＳＤカードまたは内蔵メモリがリムーバブルディスクとして認識されます。

14.1.3 内蔵メモリとＳＤカードの切り替え

本製品の内蔵メモリの内容をパソコンに表示させるか、ＳＤカードの内容をパソコンに表示させるかを切り替えることができます。現在、内蔵メモリが表示されている場合は、以下の操作でＳＤカードに切り替わり、ＳＤカードが表示されている場合は、以下の操作で内蔵メモリに切り替わります。

手順	主な音声ガイド
1) パソコンとの接続中に［右キー］または［左キー］を押します。	「内蔵メモリ（またはＳＤカード）に接続を切り替えますか？」
2) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。切替が完了すると、切り替えたメディアが音声でアナウンスされます。	「決定」 「内蔵メモリ（またはＳＤカード）」

14.1.4 データの転送

パソコンのマイコンピュータ（エクスプローラ）上で、パソコン内のフォルダやファイルを本製品のＳＤカードまたは内蔵メモリにコピー＆ペーストすることができます。また、本製品のＳＤカードまたは内蔵メモリ内のフォルダやファイルをパソコンに転送することもできます。

＜ポイント＞
●本製品がパソコンに接続されている時に、本製品の電源を切ったり、ＵＳＢケーブルやＳＤカードを抜いたりしないでください。

次のページに続きます。

＜ポイント（続き）＞

●DAISY 図書のファイルをコピーする場合は、フォルダごと転送するか、または、新しいフォルダを作って、その中に転送してください。ＳＤカードのルートフォルダにはDAISY図書のファイルを転送しないでください。ＳＤカードのルートフォルダに DAISY 図書のファイルを転送すると、その DAISY 図書しか認識できなくなります。さらに、その DAISY 図書を再生することはできますが、録音・編集することはできなくなります。

14.1.5 パソコンからの取り外し

＜方法１＞

手順
1) パソコンの画面右下のタスクトレイにある「ハードウェアの(安全な)取り外し」を左クリックします。
2) 「ＵＳＢ大容量記憶装置デバイス・・の停止（停止します）」、「ＵＳＢ大容量記憶装置デバイス・・安全に取り外します」、「ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す」、などの表示を左クリックします。
3) 「ＵＳＢ大容量記憶装置デバイス・・安全に取り外すことができます」などと表示されたダイアログまたはバルーンを閉じます。
4) 本製品が再起動する前にＵＳＢケーブルを外します。

＜方法２＞

手順
1) パソコンを終了し、本製品の電源を切ります。
2) ＵＳＢケーブルを外します。

１４章２　ワイヤレスネットワーク経由で本製品とパソコンを接続する

本製品の「ネットワークフォルダ」機能を使うと、ワイヤレスネットワーク経由でパソコンと接続され、パソコンから本製品のＳＤカードまたは内蔵メモリのファイルを読み書きすることができます。

14.2.1 ネットワークフォルダ設定

ネットワークフォルダを利用するには、ネットワークフォルダの設定が必要です。「ネットワークフォルダ名」「ユーザーＩＤ」「パスワード」の3つの項目を、以下のようにして設定します。（既に設定がされている場合は、次の節をご覧ください。）

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］で決定します。	「メニュー」「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］で決定します。	「ネットワーク設定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ネットワークフォルダ設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］で決定します。	「ネットワークフォルダ設定」
4) ネットワークフォルダ名、ユーザーＩＤ、パスワードが音声でガイドされます。「変更しますか」という内容のガイドがありますの	「ネットワークフォルダ○○の設定を変更しますか？」

で、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] で決定します。	
5) ネットワークフォルダ名が音声でガイドされます。変更しない場合は、そのまま [下キー] を押して決定します。変更する場合は、新しいネットワークフォルダ名を１５文字以内で入力し、[下キー] で決定します。	「ネットワークフォルダ名の設定」
6) ユーザーＩＤが音声でガイドされます。変更する場合は、新しいユーザーＩＤを 32 文字以内で入力し、[下キー] で決定します。お好きなユーザーＩＤを入力してください。変更しない場合は、そのまま [下キー] で決定します。	「ユーザーＩＤの設定」
7) パスワードが音声でガイドされます。変更する場合は、新しいパスワードを 32 文字以内で入力し、[下キー] で決定します。お好きなパスワードを入力してください。変更しない場合は、そのまま [下キー] で決定します。設定が完了します。	「パスワードの入力」

＜ポイント＞

●工場出荷時のネットワークフォルダ名は「Link -（シリアル番号の末尾４桁）」になります。

●文字入力の方法は「１６章 文字の入力」180ページを参照してください。

●ネットワークフォルダ名には、アルファベット、数字と「ー」（マイナス）を使うことができます。また、必ずアルファベットを１文字以上使ってください。

●ユーザーＩＤには、アルファベット、数字、「ー」（マイナス）と「_」（アンダーライン）を使うことができます。また、必ずアルファベットを１文字以上使ってください。

●パスワードに使う文字の種類に制限はありません。

●Windows Vista、7 からアクセスする場合には、パソコン側の「LAN Manager 認証レベル」の設定を変更する必要があります。詳しくは「Plextalk Transfer」のヘルプから表示される取扱説明書を参照してください。

14.2.2 ネットワークフォルダを使ってパソコンと接続する

ネットワークフォルダ機能を使ってパソコンと接続するには、以下のように行います。

まず最初に、以下の方法でネットワークフォルダ機能を開始します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「メディア管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」
2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワークフォルダ」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。本製品がパソコンとの接続を開始します。接続が完了したらネットワークフォルダ名（サーバー名）が音声ガイドされます。	「ネットワークフォルダ」 「決定」 ・・・ 「接続しました。」 「サーバー名○○」

接続が完了したら、次はパソコンから以下のように操作します。

手順
1) 画面左下の「スタート」をクリックし、「ファイル名を指定して実行」をクリックします。または、[ウインドウズキー]を押しながら[Rキー]を押します。
2) キーボードから「￥￥ネットワークフォルダ名(サーバー名)」と入力し、Enter キーを押すと、内蔵メモリとＳＤカードがコンピュータに表示されます。ネットワークフォルダ名は上記の手順２で音声ガイドされたネットワークフォルダ名を入力してください。[５キー]を押すとネットワークフォルダ名を聴くことができます。
3) パソコンから本製品のＳＤカードまたは内蔵メモリの内容を読み書きすることができます。

ネットワークフォルダ機能を終了するには、本製品を以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ネットワークフォルダ機能の使用中に、[上キー] または [＊キー] を押します。	
2) ネットワークフォルダを終了しますか、という内容の音声ガイドがありますので、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押すと、ネットワークフォルダ機能が終了します。	「ネットワークフォルダを終了しますか？」

＜ポイント＞

●ネットワークフォルダ機能の使用中は、他のメニューを利用することはできません。他のメニューを利用するには、ネットワークフォルダ機能を終了させてください。

１５章 その他の機能

１５章１　お休みタイマー

設定した時間で電源を自動的にＯＦＦにします。お休み前に DAISY 図書などを聞きながら眠りたいときに設定しておくと便利です。お休みタイマーの時間は以下のように設定します。

手順	主な音声ガイド
1)　電源ＯＮの状態で［電源キー］を短く押します。１回押すと「１５分」に設定されます。	「お休みタイマー１５分」「設定しました」
2)　音声ガイドが流れている間に、もう１回押すと「３０分」に再設定されます。	「３０分」「設定しました」
3)　音声ガイドが流れている間に、[電源キー］を短く押していくと、「４５分」、「１時間」、「１時間３０分」、「２時間」、「ＯＦＦ」と再設定されます。	「○○分」 （または「○時間○○分」） 「設定しました」

＜ポイント＞

●設定後、［電源キー］を短く押すと、お休みタイマーの残り時間を確認することができます。

●設定後にお休みタイマーを取り消すには、「ＯＦＦ」に再設定します。

●お休みタイマーで設定した時間が経過すると、通常の電源 OFF になります。

１５章２　しおり

あとで読み返す際の目印として、好きなところに「しおり」を付けることができます。しおりには、以下の２種類があります。

しおりの種類	説明
しおり	1 から 65,000 までの番号を付けることができます。
音声しおり	しおりと一緒に音声を録音することができます。

＜ポイント＞

●メモ録とウェブラジオにはしおりをつけることはできません。

●しおりの数は、音声しおりも含めて本製品では合計 10,000 個まで付けることができます。これを超えた場合は、最近使われていないしおりから自動的に削除されます。

●しおりは本製品の内蔵メモリに記録するものです。見出し等のようにDAISY 図書のファイルに付けるものではありません。したがって、しおりは、ご利用の本製品でのみ使用できます。

●「全ての音楽」を選択してから曲にしおりを付けた場合、後からアルバムなどを追加すると、しおりは削除されます。

15.2.1 しおりを付ける

番号を指定してしおりを付けます。

例）「しおり１」を付けてみましょう。

手順	主な音声ガイド
1） しおりを付けたい場所に移動します。	
2） ［しおりキー］を２回押します。	「設定するしおり番号を入力」「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、録音キーで音声しおりの録音準備、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
3） しおりの番号の［１キー］を押します。	「１」
4） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「しおり１ 設定しました」

＜ポイント＞

●手順３を省略して手順４を行うと、現在使われていない番号のうちの最も小さな番号が自動的に割り付けられます。また、手順３で番号「０」を入力した場合も、自動的に番号が割り付けられます。

●しおりの番号はタイトルごとに付けられます。

15.2.2 音声しおりを付ける

しおりに音声でメモを付けたいときに使います。

例）３番のしおりに「先生に質問」という声のメモを付けるには、以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) しおりを付けたい場所に移動します。	
2) ［しおりキー］を２回押します。	「設定するしおり番号を入力」「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、録音キーで音声しおりの録音準備、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
3) しおりの番号の［３キー］を押します。	「３」
4) ［録音キー］を押し、録音準備状態にします。	「決定」「録音キーを押している間、録音されます」「音量確認」
5) ［録音キー］を押し続けながら、メモの内容を録音します。「先生に質問」と言ってから指を離します。	「しおり３ 設定しました」
6) 録音した内容が再生されます。	「先生に質問」

＜ポイント＞

●１つの音声しおりに録音できる時間は１分以内です。

●音声しおりの合計録音時間は３０分です。合計時間を超えた場合は、最近使われていない音声しおりから自動的に削除されます。

●録音準備中に情報キー(数字の[５キー])を何回か押すと録音可能時間がガイドされます。

●音声しおりの録音音質は MP3 32k モノラルです。変更することはできません。

●音声しおりが付けられたタイトルを再生すると、音声しおりが付けられた場所に来た際に、音声しおりが自動再生されます。音声しおりの自動再生を停止するには「15.2.7 音声しおり再生設定」174ページを参照してください。

●弊社製品ＰＴＲ２のようにメモリ配分を設定する必要はありません。

15.2.3 番号でしおりに移動する

例） 3番のしおりに移動するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1） ［しおりキー］を1回押します。	「移動先のしおり番号を入力」「再生停止キーまたは下キーまたは＃キーで決定、上キーまたはアスタリスクキーでキャンセル」
2） しおりの番号の［3キー］を押します。	「3」
3） ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。しおり3 の位置から再生されます。	「決定」 「しおり3」

15.2.4 前後のしおりに移動する

手順	主な音声ガイド
1） ［上キー］または［下キー］を何回か押して、「しおり」を選択します。	「レベル1」「レベル2」・・・「しおり」
2） ［右キー］を押すと次の番号のしおりに移動し、［左キー］を押すと前の番号のしおりに戻ります。	「しおり○」

＜ポイント＞

●しおりをひとつも付けていないと、手順1で「しおり」を選択することはできません。

●音声しおりの移動方法も同じです。

15.2.5 しおりを削除する

しおりを削除するには以下のように行います。音声しおりも削除の方法は同じです。たとえば、４番のしおりを削除するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ［しおりキー］を３回押します。	「削除するしおり番号を入力」
2) しおりの番号の［４キー］を押します。	「４」
3) ［再生･停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「しおり４削除しました」

15.2.6 選択中タイトルのしおりを削除

現在聞いているタイトルに付けたしおりを、まとめて削除できます。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「しおり」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「しおり」 「決定」「項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「選択中タイトルのしおりを削除」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「選択中タイトルのしおりを削除」 「決定」 「選択中タイトルのしおりを削除しますか？」
3) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

15.2.7 音声しおり再生設定

再生中に、音声しおりを「再生する」「再生しない」の切り替えができます。
工場出荷時には「再生する」に設定されています。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「しおり」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「しおり」 「決定」「項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「音声しおり再生設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「音声しおり再生設定」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で「再生する」または「再生しない」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「再生する」「再生しない」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞
- 「再生しない」に設定しても、［右キー］または［左キー］でのしおり移動や、番号指定でしおりに移動した際には、音声しおりは再生されます。

１５章３　キー説明

［メニューキー］の長押しで、キーの名称と説明を音声ガイドします。

手順	主な音声ガイド
1）［メニューキー］を５秒以上長く押すとキー説明モードに入ります。	「キー説明開始」
2）説明を聞きたいキーを短く押すと、そのキーに関する説明がガイドされます。	・・・
3）［メニューキー］を５秒以上長く押すと、キー説明が終了します。	「キー説明終了」

＜ポイント＞
●キー説明の最中に［電源キー］を押すと、［電源キー］についての説明が音声ガイドされるだけで、電源は切れません。電源を切る場合は、キー説明を終了してから電源を切ってください。

１５章４　キーロック

本体右側面にあるキーロックスイッチを上方向にスライドさせると、キーロックが有効になります。キーロックは本製品を持ち運ぶ際にキーが誤って押されても動作しないようするために使用します。キーロックスイッチを下方向にスライドさせるとキーロックが無効になります。

＜ポイント＞
●電源をＯＮ／ＯＦＦする際にはキーロックを無効にしてください。
●再生中や録音中でもキーをロックすることができます。

１５章５　ヘルプを聞く

本取扱説明書の内容を音声ガイドで聞くことができます。

手順	主な音声ガイド
1）［0キー］を押します。	「ヘルプ開始」
2）本取扱説明書の内容を聞くことができます。再生方法は DAISY 図書と同じです。	
3）もう一度［0キー］を押すと「取扱説明書 サピエ編」の内容を聞くことができます。	
4）さらに[0キー］を押すとヘルプが終了します。	「ヘルプ終了」

１５章６　情報を聞く

15.6.1 再生中・停止中に情報を聞く

ＳＤカード等に保存されている DAISY 図書等に関する情報を音声ガイドで聞くことができます。

手順	主な音声ガイド
1) 再生中または停止中に［情報キー］(数字の[５キー]) を押します。下の表に示された情報が順番にガイドされます。	(電源情報) ・・・
2) ［５キー］を押すごとに、次の内容にスキップできます。	

音声ガイドされる情報内容一覧

状態	情報の内容（ガイド順）
(音声)DAISY 図書 録音した DAISY DAISY 編集モード	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→経過時間→ページ→見出し→しおり→タイトル→録音された日時→シャッフル・リピート設定→バージョン・シリアル番号
テキスト DAISY	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→ページ→見出し→しおり→タイトル→更新された日時→シャッフル・リピート設定→バージョン・シリアル番号
音楽	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→時間→トラック→アルバム→しおり→タイトル(音楽)→シャッフル・リピート設定→バージョン・シリアル番号

状態	情報の内容（ガイド順）
テキストファイル	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→進捗→しおり→タイトル→更新された日時→シャッフル・リピート設定→バージョン・シリアル番号
オーディオブック	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→時間→見出し→しおり→タイトル→シャッフル・リピート設定→バージョン・シリアル番号
ポッドキャスト	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→時間→エピソード→しおり→タイトル→シャッフル・リピート設定→バージョン・シリアル番号
メモ録	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→メモ録→メモ録時間→録音された日時→バージョン・シリアル番号
ヘルプ	電源→ネットワーク情報→ダウンロード情報→ページ→見出し→しおり→シャッフル・リピート設定→バージョン・シリアル番号

15.6.2 録音時に情報を聞く

録音中などにも DAISY 図書に関する情報を音声ガイドで聞くことができます。方法は前ページと同様に[情報キー]（数字の[５キー]）を押します。

状態	情報の内容（ガイド順）
録音準備中	電源→録音(録音可能時間など)→タイトル→録音設定
録音中	電源→録音(録音経過時間、録音可能時間など)
録音ポーズ中	電源→録音(録音経過時間、録音可能時間など)→録音設定

＜ポイント＞
●情報を聞くことを途中で止めたい場合は［上キー］を押してください。

15.6.3 現在の日時を確認する

現在の日時を確認するには以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
［情報キー］（数字の[５キー]）を長く（１秒以上)押しします。	「午前（午後）・・時・・分」「・・年・・月・・日」

＜ポイント＞
●現在の日時を設定する方法は、「17.4.5 時計設定」213ページを参照してください。
●[情報キー］を短く押すと、電源情報などをガイドします。

１６章 文字の入力

数字キーに、文字や数字が割り当てられていますので、数字キーを使って文字を入力することができます。

１６章１ 入力モードの選択

入力する文字の種類に応じた「入力モード」を選択することができます。
[しおりキー] を押すたびに、入力モードが切り替わります。

入力モード	入力できる文字
かな文字入力	ひらがな、記号、数字
ＡＢＣ入力	アルファベット、記号、数字
数字入力	数字
記号一覧	記号

＜ポイント＞
●メニュー内で、数字だけしか入力できないような場合は、[しおりキー] を押しても、他の入力モードには切り替わりません。
●カタカナや漢字を入力することはできません。

１６章２ キーの割り当て

入力モードごとに、数字キーに割り当てられた文字が異なります。

＜かな文字入力の場合＞

各数字キーに複数の文字や記号が割り当てられており、押すたびに次の文字になります。

数字キー	割り当てられる文字や記号など
１キー	あ い う え お ぁ ぃ ぅ ぇ ぉ 1
２キー	か き く け こ が ぎ ぐ げ ご 2
３キー	さ し す せ そ ざ じ ず ぜ ぞ 3
４キー	た ち つ て と っ だ ぢ づ で ど 4
５キー	な に ぬ ね の 5
６キー	は ひ ふ へ ほ ば び ぶ べ ぼ ぱ ぴ ぷ ぺ ぽ 6
７キー	ま み む め も 7
８キー	や ゆ よ ゃ ゅ ょ 8
９キー	ら り る れ ろ 9
０キー	わ を ん ゎ ー(長音) “ ”(スペース) ／(スラッシュ) ！(感嘆符) 、(読点) 。(句点) ・(中点) ？(疑問符) 「(かぎ) 」(かぎとじ) 0
＊キー	入力文字がある場合 短押し：前の１文字を削除 長押し：全文字削除 入力文字が無い場合 短押し：キャンセル(前のメニューへ) 長押し：キャンセル(メニュー終了)
＃キー	決定(次のメニューへ)

＜ポイント＞
●カタカナや漢字を入力することはできません。

＜ＡＢＣ入力の場合＞
各数字キーに複数のアルファベットや記号が割り当てられており、押すたびに次の文字になります。ひとつの数字キーに割り当てられている文字は、小文字、大文字、数字の順番に現れます。

数字キー	割り当てられる文字や記号など
１キー	"/"(スラッシュ), "."(ピリオド), "@" (アットマーク), "~" (オーバーライン), "-" (マイナス) , ":" (コロン) , "_" (アンダーライン) , "[" (角カッコ) , "¥" (円マーク) , "]"(角カッコ閉じ) , "^"(べき乗) , "`"(バッククオート) , "{"(中カッコ) , "｜"(縦線) , "}" (中カッコ閉じ) , "1"
２キー	a, b, c, A, B, C, 2
３キー	d, e, f, D, E, F, 3
４キー	g, h, i, G, H, I, 4
５キー	j, k, l, J, K, L, 5
６キー	m, n, o, M, N, O, 6
７キー	p, q, r, s, P, Q, R, S, 7
８キー	t, u, v, T, U, V, 8
９キー	w, x, y, z, W, X, Y, Z, 9
０キー	"Space"(スペース), "!"(感嘆符), "〃"(ダブルクオート), "#" (シャープ), "$"(ドル), "%"(パーセント), "&"(アンド), "’ "(クオート), "(" (カッコ), ")"(カッコ閉じ), "*"(アスタリスク), "+" (プラス), ","(カンマ), ";" (セミコロン), "<"(小なり), "="(イコール), ">"(大なり), "?"(疑問符), "0"(ゼロ)
＊キー	入力文字がある場合 　短押し：前の１文字を削除

	長押し：全文字削除 入力文字が無い場合 短押し：キャンセル(前のメニューへ) 長押し：キャンセル(メニュー終了)
＃キー	決定(次のメニューへ)

＜数字入力の場合＞

数字キー	割り当てられる数字など
1キー	1
2キー	2
3キー	3
4キー	4
5キー	5
6キー	6
7キー	7
8キー	8
9キー	9
0キー	0
＊キー	入力文字がある場合 短押し：前の1文字を削除 長押し：全文字削除 入力文字が無い場合 短押し：キャンセル(前のメニューへ) 長押し：キャンセル(メニュー終了)
＃キー	決定(次のメニューへ)

＜ポイント＞

●同じキーに割り当てられた数字を連続して入力するときは、該当するキーを連続して押します。

＜記号一覧の場合＞

２キー、４キー、６キー、８キーを使って次の表の中の記号を選び、[＃キー]で確定します。表の左上(ピリオド)からスタートし、右方向へ移動するには６キーを押します。左へは４キーを、上へは２キーを、下へは８キーを押して移動します。[＃キー]を押すと入力が確定します。同じ記号を連続して入力したい場合は[＃キー] を連続して押します。

．	，	’	”	：	；	？	｜
＋	－	＝	／	￥	＿	［	］
！	＠	＃	＄	％	｀	｛	｝
＾	＆	＊	（	）	～	＜	＞

[＊キー] を押すと、前の１文字を削除します。長く押すと全文字削除します。[＃キー]でメニューの決定を行ったり、[＊キー]でメニューのキャンセルを行ったりすることはできません。メニューの決定やキャンセルを行う場合は、「かな文字入力」または「ＡＢＣ入力」または「数字入力」に変更してから行ってください。

16.3.1 文字の確定

かな文字入力、ＡＢＣ入力、数字入力の場合、文字を入力した後に[右キー]や他の[テンキー]を押すことで文字を確定することができます。記号一覧の場合、[＃キー]を押すことで文字を確定することができます。

＜ポイント＞
●同じキーに割り当てられた文字を入力するときは、[右キー] を押した後に次の文字を入力します。たとえば、「あい」 と入力するには、［1キー］を１回押して「あ」を入力し、そして [右キー] を押してから、[1キー]を２回押して「い」を入力してください。

16.3.2 入力した文字の確認

入力した文字を確認したい時は、[再生・停止キー]を押します。入力した文字が最初から再生されます。

16.3.3 入力位置の移動と文字の消去

１文字戻る
１文字戻るには左キーを押します。

１文字進む
１文字進むには右キーを押します。

先頭に移動する
先頭に移動するには左キーを長押しします。

最後に移動する

最後に移動するには右キーを長押しします。

前の文字を削除

入力文字がある場合、前の文字を削除するには[＊キー]を押します。

すべての文字を削除

入力文字がある場合、すべての文字を削除するには[＊キー]を長く押します。

＜ポイント＞

●入力文字が無い場合に、[＊キー]を押すと現在のメニューがキャンセルされ、前のメニューへ戻ります。また、入力文字が無い場合に、[＊キー]を長く押すとメニュー全体がキャンセルされ、メニューが終了します。

●[右キー] または [左キー] で、現在の位置を移動させて文字を入力する場合、現在の位置（移動して読み上げた文字）の直前に文字が入力されます。

16.3.4 入力操作の例

まず、しおりキーを押して、入力モードを選択します。次に、以下の例のように操作します。

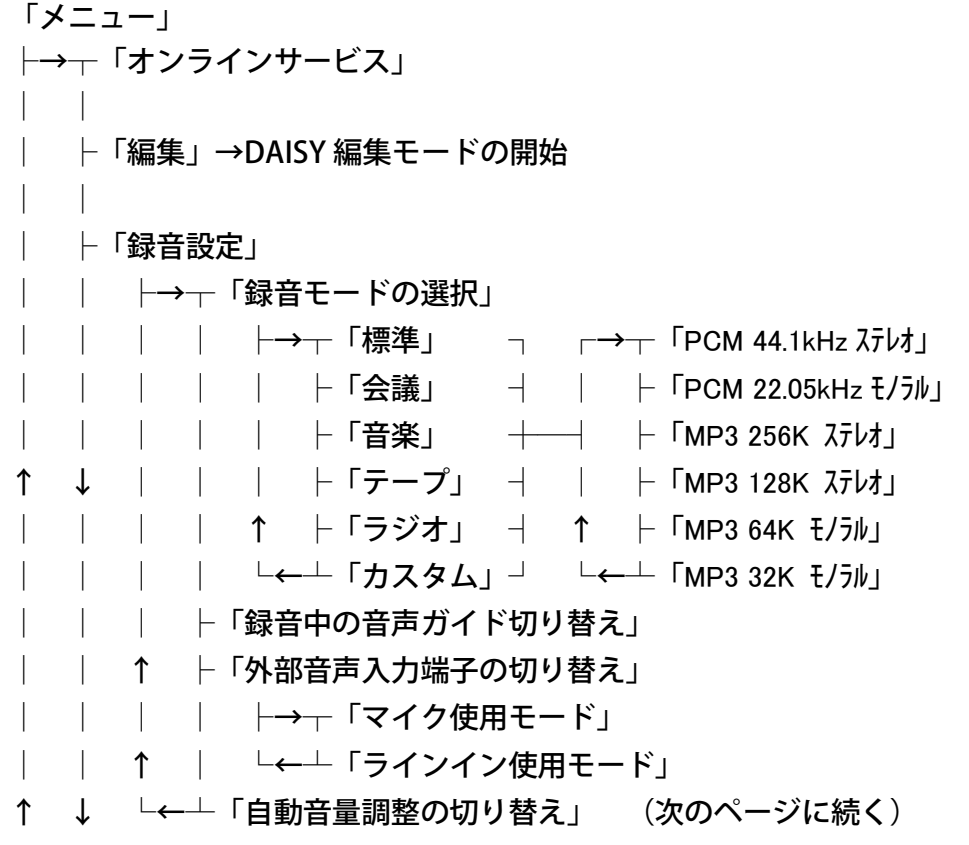
入力例	入力方法
かき	かな文字入力で、[２キー]を１回押し、右キーを押し、[２キー]を２回押し、下キーを押すと確定します。
We	ABC 入力で、[９キー]を５回押し、[３キー]を２回押し、下キーを押すと確定します。
7	数字入力で、[７キー]を１回押し、下キーを押すと確定します。
「１２」の１と２の間に３を入れる	「1」「2」と入力し、[左キー]を１回押して戻ります。「2」と音声ガイドがありますので、「3」と入力します。再生停止キーを押すと「１３２」と再生されます。

１７章 メニュー項目

本章ではメニューキーを押すと利用可能になる様々なメニューについて説明します。

１７章１ メニュー階層一覧

ここでは、メニューの階層を一覧形式で紹介します。
※メディアやタイトルによっては選択できないメニューがあります。



（次のページに続く）

（前のページからの続き）

- 「再生設定」
  - 「シャッフル・リピート設定」
    - 「通常再生」
      - 「タイトルリピート」（DAISY、テキスト、オーディオブック）
      - 「トラックリピート」（音楽）
      - 「アルバムリピート」（音楽）
      - 「オールアルバムリピート」（音楽）
      - 「シャッフルリピート」（音楽）
  - 「音声ファイル名読上げの設定」
    - 「読み上げる」
    - 「読み上げない」
  - 「マルチメディア DAISY 再生設定」
    - 「音声」
    - 「テキスト」
  - 「飛ばし読み」
    - 「ページ番号、注釈、注釈の注番号、アノテーション、行番号、サイドバー、制作者注」
- 「しおり」
  - 「音声しおり再生設定」
  - 「選択中タイトルのしおりを削除」
- 「メモ録」
  - 「選択中のメモ録を削除」
  - 「全てのメモ録を削除」

（次のページに続く）

（前のページからの続き）

```
|    ├「ポッドキャスト」
|    |    ├→┬「エピソード一覧の更新」
|    |    └←┴「新しいエピソードをまとめてダウンロード」
|    |
|    ├「メディア管理」
↑    ↓    ├→┬「メディア、タイトル情報」
|    |    |    ├「ＳＤカード内容全消去」
|    |    |    ├「内蔵メモリ内容全消去」
|    |    |    ├「新規タイトル作成」
|    |    |    ├「タイトル（アルバム、全メモ録）削除」
|    |    |    ├「ファイル削除」
|    |    |    ├「編集準備」
|    |    ↑    ├「ビルドブック」
|    |    └←┴「ネットワークフォルダ」
↑    |
|    ├「管理」
|    |    ├→┬「プレクストークの情報」
|    |    |    ├「テキスト読み上げ音声の選択」
|    |    |    ├「待ち受け音の選択」
|    |    |    ├「キー受付音の選択」
|    |    |    ├「時計設定」
|    |    |    ├「ＵＳＢ動作の切替え」
|    |    |    ├「テキスト読み上げの設定」
|    |    |    ├「ネットワーク設定」
|    |    |    |    ├→┬「ネットワーク情報確認」
|    |    |    |    |    ├「ネットワーク設定の読み込み」
```

（次のページに続く）

（前のページからの続き）

```
|  |  |  |  |  ├「ネットワーク設定の保存」
|  |  |  |  |  ├「ネットワークの電源ＯＮ／ＯＦＦ」
|  |  |  |  |  ├「ワイヤレスネットワーク接続設定」
|  |  |  |  ↑  ├「ネットワークフォルダ設定」
|  |  |  |  └←┴「ネットワーク設定の初期化」
|  |  |  ├「オンラインサービス設定」
|  |  ↑  ├「ネットワークバージョンアップ」
|  |  └←┴「設定を初期化」
|  |
└←┴「ネット閲覧室／お知らせ」
      ├→┬「ネット閲覧室の全更新」
      ↑  ├「オンラインサービスを選んでネット閲覧室の更新」
      └←┴「お知らせ更新」
```

＜DAISY 編集モードの場合＞

```
「メニュー」
├→┬「編集」
|  |  ├→┬「見出し設定」
|  |  |  ├「見出し取り消し」
↑  ↓  |  ├「セクション削除」
|  |  └←┴「DAISY 編集の終了」
|  |
|  ├「録音設定」
|  |  ├→┬「録音モードの選択」
|  |  |  |  ├→┬「標準」      ┐  ┌→┬「PCM 44.1kHz ｽﾃﾚｵ」
|  |  |  |  |  ├「会議」      ┤  |  ├「PCM 22.05kHz ﾓﾉﾗﾙ」
|  |  |  |  |  ├「音楽」      ┼──┤  ├「MP3 256K ｽﾃﾚｵ」
```

（次のページに続く）

（前のページからの続き）

↑　↓　｜　｜　｜　├「テープ」　┤　｜　├「MP3 128K ｽﾃﾚｵ」
｜　｜　｜　｜　↑　├「ラジオ」　┤　↑　├「MP3 64K ﾓﾉﾗﾙ」
｜　｜　｜　｜　└←┴「カスタム」┘　└←┴「MP3 32K ﾓﾉﾗﾙ」
｜　｜　｜　├「録音中の音声ガイド切り替え」
｜　｜　↑　├「外部音声入力端子の切り替え」
｜　｜　｜　｜　├→┬「マイク使用モード」
｜　｜　↑　｜　└←┴「ラインイン使用モード」
↑　↓　└←┴「自動音量調整の切り替え」
｜　｜
｜　├「しおり」
｜　｜　├→┬「音声しおり再生設定」
｜　｜　└←┴「選択中タイトルのしおりを削除」
｜　｜
└←┴「メディア管理」
　　├→┬「メディア、タイトル情報」
　　｜　├「新規タイトル作成」
　　↑　├「タイトル（アルバム、全メモ録）削除」
　　└←┴「ビルドブック」

１７章２　再生設定

17.2.1 シャッフル・リピート設定

タイトルを繰り返して聴くなどの設定ができます。

＜設定の種類＞

以下のような設定があります。

再生方法	設定可能な カテゴリー	概要
通常再生	全カテゴリー	通常の再生を行います。 （工場出荷時の設定）
タイトルリピート	DAISY 図書 録音した DAISY テキスト オーディオブック	選択されたタイトルを繰り返し再生します。
トラックリピート	音楽	選択されたトラック（曲）を繰り返し再生します。
アルバムリピート	音楽	選択されたアルバムを繰り返し再生します。
オールアルバム リピート	音楽	選択した再生範囲の全てのアルバムを繰り返し再生します。
シャッフル リピート	音楽	選択した再生範囲のトラックをシャッフルして再生します。

＜設定の方法＞

例）再生設定を「タイトルリピート」にするには以下のように設定します。

手順	主な音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「再生設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「再生設定」 「決定」 「設定項目を選択」
2）［右キー］または［左キー］で「シャッフル・リピート設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「シャッフル・リピート設定」 「決定」 「再生方法を選択」
3）［右キー］または［左キー］で「タイトルリピート」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「タイトルリピート」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

●カテゴリーごとに別々の設定をすることができます。

●現在の再生設定は［情報キー］（数字の［５キー］）で確認できます。

●音楽ＣＤを再生する場合、「オールアルバムリピート」はありません。

●メニューに入った後、［上キー］を１回押すとひとつ前の操作に戻ることができます。［上キー］を長く押すか、または［メニューキー］を押すと、メニューを抜けることができます。

●「再生範囲」については「５章３　音楽の再生範囲を選ぶ」74ページを参照してください。

17.2.2 音声ファイル名読み上げの設定

音楽再生時にアルバムやトラックで移動する際、アルバム名（フォルダ名）やトラック名（ファイル名）をガイドするか、アルバム番号やトラック番号をガイドするかを選択することができます。「読み上げる」を選択すると、アルバムやトラックの名前をガイドし、「読み上げない」を選択すると、アルバムやトラックの番号をガイドします。

手順	主な音声ガイド
1) ［タイトルキー］で音楽を選択します。	
2) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「再生設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「再生設定」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で「音声ファイル名読み上げの設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「音声ファイル名読み上げの設定」 「決定」
4) ［右キー］または［左キー］で「読み上げる」または「読み上げない」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「読み上げる」または「読み上げない」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●工場出荷時は「読み上げる」に設定されています。

●DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

17.2.3 マルチメディアＤＡＩＳＹ再生設定

音声とテキストが両方含まれている DAISY 図書を「マルチメディア DAISY」と呼びます。本製品ではマルチメディア DAISY の音声とテキストのどちらを再生するかを設定することができます。

手順	主な音声ガイド
1） マルチメディア DAISY を選択します。	
2） ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「再生設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「再生設定」 「決定」
3） ［右キー］または［左キー］で「マルチメディア DAISY 再生設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「マルチメディア DAISY 再生設定」 「決定」
4） ［右キー］または［左キー］で「音声」または「テキスト」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「音声」または「テキスト」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●手順１でマルチメディア DAISY を選択しないと、この設定を変更することはできません。

●工場出荷時の設定は「音声」です。

●DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

17.2.4 飛ばし読み

「飛ばし読み」ができるように制作された DAISY 図書を再生する際、各種の注釈に対して、「再生する／飛ばし読みする」の設定をすることができます。工場出荷時の設定は、すべての項目に対して「再生する」に設定されています。
「飛ばし読み」の設定がされている DAISY 図書のみに利用することができます。

＜設定する項目と内容＞
・ページ番号：本文中に収録されているページ番号を表します。
・行番号：本文に添えられている行番号を表します。
・注釈の注番号：説明が必要な語句に対して付けられた注番号を表します。語句の右肩に付けられた数字や米印などのことです。
・注釈：注番号が付けられた語句に対する説明文を表します。
・サイドバー：見開きのページの左側または右側に書かれている補足説明の文を表します。
・アノテーション：「注釈」と「サイドバー」に分類できない注や説明文を表します。
・制作者注：DAISY 図書の制作者が付けた説明文を表します。

＜設定の順番＞
「ページ番号」、「注釈」、「注釈の注番号」、「アノテーション」、「行番号」、「サイドバー」、「制作者注」の順番で設定します。

＜メニュー内での位置＞
「飛ばし読み」は、「再生設定」の中の一番最後の項目になります。

＜ポイント＞
「飛ばし読み」は「スキッパブル」とも呼ばれています。

＜設定の方法＞

手順	音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「再生設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニューを選択」 「再生設定」 「決定」
2) ［右キー］または［左キー］で「飛ばし読み」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「飛ばし読み」 「決定」
3) 最初の項目の「ページ番号」に対して、［右キー］または［左キー］で、「再生する」または「飛ばし読みする」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ページ番号の飛ばし読み方法を選択」 「再生する」または 「飛ばし読みする」 「決定」
4) ２番目の項目の「注釈」から最後の項目の「制作者注」までに対して、手順３と同様に設定します。最後の「制作者注」を設定し終わると、すべての項目の設定が完了します。	・・・「制作者注の飛ばし読み方法を選択」 「再生する」または 「飛ばし読みする」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

１７章３　メディア管理

17.3.1 メディア、タイトル情報

選択中のメディアやタイトルに関する情報を音声でガイドします。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「メディア管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「メディア、タイトル情報」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。 メディアの種類、メディアの空き容量、メディアの使用容量、メディアの総容量、タイトル情報、タイトルの詳細な情報、タイトルの使用容量などが繰り返しガイドされます。	「メディア、タイトル情報」 「決定」 「メディア情報」 ・・・
3) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］で終了します。	

＜ポイント＞
●メディアによって音声ガイドされる内容が異なります。

17.3.2 ＳＤカード内容全消去

ＳＤカードは、カード内容全消去（フォーマット）を行うことで新しいカードとして使用できます。カード内容の全消去を行うには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) 電源を切り、ＳＤカードを本製品にセットします。	
2) ＤＣ入力端子に、付属の電源アダプターを接続して電源を入れます。	
3) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「メディア管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
4) ［右キー］または［左キー］で「ＳＤカード内容全消去」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ＳＤカード内容全消去」 「決定」 「ＳＤカード内容全消去を実行しますか？」
5) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」・・・ 「実行しました」

＜注意＞

●ＳＤカード内容全消去中は絶対に電源を切らないでください。電源を切ると、そのＳＤカードが使用できなくなる場合があります。

＜ポイント＞

●ＵＳＢ機器のメディアの内容全消去はできません。

●ＳＤカード内容全消去を行うと全てのデータが消去されます。必要なデータは必ず別のカード等に保存（バックアップ）してからカード内容全消去を行ってください。

●カード内容全消去には長時間が必要となる場合がありますので、必ず電源アダプターを接続して行ってください。

●ＳＤカードの書き込み禁止スイッチが禁止側になっているとカード内容全消去を実行できません。書き込み禁止スイッチを解除側にしてください。詳しくは「4.1.6 書き込み禁止スイッチ」58ページを参照してください。

●DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

17.3.3. 内蔵メモリ内容全消去

内蔵メモリ内容全消去を行うには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「メディア管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「内蔵メモリ内容全消去」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「内蔵メモリ内容全消去」 「決定」 「内蔵メモリ内容全消去を実行しますか？」
3) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「決定」・・・ 「実行しました」

＜注意＞

●内蔵メモリ内容全消去中は絶対に電源を切らないでください。電源を切ると本製品が故障する場合があります。

＜ポイント＞

●内蔵メモリ内容全消去を行うと全てのデータが消去されます。必要なデータは必ずＳＤカード等に保存（バックアップ）してから内蔵メモリ内容全消去を行ってください。

●内蔵メモリ内容全消去には長時間が必要となる場合がありますので、必ず電源アダプターを接続して行ってください。

●DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

17.3.4 新規タイトル作成

新規タイトルを作成するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ［タイトルキー］でＳＤカードまたは内蔵メモリを選択します。	「ＳＤカード」または「内蔵メモリ」
2) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「メディア管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) ［右キー］または［左キー］で「新規タイトル作成」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「新規タイトル作成」 「新規タイトルをＳＤカード（内蔵メモリ）に作成しますか？」
4) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「DAISY 編集モードを開始します。しばらくお待ちください。」・・・ 「DAISY 編集モード」 「新規タイトルをＳＤカード(内蔵メモリ)に作成しました」

＜ポイント＞

●新規タイトルを作成すると自動的にDAISY編集モードに入ります。DAISY編集モードに関しては「９章　ＤＡＩＳＹ編集モード」113ページを参照してください。

●録音準備中にも新規タイトルを作成することができます。詳しくは「10.1.2 録音準備中に新規タイトルを作成する」119ページを参照してください。

17.3.5 タイトル削除

選択中のタイトルを削除するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) 削除したいタイトルに移動します。	
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「タイトル削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「タイトル削除」 「決定」 「選択中のタイトルを削除しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

＜ポイント＞

●音楽を選択している場合は「アルバム削除」になります。

●メモ録を選択している場合はすべてのメモ録が削除されます。

●ＵＳＢ接続のＣＤドライブ内のＣＤのタイトルを削除することはできません。

●ウェブラジオはタイトル削除できません。

●ネット閲覧室のタイトルを削除する方法は、「取扱説明書 サピエ編 ４章７」を参照してください。

●お知らせを削除する方法は、「取扱説明書 サピエ編 ５章３」を参照してください。

17.3.6 ファイル削除

選択中のファイルを削除するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) 削除したい音楽の曲またはオーディオブックまたはポッドキャストのエピソードに移動します。	
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「ファイル削除」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ファイル削除」 「決定」 「選択中のファイルを削除しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「決定」 「削除しました」

＜ポイント＞

●ファイル削除ができるのは「音楽」と「オーディオブック」と「ポッドキャスト」のみです。

●DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

17.3.7 編集準備

編集準備をすると、DAISY 図書のタイトルへ追加録音や、見出しの設定、取り消しなどの編集を行えるようになります。

手順	主な音声ガイド
1) 編集準備をするタイトルに移動します。	
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「編集準備」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「編集準備」 「決定」 「編集準備を実行しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。自動的に DAISY 編集モードになり、編集準備が実行されます。	「決定」 「DAISY 編集モードを開始します。しばらくお待ちください。」 ・・・ 「DAISY 編集モード」 「編集準備が完了しました」

＜ポイント＞

●編集準備には長時間かかる場合があります。

●編集準備の実行中に［上キー］を押すと編集準備がキャンセルされます。

●編集準備の実行中に［上キー］以外のキーを押すと「○○%完了、残り○○時間○○分」と進捗状況がガイドされます。

●編集準備は、Daisy2.02 規格のタイトルに対してのみ実行可能です。

●著作権で保護された DAISY 図書は編集準備できません。

●テキスト DAISY は編集準備できません。

●本製品で録音した DAISY 図書のタイトルに対しては、編集準備をする必要はありません。ただし、ビルドブックをしたタイトルを編集する場合は編集準備をする必要があります。

●ＵＳＢ機器に収録されているタイトルに対して、編集準備を行うことはできません。

●「DAISY 図書」のカテゴリーに属するタイトルを編集準備しても、「録音した DAISY」のカテゴリーに移動することはありません。

●DAISY編集モード中は本メニューを利用することはできません。他のタイトルを編集準備したい場合は、タイトルキーを押してDAISY編集モードを終了してから他のタイトルを選択してください。DAISY編集モードの終了については「９章３　ＤＡＩＳＹ編集モードの終了」115ページを参照してください。

17.3.8 ビルドブック

本製品で録音した図書を、他社製の DAISY 再生ソフトで取り扱う場合には、ビルドブックが必要になります。ビルドブックを行うことで、Daisy2.02 形式のファイルが作られます。

手順	主な音声ガイド
1) ビルドブックをするタイトルに移動します。	
2) [メニューキー]を押し、[右キー] または [左キー] で「メディア管理」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「メニュー」 「メディア管理」 「決定」 「管理項目を選択」
3) [右キー] または [左キー] で「ビルドブック」を選択し、[再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。	「ビルドブック」 「決定」「ビルドブックを実行しますか？」
4) [再生・停止キー] または [下キー] または [＃キー] を押して決定します。ビルドブックが実行されます。 DAISY 編集モードに入っている場合は、自動的に DAISY 編集モードが終了します。	「決定」・・・ 「実行しました」 （DAISY 編集モード時） 「DAISY 編集モードを終了します。しばらくお待ちください。」・・・「DAISY 編集モードを終了しました。」

＜ポイント＞

●本製品で新規タイトル作成されたタイトル、または編集準備されたタイトルに対してのみビルドブックが可能です。

●ビルドブックした図書には追加録音や編集ができません。その図書に追加録音や編集をしたい場合は「編集準備」を行ってください。編集準備については、「17.3.7 編集準備」205ページを参照してください。

●ビルドブックには長時間かかる場合があります。

●ビルドブックの実行中に［上キー］を押すとビルドブックがキャンセルされます。

●ビルドブックの実行中に［上キー］以外のキーを押すと「○○%完了、残り○○時間○○分」と進捗状況がガイドされます。

●ＵＳＢ機器に収録されているタイトルに対して、ビルドブックを行うことはできません。

●「録音したDAISY」のカテゴリーに属するタイトルをビルドブックしても、「DAISY図書」のカテゴリーに移動することはありません。

●マルチメディア規格のタイトルをビルドブックすると音声DAISY規格のタイトルになります。

１７章４　管理

※DAISY 編集モードに入っている場合、本メニューを利用することはできません。

17.4.1 プレクストークの情報

本製品のバージョン番号とシリアル番号（製造番号）を確認することができます。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「プレクストークの情報」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。 「プレクストークバージョン」「シリアル番号」が繰り返してガイドされます。	「プレクストークの情報」 「決定」 「プレクストークリンクポケット」 「プレクストークバージョン・・・」 「シリアル番号・・・」
3) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押すと本メニューが終了します。	

17.4.2 テキスト読み上げ音声の選択

本製品には日本語と英語の合成音声が搭載されており、テキストを再生する際に、合成音声を用いてテキストを読み上げます。日本語と英語の合成音声を切替えるには、以下の方法で切替えます。工場出荷時の設定は「日本語」です。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「テキスト読み上げ音声の選択」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「テキスト読み上げ音声の選択」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で、日本語または英語を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。 言語を変更すると再起動します。	「日本語、サヤカ」または「English ジュリー」 「決定」 「設定しました」

17.4.3 待ち受け音の選択

各種処理を実行している間に流れる音楽を「待ち受け音１」「待ち受け音２」「待ち受け音なし」から選択することができます。工場出荷時は、「待ち受け音１」に設定されています。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「待ち受け音の選択」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「待ち受け音の選択」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で「待ち受け音１」「待ち受け音２」「待ち受け音なし」から選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「待ち受け音１」 「決定」 「設定しました」

17.4.4 キー受付音の選択

キーを押した時に鳴る音（キー受付音）を消すことができます。工場出荷時は、キー受付音が鳴るように設定されています。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「キー受付音の選択」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「キー受付音の選択」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で「キー受付音」または「キー受付音なし」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。 設定を変更すると再起動します。	「キー受付音」または「キー受付音なし」 「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●間違った操作をした時に鳴る音や、本製品が操作を待ち受けている時に鳴る音、本製品が処理を実行している時に鳴る音などを消すことはできません。

17.4.5 時計設定

例）時計を２０１１年9月１３日午後3時１０分に設定する場合には以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1）［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2）［右キー］または［左キー］で「時計設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「時計設定」 「決定」 「年を入力」
3）［２キー］、［０キー］、［１キー］、［１キー］と押し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「２」「０」「１」「１」 「決定」 「月を入力」
4）［９キー］と押し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「９」 「決定」 「日を入力」
5）［１キー］、［３キー］を押し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「１」「３」 「決定」 「時刻を４桁で入力」 「左または右キーで午前午後を変更」
6）［右キー］または［左キー］で「午後」を選択します。	「午後」

7) ［3キー］、［1キー］、［0キー］と押し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「3」「1」「0」 「決定」 「２０１１年9月１３日午後3時１０分」 「設定しました」

＜ポイント＞

●途中で［上キー］を押すとひとつ前の手順に戻ります。時計設定を中止する場合は［上キー］を長く押すとキャンセルできます。

●月、日を２桁で入力する際、１から９までの数字を入力する場合、０１から０９と入力することも、始めの「0」を省略して入力することもできます。

●「午前・午後」の時刻の入力は、基本的に０：００から１１：５９ ですが、１５：００のように入力した場合、午後３：００に設定されます。

●年、月、日など音声ガイドの内容が合っていれば、テンキーでの入力は必要ありません。［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定してください。

●設定された日時を確認するには、数字の［5キー］を長く押してください。日時と年月日が音声でガイドされます。

●長期間使用しなかった際には、時計設定が必要になる場合があります。

17.4.6 ＵＳＢ動作の切替え

本製品をＵＳＢケーブルでパソコンに接続し、マイコンピュータ（エクスプローラ）で内容を表示する際に、本製品のＳＤカードの内容を表示するか、または内蔵メモリの内容を表示するかを切替えることができます。以下のように操作します。工場出荷時は「内蔵メモリ」に設定されています。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「ＵＳＢ動作の切替え」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ＵＳＢ動作の切替え」 「決定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ＳＤカード」または「内蔵メモリ」のいずれかを選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ＳＤカード」または「内蔵メモリ」 「決定」

＜ポイント＞

●パソコンとの接続中に、内蔵メモリとＳＤカードの表示を切り替えることができます。詳しくは「14.1.3 内蔵メモリとＳＤカードの切り替え」160ページを参照してください。

17.4.7 テキスト読み上げの設定（ピッチ設定）

テキストファイルを読み上げる際に、音程を高めに読むか、低めに読むかを設定することができます。音程を高くするにはピッチを上げてください。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」 「決定」 「管理項目を選択」
2) ［右キー］または［左キー］で「テキスト読み上げの設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「テキスト読み上げの設定」 「決定」 「ピッチ設定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ピッチ」を－５から＋５の範囲で選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ピッチ○」 「決定」 「設定しました」

17.4.8 ネットワーク設定

17.4.8.1 ネットワーク情報確認

ワイヤレスネットワークの情報を聴くことができます。以下の項目についての情報が音声でガイドされます。

●ネットワークに接続している場合

- 接続／未接続の情報
- 受信感度（強い／弱い）
- IP アドレスの自動取得
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- プライマリーDNS アドレス
- セカンダリーDNS アドレス
- ワイヤレスネットワークのＭＡＣアドレス
- IP アドレスのリース取得日
- IP アドレスのリース有効期限
- DHCP サーバーアドレス

●ネットワークに接続していない場合

- 接続／未接続の情報
- ワイヤレスネットワークのＭＡＣアドレス

ワイヤレスネットワークの情報を確認するには、以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク情報確認」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク情報確認」
4) 最初の項目である「接続／未接続の情報」が音声でガイドされます。［右キー］または［左キー］を押すと、別の項目に関する情報を聴くことができます。	

17.4.8.2 ネットワーク設定の読み込み

「Plextalk Transfer」というアプリケーションを使って、ネットワーク設定ファイルを作成し、そのファイルを本製品に読み込ませることができます。設定ファイルの作成方法は「Plextalk Transfer」の取扱説明書を参照してください。

設定ファイルの読み込みは、以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ネットワーク設定ファイルをＳＤカードまたはＵＳＢ機器または内蔵メモリのルートフォルダに保存します。	
2) ＳＤカードまたはＵＳＢ機器を本製品にセットし、本製品の電源を入れます。内蔵メモリから読み込む場合は、ＳＤカードやＵＳＢ機器に設定ファイルが無い状態で行ってください。本製品は、ＳＤカードに設定ファイルがあればＳＤカードから読み込み、無ければＵＳＢ機器を探して読み込み、さらに両方とも無ければ内蔵メモリから読み込みます。	
3) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
4) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」

5) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定の読み込み」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定の読み込み」
6) 実行を確認する音声ガイドがあります。［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押すと、読み込みが実行されます。読み込んだメディア名が音声でアナウンスされます。	「○○から設定ファイルを読み込みました」

＜ポイント＞

●設定ファイルの名前は「NetworkSetting.ini」です。それ以外の名前の設定ファイルを読み込むことはできません。

●設定ファイルを読み込むと現在の設定は読み込んだ設定で上書きされます。

17.4.8.3 ネットワーク設定の保存

本製品内のネットワーク設定を、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器または内蔵メモリに保存することができます。以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ＳＤカードまたはＵＳＢ機器を本製品に接続します。内蔵メモリに保存する場合は、ＳＤカードやＵＳＢ機器を接続しないでください。 本製品は、ＳＤカードがあればＳＤカードに保存し、無ければＵＳＢ機器を探して保存し、さらに両方とも無ければ内蔵メモリに設定ファイルを保存します。ＳＤカードとＵＳＢ機器が両方とも接続されている場合、ＳＤカードに保存します。	
2) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
3) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」
4) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定の保存」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定の保存」
5) 設定の保存を確認する音声ガイドがあります。［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押すと、保存が実行されます。 「NetworkSetting.ini」という名前のファイルが、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器のルートフォルダに保存されます。	

17.4.8.4 ネットワーク電源のＯＮ／ＯＦＦ

本製品のネットワークの電源をＯＮ／ＯＦＦすることができます。工場出荷時の設定は「電源ＯＮ」です。ネットワークの電源をＯＮにすると、「オンラインサービス」「ポットキャスト」「ウェブラジオ」「ネットワークフォルダ」の機能が使えるようになり、ＯＦＦにすると、これらの機能が使えなくなります。以下のように設定します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
2) ［右キー］または［左キー］を押して「ネットワーク設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」
3) ［右キー］または［左キー］を押して「ネットワークの電源 ＯＮ／ＯＦＦ」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワークの電源ＯＮ／ＯＦＦ」
4) ［右キー］または［左キー］を押して「電源ＯＮ」または「電源ＯＦＦ」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。ネットワークの電源が「ＯＮ」または「ＯＦＦ」になります。	「電源ＯＮ」 または 「電源ＯＦＦ」

＜警告＞

●飛行機や病院など無線通信が禁止されている場所で本製品を使用する場合は、ネットワークの電源をＯＦＦにしてください。

17.4.8.5 ワイヤレスネットワーク接続設定

付属の無線親機以外を利用する場合、ワイヤレスネットワークの接続設定を行う必要があります。設定には以下の３つの方法があります。

・利用できるワイヤレスネットワーク
・設定の追加
・設定の変更／削除

なお、これらの設定を行う場合は、無線親機の SSID（ネットワーク名）、セキュリティーモード、パスワード、ＩＰアドレスなどについての情報を事前にご確認ください。

17.4.8.5.1 利用できるワイヤレスネットワーク

本製品は、周辺にあるワイヤレスネットワークを自動的に検索します。検索結果の一覧から利用したいワイヤレスネットワークを選択することができます。

接続中のネットワークを選択すると、接続が切断されてメニューが終了し、優先度の高い順に自動的に接続が行われます。
また、切断中のネットワークを選択すると、既に接続設定がされている場合は、接続が開始されます。接続設定がされていない場合は、接続設定を行うことができます。

以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」

2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ワイヤレスネットワーク接続設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ワイヤレスネットワーク接続設定」
4) ［右キー］または［左キー］で「利用できるワイヤレスネットワーク」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「利用できるワイヤレスネットワーク」
5) 利用できるワイヤレスネットワークが音声でガイドされます。［右キー］または［左キー］で、接続したいワイヤレスネットワークを選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「（ワイヤレスネットワーク名）」 「接続中／切断中」 「自動的に接続します／自動的に接続しません／接続設定がされていません」「受信感度○○」

・接続中のネットワークを選択した場合

現在の接続が切断されます。このネットワークは「自動的に接続しない」設定になり、メニューが終了します。メニュー終了後、優先度の高い順に自動的に接続が行われます。切断されたネットワークには再接続しません。

・切断中のネットワークを選択した場合

既に設定されている場合は、接続が開始されます。接続が成功すると「自動的に接続する」設定になり、メニューが終了します。接続が失敗すると手順５に戻ります。また、接続設定がされていないネットワークを選択した場合は、以下の手順で接続設定を行うことができます。

手順	主な音声ガイド
6) ［右キー］または［左キー］でセキュリティモードを選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。利用中の無線親機が使用しているセキュリティモードを選択してください。セキュリティの設定が無い場合は「セキュリティなし」を選択してください。その場合は、パスワードを入力する必要がないため、手順８に進みます。	「セキュリティーモードの選択」
7) パスワードを入力します。無線親機のセキュリティのパスワードを入力してください。パスワードは、利用する無線親機のパスワードを入力してください。入力が終わったら、［下キー］を押して決定します。文字入力の方法は「１６章 文字の入力」180ページを参照してください。	「パスワードの入力」
8) ステルスの設定を行います。［右キー］または［左キー］で「ステルス設定ＯＮ」または「ステルス設定ＯＦＦ」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。無線親機のステルス機能が使用されている場合は「ＯＮ」を、使用されていない場合は「ＯＦＦ」を選んでください。	「ステルス設定ＯＮ／ＯＦＦ」
9) 「IP アドレスの自動取得の設定」を行います。［右キー］または［左キー］で自動設定なら「有効」を、手動設定なら「無効」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。「有効」にすると、「プロキシ設定」（手順１５）に進みます。	「ＩＰアドレスの自動取得の設定」

10) IP アドレスの設定をします。IP アドレスは４つのエリアから構成されており、各エリアに番号を入力します。最初のエリアの番号が音声ガイドされますので、テンキーで番号を入力して［右キー］を押すと次のエリアに移動します。また、[左キー]を押すと前の入力エリアに戻ることができます。	「ＩＰアドレスの入力」
11) ２番目から４番目のエリアの数字を入力します。入力が終わったら、［下キー］を押して決定します。	
12) 「サブネットマスク設定」を行います。番号の入力方法は IP アドレスの場合と同様です。	「サブネットマスクの入力」
13) 「デフォルトゲートウェイ設定」を行います。番号の入力方法は IP アドレスの場合と同様です。	「デフォルトゲートウェイの入力」
14) 「ＤＮＳ設定」を行います。「プライマリ」、「セカンダリ」のそれぞれを設定します。番号の入力方法は IP アドレスの場合と同様です。	「プライマリＤＮＳアドレスの入力」
15) 「プロキシサーバーの使用」を設定します。[右キー］または［左キー］で「使用しない」または「使用する」を選択し、[再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー]を押して決定します。	「プロキシサーバーの使用」
16) プロキシサーバーを「使用しない」を選択した場合は、手順１８に進みます。「使用する」を選択した場合は、プロキシサーバーのアドレスを入力します。かな文字入力はできません。入力が終わったら、[下キー］を押して決定します。	

17) 続いてポート番号を入力します。数字入力のみです。入力が終わったら、[下キー] を押して決定します。	
18) ワイヤレスネットワークへの接続が実行されます。接続が成功したら、設定が保存され、メニューが自動的に終了します。接続に失敗した場合は、利用できるワイヤレスネットワークを選択する手順5に戻ります。	

＜ポイント＞

●上記の操作では、接続時の優先度は変更されません。接続の優先度を変更する方法は「17.4.8.5.3 設定の変更／削除」229ページを参照してください。

●文字を入力したり削除したりする方法は、「１６章 文字の入力」180ページを参照してください。

●セキュリティモードがＷＥＰの場合、パスワードの文字数は ５文字、１０文字、１３文字または２６文字に限定されます。ＷＥＰ以外の場合は、８文字以上６４文字未満で設定してください。

●登録可能なネットワーク設定は最大３０個です。

●バッテリー駆動時に、ネットワーク機能を一定の時間使用しないと、ネットワークへの接続が切断されます。

●無線親機のステルス機能が有効になっている場合、そのネットワークは本メニューでは表示されません。ただし、本製品の設定上で該当するネットワークのステルス設定を有効にすると、本メニュー上に表示されるようになります。

●本メニューを利用せずに、ネットワーク設定を行う場合は「17.4.8.5.2 設定の追加」228ページを参照してください。

17.4.8.5.2 設定の追加

ステルス機能が有効になっているワイヤレスネットワーク、無線親機の電源が切れている場合など、本メニューを使うことで「利用できるワイヤレスネットワーク」の一覧に表示されないワイヤレスネットワークを設定することができます。設定可能なネットワークは最大３０個です。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ワイヤレスネットワーク接続設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ワイヤレスネットワーク接続設定」
4) ［右キー］または［左キー］で「設定の追加」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「設定の追加」
5) SSID（ネットワーク名）入力します。利用する無線親機に設定された SSID を入力してください。	
6) セキュリティモードを選択します。これ以降の操作は、前節の「利用できるワイヤレスネットワーク」の手順6から１５までと同様です。設定が保存され、メニューが終了し、接続を試みます。	

17.4.8.5.3 設定の変更／削除

本メニューでは、設定されているワイヤレスネットワークに関して、「接続の優先度の変更と自動接続の変更」、「接続設定の変更」、「設定の削除」を行なうことができます。以下のように行います。手順５までは共通です。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ワイヤレスネットワーク接続設定」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ワイヤレスネットワーク接続設定」
4) ［右キー］または［左キー］で「設定の変更／削除」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「設定の変更／削除」
5) 登録されているワイヤレスネットワークが音声でガイドされます。［右キー］または［左キー］で、設定の変更／削除を行いたいワイヤレスネットワークを選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「（ワイヤレスネットワーク名）」 「接続中／切断中」 「自動的に接続します／自動的に接続しません／接続設定がされていません」「受信感度○○」

手順５の後、次の３つの項目に分かれます。
①接続の優先度と自動接続の変更
②接続設定の変更
③設定の削除

以下では、これら３つの項目の操作方法を説明します。

①接続の優先度と自動接続の変更

手順	主な音声ガイド
6) ［右キー］または［左キー］で「接続の優先度と自動接続の変更」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「接続の優先度と自動接続の変更」 「決定」
7) ［右キー］または［左キー］で「最優先で自動的に接続する」または「自動的に接続しない」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「最優先で自動的に接続する」または「自動的に接続しない」
8) 確認の音声ガイドがありますので、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「最優先で自動的に接続します」または「自動的に接続しません」 「設定しますか？」

＜ポイント＞
●「最優先で自動的に接続する」を選択した場合、ネットワーク接続時に、そのワイヤレスネットワークに最優先で自動的に接続します。接続に失敗した場合は、別のワイヤレスネットワークに対して優先度順に接続を試みます。
●「自動的に接続しない」を選択した場合、ネットワーク接続時に自動的に接続しません。この際、接続優先度は変更されません。

②接続設定の変更

手順	主な音声ガイド
6) ［右キー］または［左キー］で「接続設定の変更」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「接続設定の変更」
7) 「セキュリティーモードの選択」を行います。この手順以降は、「17.4.8.5.1 利用できるワイヤレスネットワーク」223ページ以降の手順６から手順１８までと同様です。設定が保存され、メニューが終了します。接続中の設定を変更した場合、接続を試みます。	「セキュリティーモードの選択」・・・

③設定の削除

手順	主な音声ガイド
6) ［右キー］または［左キー］で「設定の削除」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「設定の削除」
7) 削除の実行を確認する音声ガイドがあります。［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押すと、削除が実行され、メニューが終了します。現在接続中の設定を削除した時場合は、優先度の最も高いワイヤレスネットワークに接続を試みます。	「○○の設定を削除しますか？」

＜ポイント＞

●本製品に同梱されている無線親機に関する設定を削除してしまった場合、「ネットワーク設定の初期化」を実行することで、同梱されている無線親機の設定に戻すことができます。初期化の方法は、「17.4.8.6 ネットワーク設定の初期化」232ページを参照してください。

17.4.8.6 ネットワーク設定の初期化

以下の項目の設定を工場出荷時の設定に戻すことができます。「ネットワーク設定の初期化」を行うと、以下の表の状態になります。

項目	工場出荷時の設定
ネットワーク電源のＯＮ／ＯＦＦ	ＯＮ
ワイヤレスネットワーク接続設定	削除されます ただし、同梱の無線親機の設定は削除されません
ネットワークフォルダ設定	削除されます

同梱の無線親機に関する設定は以下になります。

項目	工場出荷時の設定
ＳＳＩＤ	同梱の無線親機のＳＳＩＤ
セキュリティモード	ＷＰＡ２
パスワード	同梱の無線親機のパスワード
ステルス設定	ＯＦＦ
IP アドレスの自動取得の設定	有効
プロキシサーバーの使用	使用しない

ネットワーク設定を初期化するには、以下のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定」
3) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク設定の初期化」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク設定の初期化」
4) 確認の音声ガイドがありますので、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。ネットワーク設定の初期化が実行されます。	「設定を初期化しますか？」

＜ポイント＞

●本製品に同梱されている無線親機に関する設定を削除してしまった場合、「ネットワーク設定の初期化」メニューを実行することで、同梱されている無線親機の設定に戻すことができます。

17.4.9 ネットワーク・バージョンアップ

インターネット経由で本製品のバージョンアップを行うことができます。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「ネットワーク・バージョンアップ」を選び、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「ネットワーク・バージョンアップ」
3) 実行を確認する音声ガイドがありますので、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。現在ご利用のバージョンよりも新しいバージョンがある場合に、バージョン番号が音声ガイドされます。［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押すと、ダウンロードが開始されます。ダウンロード完了後、自動的にバージョンアップが実行され、バージョンアップが完了すると本製品が自動的に再起動します。	「ネットワークバージョンアップを実行しますか？」

＜ポイント＞

●現在のバージョンが最新の場合、バージョンアップデータが存在しないことが音声ガイドされます。

●バージョンアップ中にインターネット接続が切れた場合は、再び最初からバージョンアップを行ってください。

17.4.10 設定の初期化

設定を初期化すると、次の各種設定項目が全て工場出荷時の状態に戻ります。
また、音声しおりなどが削除されます。以下に工場出荷時の状態を記します。

項目	内容
音量、ガイド音量	標準
再生スピード 音声ガイドスピード	標準
トーン	標準
しおり、音声しおり 過去に聞いたタイトルの停止位置	全て削除されます
録音モード	標準
録音中の音声ガイド	ガイドあり
外部音声入力端子の切り替え	マイク使用モード
録音の自動音量調整	あり
シャッフル・リピート設定	通常再生
音声ファイル名読み上げの設定	読み上げる
マルチメディア DAISY 再生設定	音声
飛ばし読み	再生する
音声しおり再生設定	再生する
テキスト読み上げ音声	日本語
待ち受け音	待ち受け音１
キー受付音	あり
時計設定	削除されません
ＵＳＢ動作の切り替え	内蔵メモリ

ネットワーク設定	削除されません ネットワーク設定の初期化については「17.4.8.6 ネットワーク設定の初期化」232ページを参照してください。
オンラインサービス設定	削除されません オンラインサービス設定の削除については「取扱説明書 サピエ編 ６章２」を参照してください。
メニューのショートカット	削除されます
ＳＤカード、ＵＳＢ機器、内蔵メモリ、メモ録に保存されているデータ	削除されません

設定を初期化するには以下のように操作します。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」 「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「設定を初期化」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「設定を初期化」 「決定」 「工場出荷時の設定に戻ります」 「設定の初期化を実行しますか？」
3) ［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。設定が初期化され、本製品が再起動します。	「決定」 「設定しました」

＜ポイント＞

●設定を初期化すると、しおり、音声しおり、過去に聞いたタイトルの停止位置、メニューのショートカットがすべて削除されてしまいますので、設定を初期化する際は十分に注意してください。

１７章５ メニューのショートカット

メニューボタンと数字ボタンで、メニュー項目に番号を割り当て、素早くメニュー項目に移動することができます。

17.5.1 メニュー項目に数字を割り当てる

例）「管理」の中の「プレクストークの情報」に数字の「１」を割り当てるには次のように行います。

手順	主な音声ガイド
1) ［メニューキー］を押し、［右キー］または［左キー］で「管理」を選択し、［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定します。	「メニュー」「管理」
2) ［右キー］または［左キー］で「プレクストークの情報」を選択します。	「プレクストークの情報」
3) ［メニューキー］を押しながら、数字の［１キー］を長く押します。ショートカットを設定しましたという音声ガイドが流れたら、指を離してください。	「ショートカット１ 設定しました」
4) ［メニューキー］を押して終了します。	

＜ポイント＞

- 手順３で、既に数字の［１キー］に別のメニュー項目が割り当てられていた場合、「変更しますか？」という音声ガイドが流れますので、変更する場合は［再生・停止キー］または［下キー］または［＃キー］を押して決定してください。キャンセルする場合は［上キー］または［＊キー］を押してキャンセルしてください。
- オンラインサービスメニューにはショートカットを割り当てることはできません。

17.5.2 メニュー項目に直接移動する

前節で割り当てた数字を入力してメニュー項目に直接移動することができます。

例）「プレクストークの情報」に直接移動するには以下のように行います。前もって「プレクストークの情報」に数字の「1」が割り当てられているものとします。

手順	主な音声ガイド
1）［メニューキー］を押しながら、数字の［1キー］を短く押します。「プレクストークの情報」と音声でガイドされます。	「プレクストークの情報」

＜ポイント＞

- DAISY 編集モード中は、表示されないメニューがあります。表示されないメニューには直接移動することはできません。

１８章 付録

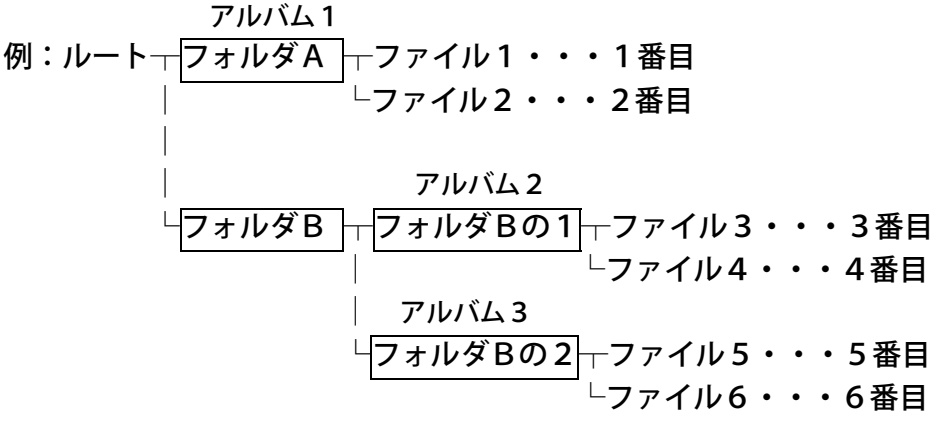
１８章１ 音声ファイルの連続再生の順序

ひとつのフォルダ内での連続再生の順序

フォルダ内に「プレイリスト」と呼ばれるテキスト形式のファイルが存在する場合には、そこに再生順序が記されており、その記述に従った順序でファイルが再生されます。プレイリストが存在しない場合、ひとつのフォルダ内ではファイル名の順（ａｂｃ順）に再生されます。

フォルダが複数ある場合の連続再生の順序

フォルダが複数存在する場合、音声ファイルの連続再生の順序は以下のようになります。



＜ポイント＞

●基本的にフォルダがアルバムとなります。ただし、フォルダ内に音声ファイルが無い場合は、アルバムとはなりません。前ページの例では、フォルダＡがアルバム１、フォルダＢの１がアルバム２、Ｂの２がアルバム３となります。フォルダＢはアルバムではありません。

●１つのフォルダに含まれるファイルは１０２４個までしか認識しません。フォルダに関してはルートフォルダを含め８階層、１０２４個のフォルダまで認識します。それ以上のフォルダは認識しません。１つのメディアに含まれるファイルは６０００個までしか認識しません。

●フォルダ数やファイル数が多いと、音声ファイルやカード情報の読み出しにかかる時間が長くなります。

１８章２ 録音やバックアップで自動的に作られるフォルダ名について

＜録音の場合＞
空のＳＤカードに録音を開始すると、ＳＤカードのルートフォルダに「PlexRecording」という名前のフォルダが作られます。さらにその下に「BookDir0」という名前のタイトルが自動的に作られます。同様に新規タイトルで録音すると、「BookDir1」、「BookDir2」という名前のタイトルが作られていきます。

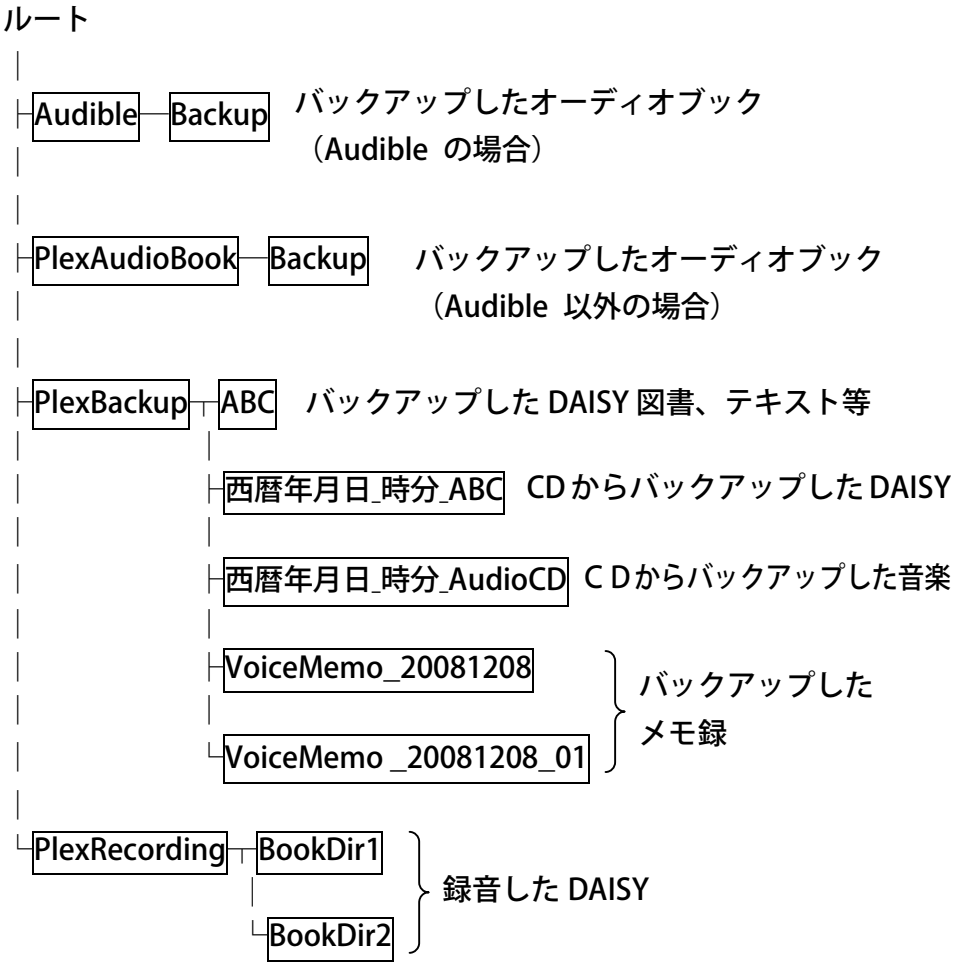
＜バックアップの場合＞
以下のフォルダにバックアップされます。

DAISY 図書	「PlexBackup」フォルダ
録音した DAISY	「PlexBackup」フォルダ
音楽	「PlexBackup」フォルダ
テキスト	「PlexBackup」フォルダ
オーディオブック（拡張子が aa）	「Audible」フォルダの中の「Backup」フォルダ
オーディオブック（拡張子が aa 以外）	「PlexAudioBook」フォルダの中の「Backup」フォルダ
メモ録	「PlexBackup」フォルダ

ただし、ＣＤからバックアップすると「西暦年月日_時分_タイトル名」というフォルダ名（テキストの場合はファイル名）になります。

<ダウンロードの場合＞
オンラインサービスを利用してダウンロードした場合、内蔵メモリ、ＳＤカードまたはＵＳＢ機器に「PlexBookShelf」フォルダが作られ、そのフォルダにダウンロードされます。

例



注：「ABC」はタイトル名を表します。

１９章 用語解説

本書で使われている用語を解説します。「１章２ 用語」もご覧ください。

用語	解説
ＡＭＲ	音声圧縮形式の一種です。圧縮率が高く、一部の携帯電話の音楽配信等に用いられています。
ＣＴＵ	NTT 西日本の「フレッツ光･プレミアム」の終端に設置される機器で、「加入者網終端装置」と呼ばれます。モデムに相当する機器です。
DAISY 図書	DAISY（Digital Accessible Information System）は、視覚障害者や普通の印刷物を読むことが困難な人々のために、カセットに代わるデジタル録音図書の国際標準規格として、１２カ国の正規会員団体で構成する DAISY コンソーシアム（本部スイス）により開発と維持が行なわれている情報システムを表しています。DAISY 図書は、音声情報が見出しで区切られ、その見出しを階層的に組むことができます。たとえば、いちばん大きな章をレベル１、その下の節はレベル２となります。また、ページ数の情報なども埋め込むことができますので、検索性に優れています。 DAISY 規格には DAISY2.0、DAISY2.02、ANSI/NISO Z39.86/DAISY3.0 などがあります。
DAISY ADPCM２ファイル	DAISY 図書で用いられる音声ファイルの一種です。ＰＣＭの４分の１のサイズに圧縮されます。

用語	解説
DAISY オンライン	インターネットを経由して DAISY 図書などを利用するシステムを表します。
ｄＢ(デシベル)	音の強さを表す単位です。
IP アドレス	ネットワーク上の機器を識別するための番号です。
ＭＰ３	高圧縮率で高品質な音声圧縮技術、もしくはそれを使って圧縮された音声データのことです。ＣＤ品質の音声データをＭＰ３(128kbps)に変換すると、多少音質は低下しますが、約１０分の１のサイズに圧縮することができます。
OggVorbis（オッグ・ボービス）	ライセンスフリーな音声圧縮形式です。MP3 とほぼ同様の圧縮率・音質を確保しています。
ＯＮＵ	光通信ネットワークの終端に設置される機器で、「光回線終端装置」と呼ばれます。モデムに相当する機器です。
ＰＣＭ	音声などのアナログ信号をデジタル信号に変換する形式の一種です。音楽ＣＤなどに用いられています。非圧縮のため音質は良いのですが、ファイルサイズが大きくなってしまいます。
radiko	パソコンで日本のラジオ放送を聴くことが出来る IP サイマル配信サービス（地上波放送と同じ時間帯に同じ内容のものをインターネット上で配信するサービス）。都市部など高層建築物による受信環境悪化地域での利用改善を目的とするため配信対象地域には制限があります。

用語	解説
ＳＤカード	フラッシュメモリの一種です。切手ほどのサイズに加え、厚さが１mmほどしかなく、そのコンパクトさが特徴です。 「ＳＤカード」は「ＳＤメモリカード」の略称です。
ＳＤＨＣカード	ＳＤカードの一種で、その容量の大きさが特徴です。寸法はＳＤカードと同じです。本製品はＳＤカードとＳＤＨＣカードの両方に対応しています。
ＳＳＩＤ	各ワイヤレスネットワークを表す名前を「ＳＳＩＤ」と呼びます。
ＵＳＢ	ＵＳＢは、パソコンの周辺装置を接続するための規格のひとつです。この規格のケーブルで接続された機器をＵＳＢ機器と呼びます。
ＷＭＡ	Microsoft 社が開発した音声圧縮形式です。MP3 とほぼ同様の圧縮率・音質を確保しています。
アルバム	本製品では、音声ファイルが入っているひとつのフォルダを「アルバム」と呼びます。
ウェブラジオ	インターネットラジオ、ネットラジオとも呼ばれます。原則、全世界どこでも聴取が可能です。日本国内ではコミュニティＦＭ局がウェブラジオを提供していることが多く、以下のウェブサイトから聴くことができます。 http://www.simulradio.jp
オーディオブック	書籍などを読み上げて録音した録音図書です。DAISY 図書とは保存形式が異なり、移動単位も異なります。 Audible.com が配信するオーディオブックのファイルの拡張子は .aa ですが、日本国内で配信されているオーディオブックには MP3 形式のものがあります。

用語	解説
グループ	セクション内に付ける区切り（セッション内の任意の一部分）のことを「グループ」と呼びます。
サブネットマスク	インターネットを、多数の小さなネットワーク（サブネット）に分けて管理するための番号です。
ステルス	各ワイヤレスネットワークを表す「ＳＳＩＤ」を非通知にする方法です。
セキュリティーモード	ワイヤレスネットワークを使用する際、通信内容を第三者に傍受されるのを防ぐために、通信内容を暗号化して保護する機能の方式です。
セクション	ある見出しから次の見出しの直前までのかたまりを「セクション」と呼びます。各セクションには、章･節･項といった見出しの大きさに合わせて階層レベルを設定することができます。
タイトル	タイトルとは、録音図書自身のことであり、１つの器のようなものです。このタイトルという器の中に、音声データや、見出し情報等が入っています。
テキストオンリーDAISY	音声ファイルが無く、テキストファイルのみで構成される DAISY 図書のことです。
デフォルトゲートウェイ	所属するネットワークの「出入り口」の代表となる機器のことです。
特殊ページ	特殊ページは、図書の途中や最後に付けられた特別なページのことです。図表や付録などに付けられます。［上キー］または［下キー］で「ページ」を選択し、［右キー］または［左キー］で移動できます。
トラック	ひとつの音声ファイルを「トラック」と呼びます。音楽の１曲に相当します。

用語	解説
ファイル	文字や音楽などのデータをパソコンやメモリカードなどに格納する際の、データのかたまりを表します。
フォルダ	ファイルを入れる「箱」に相当します。
フレーズ	音声データは、息継ぎなどで一定時間、無音になった箇所で区切られています。その無音から次の無音までのひとかたまりの音声を「フレーズ」と呼びます。通常。１フレーズは、数秒から十数秒ほどの長さになります。
プレイリスト	プレイリストは、ファイルの拡張子名を「ｍ３ｕ」とし、音声ファイル名を再生したい順番に１行ずつ区切って記述したものです。
前付けページ	前付けページは、図書の最初に本文の前に付けられたページのことです。[上キー］または［下キー］で「ページ」を選択し、[右キー］または［左キー］で移動できます。
見出し	セクションの一番先頭のフレーズと、セクションが変わる位置を「見出し」と表現しています。たとえば本取扱説明書の「１章はじめに」のフレーズ自体と、始まる位置を見出しと呼びます。
メディア	情報を記録するものの総称です。一般的にはＣＤ、ＳＤカード、ＵＳＢフラッシュメモリーなどをメディアと呼びますが、本製品では、ＳＤカードや内蔵メモリなどを「メディア」と呼びます。

用語	解説
レベル (DAISY)	DAISY 録音図書の検索時に利用するためにセクションに付ける属性のことを「レベル」と呼びます。 通常、本はいくつかの章から成り立っています。また、それぞれの章の下には節、そして節の下には項があります。章がレベル１に相当し、節はレベル２、項はレベル３・・というように、本を検索していく際の単位をレベルと表しています。レベルは１から６まで指定できます。 レベル１ １章 レベル２ １章１節 １章２節 レベル３ １章１節１項 １章１節２項 １章２節１項・・

２０章 故障かなと思ったら

故障かなと思ったら、本章に記された方法で症状を確かめてください。

以下の文中に「本製品をリセットする」という内容の記述があります。リセットには以下の２つの方法があります。

＜リセットの方法１＞

電源が入っている状態でキーロックを有効にします。電源キーを１０秒以上押し続けた後、手を離すと電源が切れます。キーロックを無効にして、電源を入れます。

＜リセットの方法２＞

リセットの方法１ができない場合は、以下の方法で行います。
電源を切ります。電源アダプターを外して、バッテリーをいったん取り出します。再びバッテリーを取付け、電源を入れます。

注）リセット後には、本製品の起動に４０秒ほどの時間がかかります。

２０章１ 症状と対応のしかた

症状と対応のしかた（全般）

症状	対応のしかた
電源が入らない。	バッテリー駆動の場合には、バッテリー残量が十分でない可能性があります。AC アダプターを接続して電源が入るか確認してください。
	ヘッドホンが接続されていたり、音量がゼロになっていたりして、電源が入ったかどうかが分かりずらい状態になっていないか確認してください。
	上記の方法で改善されない場合は、前のページのリセットの方法２を行ってください。
電源を入れてもすぐに切れてしまう。	キーロックが有効になっていないか確認してください。 キーロックが有効になっている場合、電源を入れると「キーロック」というガイドの後、すぐに電源が切れますので、キーロックを無効にしてください。
	バッテリー駆動の場合には、バッテリー残量が十分でない可能性があります。AC アダプターを接続して電源が入るか確認してください。
電源を入れても音声が出ない。	音量ボリュームがゼロになっていないか確認してください。
	ヘッドホンが接続されていないか確認してください。

症状	対応のしかた
キーを押しても反応がない。	キーロックが有効になっていないか確認し、有効になっていたら無効にしてください。
待ち受け音が鳴ったまま反応がない。	リセットの方法 1 またはリセットの方法 2 を行ってください。
SD カードが再生できない。	動作確認済みではない SD カードは認識されない場合があります。動作確認済み SD カードを使用してください。
	本製品では再生できない形式でフォーマットされている可能性があります。パソコンで認識できる場合は、データを別のメディアにバックアップしてから FAT32 形式でフォーマットしてください。
SD カードに録音できない。	SD カードが書き込み禁止になっているかを確認してください。書き込み禁止の場合は、書き込み禁止スイッチを解除してください。
録音中に音声ガイドが出なくなる。	録音中の音声ガイドが「なし」になっているか確認し、「なし」になっていたら、ガイド「あり」に変更してください。メニュー→録音設定→録音中の音声ガイド切り替え→ガイド「あり」に設定してください。
録音音量が調節できない。	自動音量調整が「あり」に設定されていると、録音音量を手動で調節することができません。メニュー→録音設定→自動音量調整→「なし」に設定してください。

症状	対応のしかた
本製品と PTR1/PTR2 をUSBケーブルで接続した際に、PTR1/PTR2 に入れた CD が認識されない。	PTR2 の USB 動作が「カードドライブ」になっている可能性があります。「CD ドライブ」に設定してください。PTR2 を単体で動作させ、管理メニューの「USB 動作の切り替え」を「CD ドライブ」に設定します。
	バックアップ元の CD が CD-R か CD-RW で、PTR1／PTR2 で録音またはバックアップされ、CD ファイナライズを実行されていない場合､本製品はそのCDを認識できません。 PTR1 または PTR2 で CD ファイナライズを実行してください。
	本製品と PTR1/PTR2 との USB 接続ケーブルを接続し直してください。それでも改善されない場合には、リセットの方法 1 またはリセットの方法 2 を行ってください。
PTR1 や PTR2 の CD から、本製品の SD カードにバックアップすると、途中で失敗してしまう。	バックアップ元の CD に傷や汚れが付着している場合、バックアップが中断される場合があります。CD の記録面に傷や汚れがないかを確認してください。

症状	対応のしかた
本製品の SD カードと、PTR2 の CF カード間でのバックアップができない。	PTR2 をカードドライブに設定してください。PTR2 を単体で動作させ、管理メニューの「USB 動作の切り替え」を「カードドライブ」に設定します。
	バックアップの際に「この USB 機器には対応していません」というガイドが出てしまう場合には、パソコンを利用して CF カードを FAT32 でフォーマットしてください。ただし、フォーマットすると記録されていた内容が全て消去されてしまいますので、削除したくないデータは事前にバックアップしてください。
本製品の SD カード内の DAISY 図書を、PTR2 の CF カード（またはカードリーダーの CF カード）へバックアップしたものが、PTR1 や PTR2 で再生できない、あるいは音楽（MP3）として再生されてしまう。	本製品の SD カード内の DAISY 図書に対して、メディア管理メニューの「編集準備」を実行してからバックアップを行ってください。

症状	対応のしかた
パソコンに接続しても、本製品がパソコンに認識されない。	パソコンの OS が「Windows 2000、XP、Vista、7」であるか確認してください。それ以外の OS では認識されません。
	パソコンと本製品の両方の電源が入っている状態で接続して接続してください。
	AC アダプターを接続した状態で、パソコンに接続してください。
	USB ハブを経由して接続されている場合は、ハブを経由せず、パソコンと直接接続してください。
	パソコンに USB 端子が複数ある場合には、別の USB 端子に接続すると認識される場合があります。
	付属の USB ケーブルよりも短いケーブルを使用すると認識される場合があります。
	それでも改善されない場合には、リセットの方法１またはリセットの方法２を行ってください。
パソコンからの書き込みができない。	SD カードが書き込み禁止になっているかを確認し、書き込み禁止になっていたら、書き込み禁止を解除してください。
	本製品との相性により、正常に動作しない SD カードがあります。動作確認済一覧表または弊社ホームページに記載の動作確認済み SD カードを使用してください。

再生時の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「この SD カードには対応していません」	本製品が対応していない形式でフォーマットされている。	SD カード内容全消去を行ってください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されてしまいます。
	SD カードが本製品に対応していない。	動作確認済 SD カードを使用してください。

録音時の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「録音できないメディアです」	録音先に USB 機器を選んでいる。	本製品は USB 機器に録音することはできません。録音先を SD カードまたは内蔵メモリにしてください。
「SD カードがロックされています」	書き込み禁止になっている。	SD カードの書き込み禁止を解除してください。
「SD カードの空き容量が不足しています」	録音先のメディアの空き容量がない。	不要なデータを削除して空き容量を増やすか、または新しいメディアに交換して録音してください。

編集時の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「このタイトルは編集できません」	音声ファイルを編集しようとしている。	音声ファイルは編集できません。
	CD からバックアップした図書やビルドブック済みの図書を編集しようとしている。	編集準備を行ってから編集してください。

メモ録使用時の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「空き容量がありません」	本製品内蔵メモリの空き容量がない。	不要なメモ録を削除するか、または SD カードにバックアップしてください。
「このタイトルにはしおりを設定できません」	メモ録にはしおりを設定できません。	本製品の仕様上、メモ録にはしおりを設定できません。

バックアップ時の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「書き込み禁止メディアです」	バックアップ先の SD カードまたは USB 機器が書き込み禁止になっている。	SD カードや USB 機器の書き込み禁止を解除してください。
「メディアの空き容量が不足しています」	バックアップ先のメディアの空き容量が足りない。	不要なデータを削除してバックアップ先の空き容量を増やすか、または新しいメディアに交換してください。

ダウンロード時の音声ガイドと対応のしかた

ポッドキャストの場合

音声ガイド	原因	対応のしかた
「エラーが発生したポッドキャストエピソードのダウンロードをキャンセルしました。」	ネットワークに接続できなくなった。	ネットワーク接続できる環境で再度、ダウンロードを実行してください。
	SD カードまたは内蔵メモリの空き容量がなくなった。	不用なファイルを削除して、十分な空き容量を確保してください。再度、ダウンロードを実行してください。
	SD カードまたは内蔵メモリの書き込みエラーが発生した。（書き込みエラーが発生すると、本製品は自動的に再起動します。）	SD カード内容全消去または、内蔵メモリ内容全消去を行ってください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されてしまいます。
	ダウンロード中にSDカードを排出した。	ダウンロードしていたファイルは破損します。ダウンロード中に SD カードを排出しないでください。

＜ポイント＞

●ダウンロードエラーが発生すると、すべてのダウンロードがキャンセルされます。

音声ガイド	原因	対応のしかた
「エラーが発生したネット閲覧室のタイトルのダウンロードをキャンセルしました。」	ダウンロード先メディアの空き容量がなくなった。	不用なファイルを削除して、十分な空き容量を確保してください。
	SD カードまたは内蔵メモリの書き込みエラーが発生した。（書き込みエラーが発生すると、本製品は自動的に再起動します。）	SD カード内容全消去または、内蔵メモリ内容全消去を行ってください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されてしまいます。
	USB メモリの書き込みエラーが発生した。(書き込みエラーが発生すると、自動的に再起動します。）	新しい USB メモリを使用してください。
	ダウンロード中に SD カードまたは USB メモリを排出した。	ダウンロードしていたファイルは破損します。ダウンロード中にメディアを排出しないでください。
	削除期限が過ぎている。	削除期限が過ぎているタイトルは、ダウンロードはできません。
	ダウンロード先メディアが読み取り専用になっている。	SD カードのロックなど、メディアが読み取り専用になっていたら、読み取り専用を解除してからダウンロードを実行してください。

＜ポイント＞
●ダウンロードエラーが発生すると、ダウンロード中のタイトルのダウンロードがキャンセルされます。
●ネットワークに接続できなくなった場合、ダウンロードは中断されます。再びネットワークに接続するとダウンロードが再開されます。

その他の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	原因	対応のしかた
「アダプター異常です」	電源アダプターに異常が起きた可能性がある。	「アダプター異常です」という音声ガイドの後、自動的に電源が切れます。電源を入れ、再び「アダプター異常です」という音声ガイドがある場合には、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。
「バッテリー異常です」	バッテリーに異常が起きた可能性がある。	バッテリーを入れ直してください。繰り返し発生する場合は、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。
	仕様に定められた範囲外（高温・低温環境下など）で使用された。	仕様に定められた範囲内（温度環境下など）で使用してください。
「不明なエラーです」	原因不明です。	繰り返し発生する場合は、弊社お問い合わせ窓口にご連絡ください。

その他の音声ガイドと対応のしかた

音声ガイド	対応のしかた
「書込みエラーです。（番号）－１０＊＊」 または 「読込みエラーです。（番号）－２１＊＊」	SD カードの読み書き時のエラーです。 再び同じ操作をしてもエラーが起きる場合には、いったん本製品をリセットしてください。それでも改善されない場合には、最終手段として SD カード内容全消去を行ってください。ただし、カードに記録されていた内容はすべて消去されますので、必要なデータはあらかじめパソコンにコピーした上で実行してください。
「書込みエラーです。（番号）－１１＊＊」 または 「読込みエラーです。（番号）－２２＊＊」	USB 機器の読み書き時のエラーです。 再び同じ操作をしてもエラーが起きる場合には、いったん本製品をリセットしてください。それでも改善されない場合には、最終手段として、パソコン上で USB 機器をフォーマットしてください。ただし、USB 機器に記録されていた内容はすべて消去されますので、必要なデータはあらかじめパソコンにコピーした上で実行してください。

20章2 よくある質問 Q&A

質問	答え
本製品から PTR1 や PTR2 の CD にバックアップできますか？	本製品から PTR1 や PTR2 などの外付け CD/DVD ドライブの CD にバックアップすることはできません。
複数のタイトルを一度にバックアップできますか？	できません。ひとつずつタイトルを選択してバックアップしてください。
本製品と PTR1 や PTR2 を USB ケーブルで接続した際に、PTR1 や PTR2 に入れた CD が認識されません。	バックアップ元の CD が CD-R か CD-RW で、PTR1 か PTR2 で録音またはバックアップされ、CD ファイナライズを実行していない場合、本製品はその CD を認識できません。 PTR1 または PTR2 で CD ファイナライズを実行してください。 それでも認識されない場合には、本製品をリセットしてみてください。
PTR1 や PTR2 の CD から、本製品の SD カードにバックアップすると、途中で失敗してしまいます。	バックアップ元の CD に傷や汚れが付着している場合、バックアップが中断される場合があります。CD の記録面に傷や汚れがないかを確認してください。
オンラインサービス、ポッドキャスト、ウェブラジオ、ネットワークフォルダが使えません。	ネットワークの電源が OFF になっていないか確認してください。

質問	答え
本製品をパソコンと USB ケーブルで接続した際に、リムーバブルディスクとして認識されません。	以下の点を確認してください。 ・ 本製品が対応している OS は、Windows2000/XP/Vista/7 です。それ以外の OS では認識されません。 さらに、以下を試してください。 ・ 本製品に AC アダプターを接続した状態で、パソコンに USB 接続します。 ・ パソコンと本製品の両方の電源が入っている状態で、USB 接続します。 ・ USB ハブを経由して接続されている場合は、パソコンの USB 端子に直接接続します。 ・ パソコンに USB 端子が複数ある場合は、現在接続している端子とは別の USB 端子に接続します。 ・ カードリーダーライター等に付属する長さの短い USB ケーブル（同一仕様のもの）を使用して接続します。 ・ 本製品をリセットします。

質問	答え
DAISY 図書をバックアップする時に音質などを設定する必要がありますか？	設定の必要はありません。DAISY 図書の音声は元のデータと同じ音質でバックアップされます。
しばらく使わずにいたらバッテリーが減っていたのですが、これは故障ですか？	故障ではありません。通常の電源オフの状態では少しずつ電力を消費します。完全電源オフにすると電力の消費量をおさえることができます。
PTR2 の DAISY 図書 CD から本製品にバックアップする際に、PTR2 で 2 番目のタイトルを選んでから接続してバックアップすると、2 番目のタイトルとは別のタイトルがバックアップされてしまいます。	タイトルの選択は PTR2 で行うのではなく、本製品でタイトルを選択してからバックアップしてください。
PTR1 の CF カードから本製品の SD カードにバックアップすることはできないのでしょうか？	PTR1 はカードドライブとしての機能がありませんので、本製品と接続しても PTR1 の CF カードのデータを読込むことはできません。市販のカードリーダーに CF カードを入れて本製品に接続すればバックアップは可能になります。
インターネットでダウンロードした DAISY 図書を本製品で再生するにはどうしたらよいのでしょうか？	パソコンでフォルダごと SD カードにコピーし、SD カードを本製品にセットして再生してください。

２１章 仕様

注：仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
　：時間に関する数値はすべておおまかな数値です。
　：充電時間、使用時間は、周囲の温度や使用条件によって異なります。

製品名：プレクストークリンクポケット

２１章１ 全般的な仕様

項目	仕様
SD カードスロット	SD／SDHC 専用
再生可能 コンテンツ	DAISY2.0、DAISY2.02、DAISY ADPCM2、 ANSI/NISO Z39.86/DAISY3.0 規格準拠の DAISY 図書 MP3、WMA、OggVorbis、AMR-WB+、WAVE(PCM)、 CD-DA（外付け USB 接続の CD/DVD ドライブ）、 Audible フォーマット ４（.aa) テキスト、マイクロソフト Word (.doc, .docx)、 HTML
録音方式	DAISY2.02
録音音声フォーマット	PCM 44.1kHz ステレオ、PCM 22.05kHz モノラル MP3 256kbps ステレオ、MP3 128kbps ステレオ MP3 64kbps モノラル、MP3 32kbps モノラル
メモ録 録音音声フォーマット	MP3 32kbps モノラル
音声入力	外部音声入力端子（外付けマイクおよびラインイン）（ステレオ） 内蔵マイク（モノラル）

音声出力	内蔵スピーカー（モノラル） ヘッドホン出力端子（ステレオ）
外部インターフェイス	USB 2.0 USB OTG (USB bus power)
内蔵メモリ	7.2 GB
時計精度	月差　±約 60 秒
電源アダプター	AC 100 V～240 V、50／60 Hz
寸法	縦 112 mm、横 55 mm、厚さ 16 mm
重量	約 110g（バッテリーを含む）
消費電力(最大)	20W
動作温度／湿度	5℃～40℃ ／ 20～80%　ただし結露しないこと

21章2 オーディオ特性

項目	特性	
ヘッドホン出力端子（ライン出力）	適合インピーダンス	32Ω不平衡
	ジャック	直径 3.5mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
外付けマイク入力端子（プラグインパワー）	入力インピーダンス	2.2 k Ω不平衡
	ジャック	直径 3.5mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
ライン入力端子	入力インピーダンス	20 k Ω不平衡
	ジャック	直径 3.5mmｽﾃﾚｵﾐﾆｼﾞｬｯｸ
内蔵スピーカー	出力インピーダンス	8 Ω
	出力	150 mW
内蔵マイク	方式	コンデンサマイク

２１章３ 主要な機能

項目	仕様		
音声ガイド	操作を音声でガイド キー説明モードでのキー説明 メニュー説明 ５キーを押した時に情報をガイド		
検索機能	見出し、グループ、ページ、フレーズ、１０分、３０秒、しおり、アルバム、トラック、レベル、段落、４０行、１行、文、文字		
再生音量調整	０～２５（２６段階）		
ガイド音量調整	－５～＋５（１１段階）		
再生スピード調整	－２～＋８（１１段階）		
トーン調整	－６～＋６（１３段階）		
録音可能時間（SD カード、２GB）	DAISY 形式	PCM 44.1kHz ｽﾃﾚｵ	3 時間
		PCM 22.05kHz ﾓﾉﾗﾙ	12 時間
		MP3 256kbps ｽﾃﾚｵ	15 時間
		MP3 128kbps ｽﾃﾚｵ	30 時間
		MP3 64kbps ﾓﾉﾗﾙ	60 時間
		MP3 32kbps ﾓﾉﾗﾙ	120 時間
録音音量調整	自動音量調整 手動調整：０～２０（２１段階）		
メモリ機能	しおり、音声しおり：最大 10,000 個 音声しおり：最大 30 分 メモ録：最大 30 分、最大 200 個		

２１章４ バッテリー

項目	仕様
種類	リチウムポリマー
寸法	縦 53 mm、横 39 mm、厚さ 9 mm
容量	1500 ｍＡｈ
充電時間	ＡＣアダプターからの充電：約４時間 ＵＳＢからの充電：約４時間３０分 ※周囲の温度や使用条件によって異なります。
使用可能時間	DAISY、MP3 録音：約８時間 DAISY、MP3 再生：約１０時間 テキスト再生：約７時間 ストリーミング再生：約４時間 ※周囲の温度や使用条件によって異なります。

２１章５ カードドライブ仕様

項目	仕様
USB 転送レート	280 Mbps
対応 OS	Windows 2000, XP, Vista, 7
カードタイプ	SD/SDHC カード
ファイルシステム	FAT-32/16

２１章６ 無線 LAN

項目	仕様
無線 LAN 規格	IEEE 802.11b/g

２２章 動作確認済マイク、動作確認済ＳＤカード及びオプション品

本製品に同梱されている「動作確認済品一覧」に、動作確認済マイク、動作確認済ＳＤカード及びオプション品に関する記載がありますので、そちらをご覧ください。

また、最新の情報は、プレクストークのホームページ
ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／
をご覧になるか、または、プレクストークお問い合わせ窓口までご連絡ください。

２３章 保証について

シナノケンシ株式会社は、本製品のお買い上げ日から１年間（以下「保証期間」といいます）に本製品に不具合が認められた場合には、本製品が添付の取扱説明書に従ってご使用されている場合に限り、不具合の内容や程度等を考慮して、無償にて修理あるいは交換などの対応をいたします。但し、次のような場合は、保証期間を問わず、保証の対象にはなりません。あらかじめご了承ください。

- 取扱説明書に記載された警告、注意事項を守らずに使用をした場合。
- 取扱説明書に記載された使用条件・方法と異なる使用をした場合。
- バッテリー、電源アダプターなど、付属品以外のものを使用して破損した場合。
- フロントカバー等の外面の損傷など。
- 不具合の原因が不適当と思われるご使用方法である場合。
- 不具合の原因が落下等の過大な衝撃である場合。
- 不具合の原因が部品等の自然劣化・消耗である場合。
- 不具合の原因が落雷、風水害、地震、火災、塩害、その他天災地変である場合。
- 不具合の原因が本製品に接続した他の機器である場合。
- 弊社又は弊社が指定した者以外の者(個人、事業者を含む)により、改造・修理された場合。
- 本製品を第三者に譲渡した場合。
- 本製品より取り外した部品の修理。
- 修理等のご依頼の際に保証書のご提示がない場合。
- 保証書に必要事項の記載がない場合、又は保証書の文言が修正されている場合。

・　本製品を日本国外で使用する、又は使用した場合。
・　不具合の原因がバッテリーの寿命による動作不良、停止等である場合。

弊社は、いかなる場合においても、お客様の逸失利益、特別損害、付随的損害又はその他の結果的損害について、一切の責任を負うものではありません。また、弊社の責に帰すべき理由により、お客様に損害が発生した場合であっても、弊社は直接かつ通常の損害についてのみ補償し、その金額は、本製品の購入価格を上限とさせていただきます。ご記載頂いたお客様の個人情報は、製品の保証・修理及び履歴管理の目的以外には一切使用いたしません。

＜注＞
・本章の記述は本製品に付属の保証書の内容に従っています。弊社が保証書の文言を変更した場合は、本章の記述よりも保証書の記述が優先されます。
・付属の無線親機およびＣＤドライブに関するお問い合わせは、製造元にご連絡ください。

ＳＤカード等のデータについて

ＳＤカード等のデータの破損・消失については、弊社は一切の責任を負うものではありません。あらかじめご了承ください。
大切なデータ（ファイル）は、他のメディアなどにバックアップすることをお薦めします。

２４章 お問い合わせについて

本製品を操作している時にトラブルが発生した場合は、まず「２０章 故障かなと思ったら」250ページを参考にしながら対処してください。それでも、解決できない場合は、弊社までお問い合わせください。
なお、付属の無線親機およびＣＤドライブに関するお問い合わせは、製造元にご連絡ください。

〒３８６－０４９８
長野県上田市上丸子１０７８
シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口
電話 ０５０－５８０４－１１７７
月～土 ９：３０～１７：００
日・祝祭日は休業

ＦＡＸやＥ－ｍａｉｌは、常時受け付けております。
ＦＡＸ ０２６８－４２－２９２３
Ｅ―ｍａｉｌ ｐｌｅｘｔａｌｋ@ｓｋｃｊ．ｃｏ．ｊｐ
ホームページ ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／

プレクストークホームページについて

プレクストークホームページでは、よくある質問やプレクストーク製品に関する最新の情報を提供しております。プレクストーク専用ホームページ
ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／
をご利用ください。

索引

＜記号＞
＊キー（アスタリスクキー）・・・・・・・・・ 37
＃キー（シャープキー）・・・・・・・・・・・ 37

＜あ行＞
空き容量・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 198
アルバム・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
　アルバム移動（選択）・・・・・・・・・・ 76, 90
アンドゥ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
移動キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 34
インターネット接続・・・・・・・・・・・・・ 98
ウェブラジオ・・・・・・・・・・・・・・・・ 110
AMR・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
SD カード・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55
　SD カード内容全消去(フォーマット)・・・・ 199
エピソード・・・・・・・・・・・・・・・・・ 101, 105
　エピソード一覧の更新・・・・・・・・・・ 106
　エピソードをまとめてダウンロード・・・・ 107
MP3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
オーディオブック・・・・・・・・・・・・・・ 96
オンラインサービス・・・・・・・・・・・・・ 24
　※「取扱説明書 サピエ編」をご覧ください
お知らせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
　※「取扱説明書 サピエ編」をご覧ください
OggVorbis（オッグ・ボービス）・・・・・・・ 89
お休みタイマー・・・・・・・・・・・・・・・ 167

音質（トーン）・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
音質と録音時間・・・・・・・・・・・・・・・ 125
音声ガイド音量・・・・・・・・・・・・・・・ 63, 64
音声しおり・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168, 170
音声 DAISY・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
音楽（音声ファイル）・・・・・・・・・・・・ 74, 89
音声ファイル名読み上げの設定・・・・・・・ 194
音量
　音量スイッチ・・・・・・・・・・・・・・・ 41
　再生音量の調整・・・・・・・・・・・・・・ 63
　録音音量の調整・・・・・・・・・・・・・・ 120

＜か行＞
ガイド音量・・・・・・・・・・・・・・・・・ 64
ガイドスピード・・・・・・・・・・・・・・・ 64
外部音声入力端子・・・・・・・・・・・・・・ 38
カテゴリー・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
カテゴリー選択・・・・・・・・・・・・・・・ 66
キー（の配置）・・・・・・・・・・・・・・・ 31-37
キー受付音の選択・・・・・・・・・・・・・・ 212
キー説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
キーロック・・・・・・・・・・・・・・・・・ 175
グループ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
　グループ移動・・・・・・・・・・・・・・・ 82

＜さ行＞
再生音量の調整・・・・・・・・・・・・・・・ 63
再生／停止・・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
　再生／停止キー・・・・・・・・・・・・・・ 34
再生設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 192

最後に移動（DAISY 図書）・・・・・・・・・・ 87
３０秒移動
DAISY 図書の３０秒移動・・・・・・・・・・ 84
音楽の３０秒移動・・・・・・・・・・・・・ 91
しおり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 168
しおりに移動する・・・・・・・・・・・・・ 172
しおりを削除する・・・・・・・・・・・・・ 173
しおりを付ける・・・・・・・・・・・・・・ 169
下キー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35
自動音量調整（録音）・・・・・・・・・・・・ 120
シャッフル・リピート設定・・・・・・・・・・ 192
１０分移動
DAISY 図書の１０分移動・・・・・・・・・・ 84
音楽の１０分移動・・・・・・・・・・・・・ 91
情報キー（５キー）で情報を聞く・・・・・・ 177
スピード（再生スピード）・・・・・・・・・・ 64
セクション・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
セクション削除・・・・・・・・・・・・・・ 142
設定の初期化・・・・・・・・・・・・・・・・ 235
先頭に移動（DAISY 図書）・・・・・・・・・・ 87
外付けマイク・・・・・・・・・・・・・・・・ 38, 129

＜た行＞
タイトル
タイトル選択・・・・・・・・・・・・・・・・ 60
タイトルの作成・・・・・・・・・・・・・・ 202
タイトルの削除・・・・・・・・・・・・・・ 203
タイトルの並び順・・・・・・・・・・・・・ 73
録音準備中のタイトル作成・・・・・・・・・ 119
ダイレクト移動

アルバムにダイレクト移動・・・・・・・・ 93
先頭・最後にダイレクト移動・・・・・・・ 87
トラックにダイレクト移動・・・・・・・・ 92
ページにダイレクト移動・・・・・・・・・ 85
見出しにダイレクト移動・・・・・・・・・ 86
メモ録にダイレクト移動・・・・・・・・・ 147
WMA・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
DAISY オンライン・・・・・・・・・・・・・ 24
※「取扱説明書 サピエ編」をご覧ください
DAISY 図書・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
DAISY 編集モード・・・・・・・・・・・・・ 113
DC 入力端子・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
テキスト DAISY・・・・・・・・・・・・・・ 28
テキストファイル・・・・・・・・・・・・・ 94
テキストファイル内の移動・・・・・・・・ 95
テキスト読み上げ音声の選択・・・・・・・・ 210
テキスト読み上げの設定（ピッチ設定）・・・ 216
テンキー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 36
電源アダプター・・・・・・・・・・・・・・・ 48
トーン(音質)の調整・・・・・・・・・・・・ 64
時計設定・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 213
飛ばし読み・・・・・・・・・・・・・・・・・ 196
トラック・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
トラック移動・・・・・・・・・・・・・・・ 90

＜な行＞

内蔵メモリ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26
内蔵メモリ内容全消去・・・・・・・・・・・ 201
日時の確認・・・・・・・・・・・・・・・・・ 179
ネット閲覧室・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

※「取扱説明書 サピエ編」をご覧ください
ネットワーク情報確認・・・・・・・・・・・・ 217
ネットワーク設定の初期化・・・・・・・・・・ 232
ネットワーク設定の保存・・・・・・・・・・・・ 221
ネットワーク設定の読み込み・・・・・・・・・・ 219
ネットワークの電源 ＯＮ／ＯＦＦ・・・・・・ 222
ネットワーク・バージョンアップ・・・・・・ 234
ネットワークフォルダ・・・・・・・・・・・・ 162-166

＜は行＞
パーセント移動
DAISY 図書のパーセント移動・・・・・・・ 88
テキストのパーセント移動・・・・・・・・ 95
パソコンと接続・・・・・・・・・・・・・・・・ 159-166
バックアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 150-158
バッテリー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43-50
早送り・巻き戻し・・・・・・・・・・・・・・ 62
PCM・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 89
ビルドブック・・・・・・・・・・・・・・・・・ 207
ファイル削除・・・・・・・・・・・・・・・・・ 204
ファイル(曲)を選ぶ・・・・・・・・・・・・・ 71, 77
フォルダ選択・・・・・・・・・・・・・・・・・ 70
フレーズ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27, 78
フレーズ移動・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
プレクストークの情報・・・・・・・・・・・・ 209
ページ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
ページ移動・・・・・・・・・・・・・・・・・ 83
ヘッドホン出力端子・・・・・・・・・・・・・ 38
ヘルプ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 176
編集準備・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 205

ポッドキャスト・・・・・・・・・・・・・・・ 101-109

＜ま行＞

待ち受け音の選択・・・・・・・・・・・・・・ 211
マルチメディア DAISY・・・・・・・・・・・・・ 28
マルチメディア DAISY 再生設定・・・・・・・ 195
見出し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27, 78
　見出しに移動・・・・・・・・・・・・・・・ 81
　見出しを付ける・・・・・・・・・・・・・・ 137-140
　見出しを取り消す・・・・・・・・・・・・・ 141
無線親機・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98-99
メディア・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26-27
メディア・タイトル情報・・・・・・・・・・・ 198
メニュー（メニューキー）・・・・・・・・・・ 32
　メニュー階層一覧・・・・・・・・・・・・・ 187
　メニューのショートカット・・・・・・・・・ 238
メモ録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145-149
文字の入力・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 180-186

＜や行＞

USB・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59
USB 動作の切替え・・・・・・・・・・・・・・ 215, 160

＜ら行＞

ラインイン・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 38, 129, 132-135
リドゥ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 97
履歴タイトル・・・・・・・・・・・・・・・・・ 73
レベル（DAISY 図書）・・・・・・・・・・・・ 78
録音
　録音音質・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 125-126
　録音音量・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 120-122

録音可能時間・・・・・・・・・・・・・・・ 125
録音中音量確認・・・・・・・・・・・・・・ 122
録音中の音声ガイド切替え・・・・・・・・・ 128
録音の方法・・・・・・・・・・・・・・・・ 117
録音モード・・・・・・・・・・・・・・・・ 123, 124
録音モニター・・・・・・・・・・・・・・・ 127
録音した DAISY・・・・・・・・・・・・・・ 24, 116

＜わ行＞

ワイヤレスネットワーク接続設定・・・・・・ 223
利用できるワイヤレスネットワーク・・・・・ 223
設定の追加・・・・・・・・・・・・・・・・ 228
設定の変更／削除・・・・・・・・・・・・・ 229

お問い合わせ先

〒３８６－０４９８
長野県上田市上丸子１０７８
シナノケンシ株式会社

プレクストークお問い合わせ窓口
電話 ０５０－５８０４－１１７７
月～土 ９：３０～１７：００
日・祝祭日は休業

ＦＡＸやＥ－ｍａｉｌは、常時受け付けております。
ＦＡＸ ０２６８－４２－２９２３
Ｅ―ｍａｉｌ ｐｌｅｘｔａｌｋ@ｓｋｃｊ．ｃｏ．ｊｐ
ホームページ ｈｔｔｐ：／／ｗｗｗ．ｐｌｅｘｔａｌｋ．ｃｏｍ／ｊｐ／

PLEXTALK®

2013 年 3 月
127-4332902